

第2次安曇野市総合計画後期基本計画 市民意識調査報告書

令和4年6月
安曇野市

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
第2章 調査結果	3
1. あなたやご家族のことについて	3
2. 安曇市での暮らしについて	11
3. 安曇野市の行政に関すること	30
全般的な施策について	30
(1) 自然環境について	56
(2) 医療・福祉・人権について	60
(3) 子育て支援について	63
(4) スポーツについて	65
(5) 教育学習について	69
(6) 地域の伝統について	72
(7) 文化・芸術について	73
(8) 防災・防犯について	75
(9) 都市基盤について	77
(10) 農林水産業について	80
(11) 経済活動について	82
(12) 観光について	86
(14) 移住・定住について	88
(15) 協働・コミュニティ活動について	90
(16) デジタル社会・行政サービスについて	94
参考資料	95
アンケート票	95

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、第2次安曇野市総合計画後期基本計画（令和5年度から令和9年度）の策定に向けて、現状での市政に対する評価および住民ニーズの把握のために実施した。

2. 調査の概要

(1) 調査対象

- ・ 市内18歳以上の住民2,000人を対象に無作為抽出

(2) 調査期間

- ・ 令和4年4月4日(月)～5月6日(金)

(3) 調査方法

- ・ 配布方法: 郵送による配布
- ・ 回収方法: 郵送またはWEBによる回答

(4) 回収状況

- ・ 回答者数 659人(うちWEBによる回答者134人)
- ・ 回収率 33.0%

(5) その他

① 過去に実施した調査結果との比較について

本調査結果報告書では、過去に実施した調査結果と比較している箇所がある。比較対象とする調査および調査概要は以下(i)～(iii)の通り。

(i) 平成28年度「第2次安曇野市総合計画市民意識調査」【過去調査(H28)】

調査対象	： 安曇野市に住む18歳以上の市民3,000人(無作為抽出)
調査期間	： 平成28年8月18日(木)～9月5日(月)
調査方法	： 郵送配布・郵送回収
回収状況	： 回答者数 1,713人
	回 収 率 57.1%

(ii) 平成29年度「安曇野市「協働のまちづくり」に関する市民アンケート調査」【過去調査(H29)】

調査対象	： 安曇野市に住民登録のある18歳以上の方2,000人(無作為抽出)
調査期間	： 平成29年12月1日(金)～12月25日(月)
調査方法	： 郵送配布・郵送回収
回収状況	： 回答者数 567人
	回 収 率 28.4%

(iii) 令和2年度「市政全般に関する市民意識調査」【過去調査(R2)】

調査対象	： 安曇野市内在住の18歳以上の市民2,000人(無作為抽出) ※居住地域・年代・性別を考慮して抽出
調査期間	： 令和3年3月23日(火)～4月9日(金)
調査方法	： 郵送配布・郵送回収
回収状況	： 回答者数 843人 回収率 42.2%

② その他の注意事項

- ・ 四捨五入の関係から、構成比の合計が100%にならない箇所がある。
- ・ 四捨五入の関係から、今回調査と前回調査の数値の差と、表記した増減ポイントとが一致しない箇所がある。

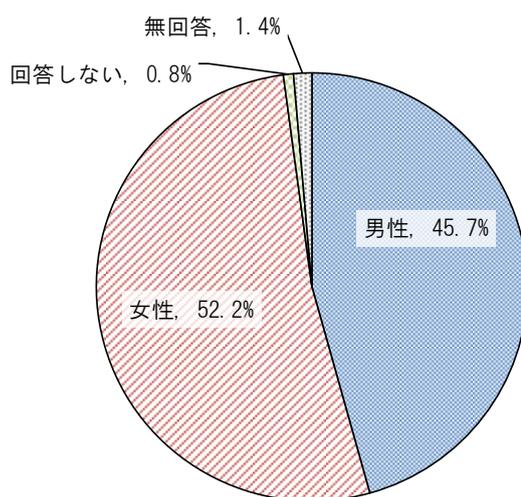
第2章 調査結果

1. あなたやご家族のことについて

問 1. あなたご自身についてお答えください。

(1) あなたの性別をお答えください。(1つに○)

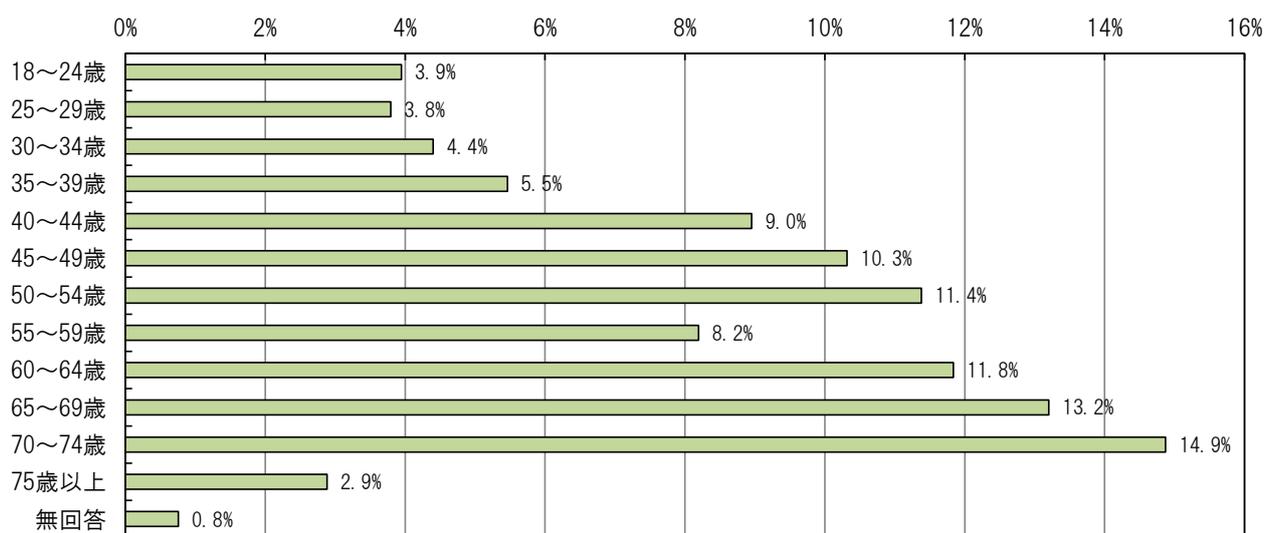
図表 1 性別



(n=659)

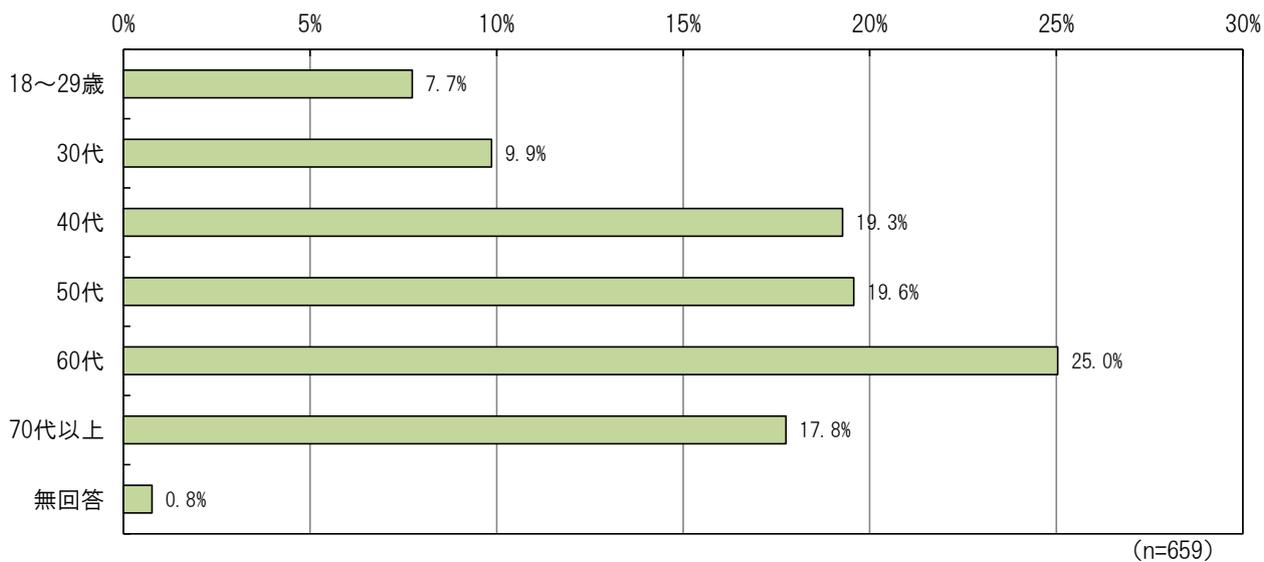
(2) あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

図表 2 年齢



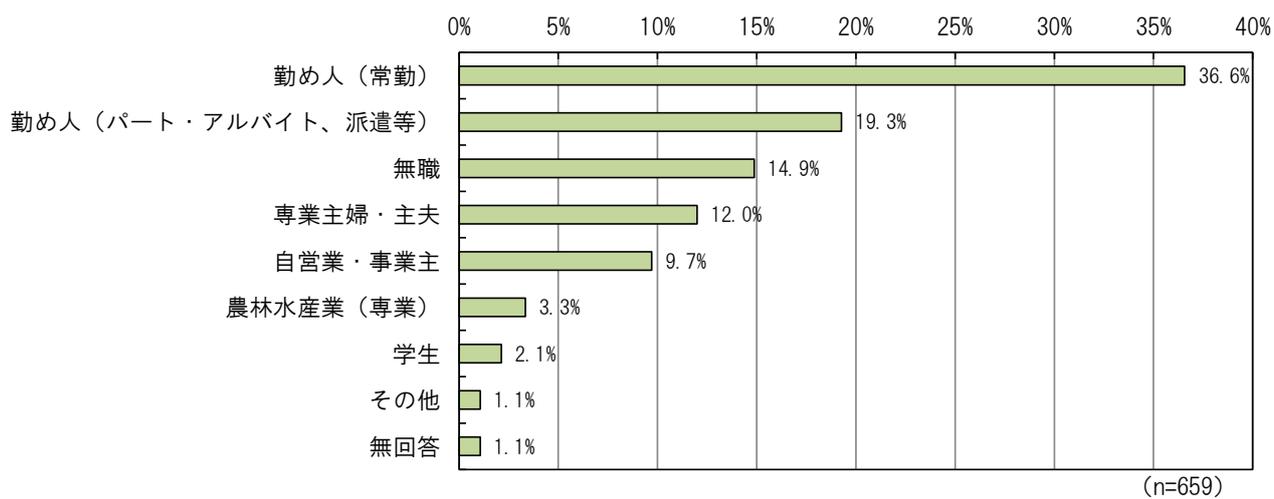
(n=659)

図表 3 年代



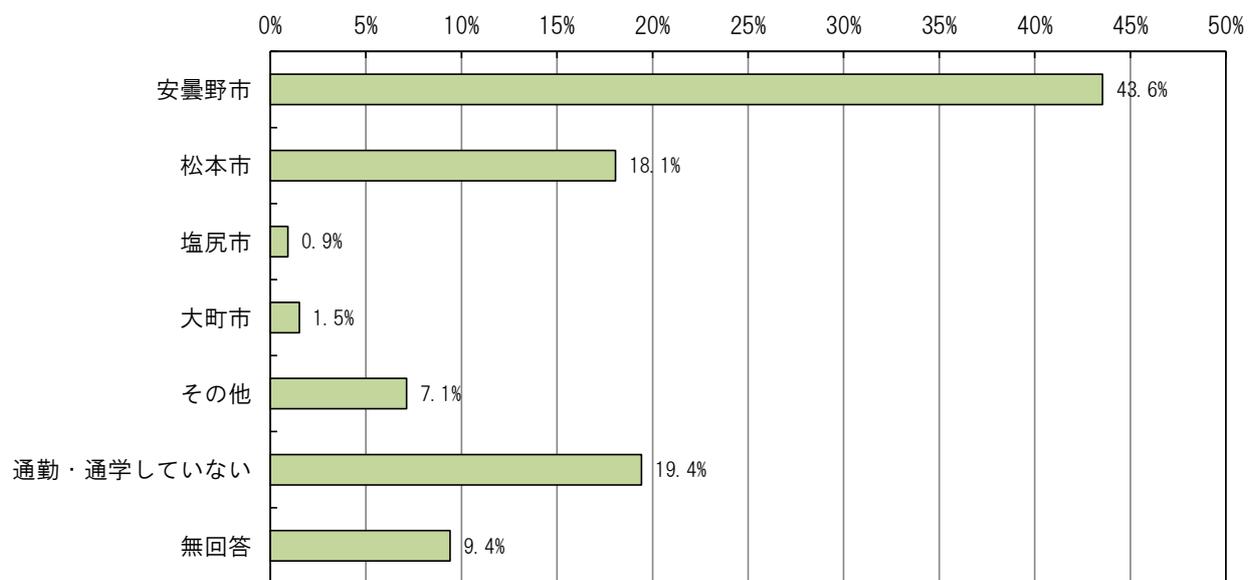
(3) 主に従事している職業等をお答えください。(1つに○)

図表 4 職業等



(4) 通勤先、通学先の市町村についてお答えください。(1つに○)

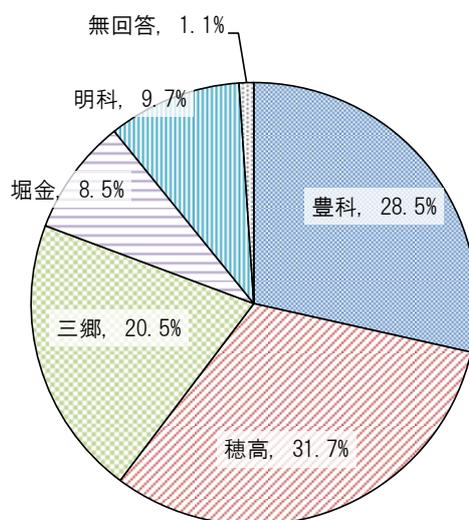
図表 5 通勤先、通学先



(n=659)

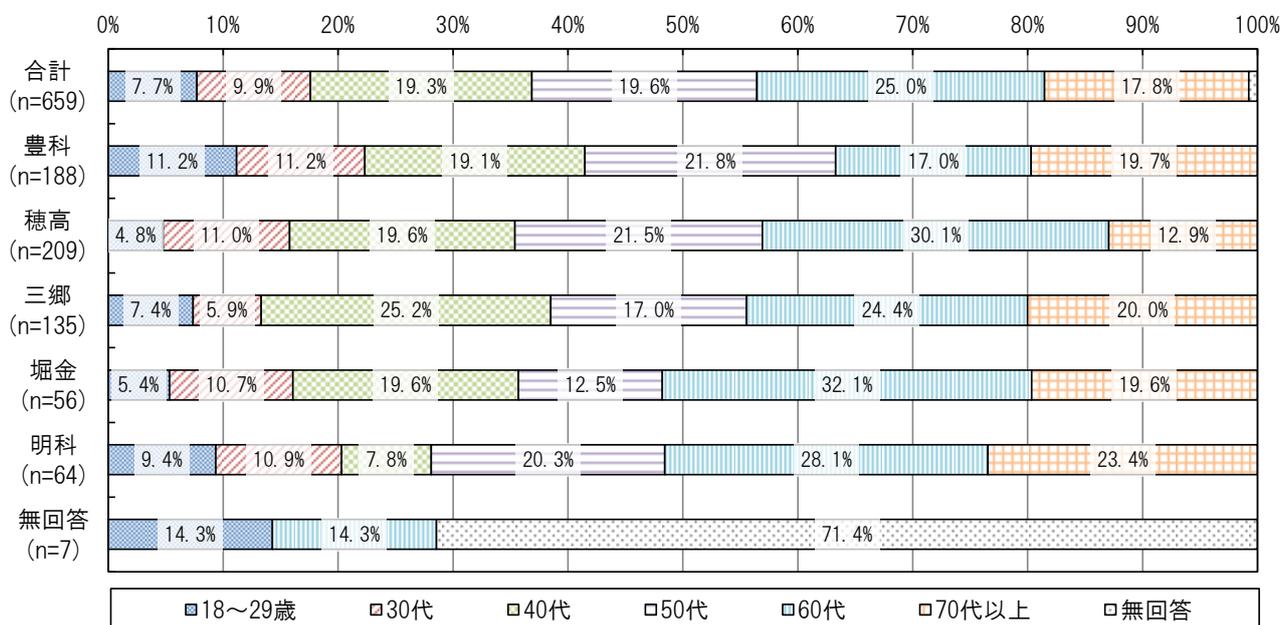
(5) お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

図表 6 居住地区

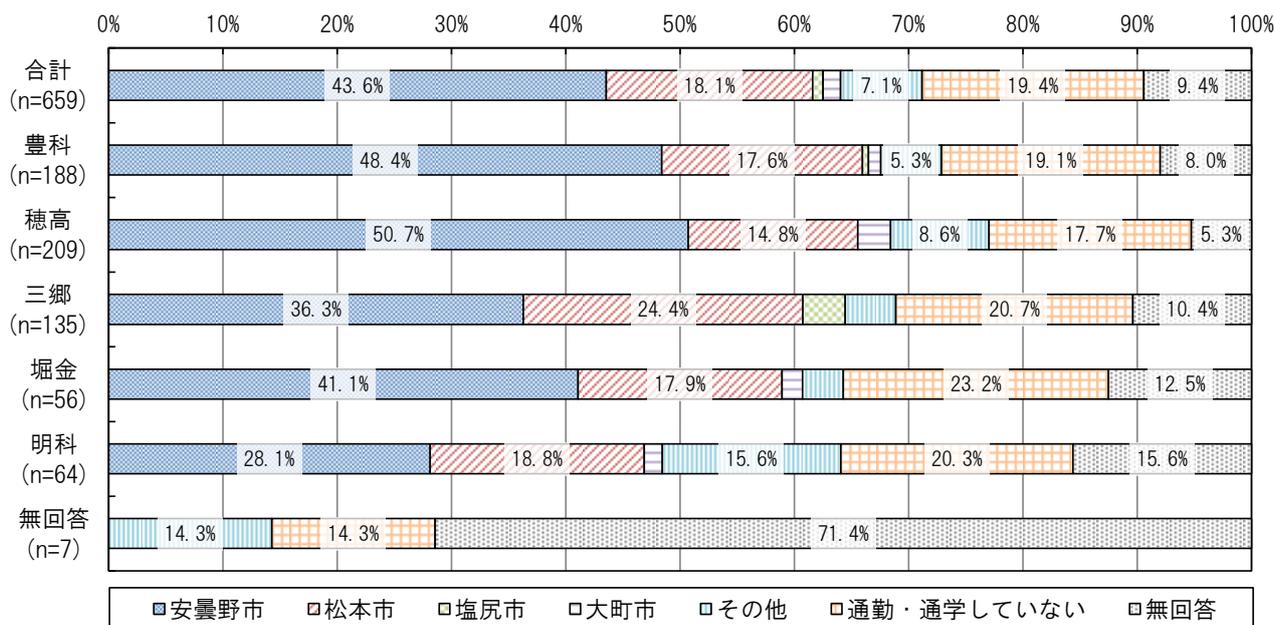


(n=659)

図表 7 【地域別】年代



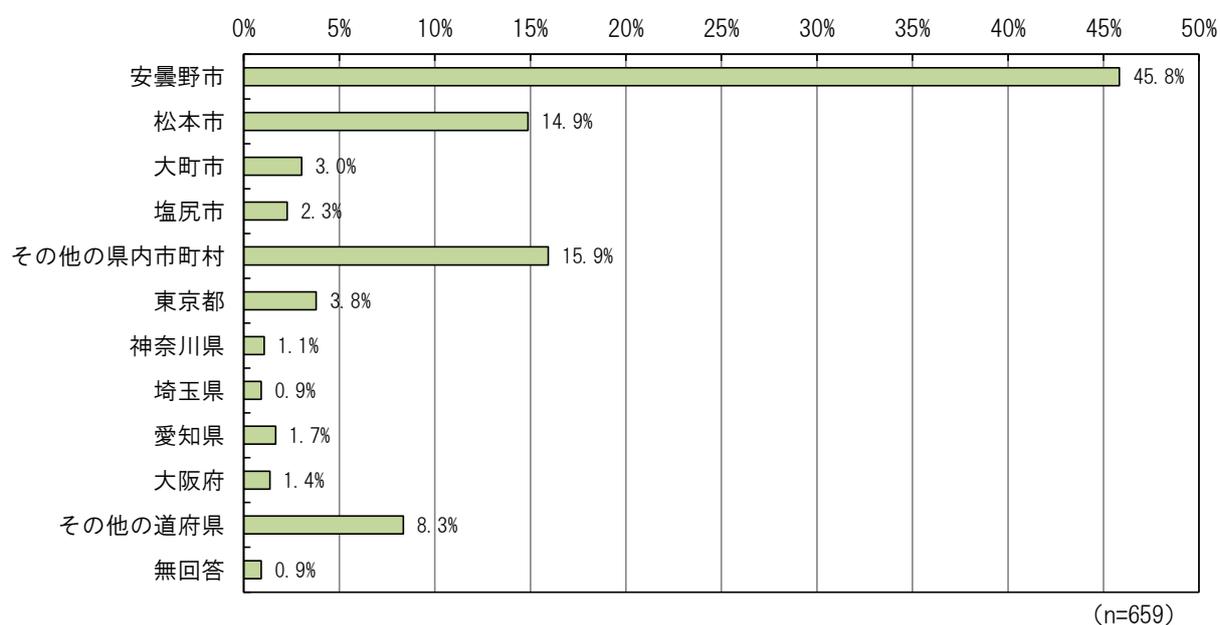
図表 8 【地域別】通勤先、通学先



(6) あなたの「出身地※」についてお答えください。(1つに○)

※15歳までの期間に最も長く居住した場所

図表 9 出身地

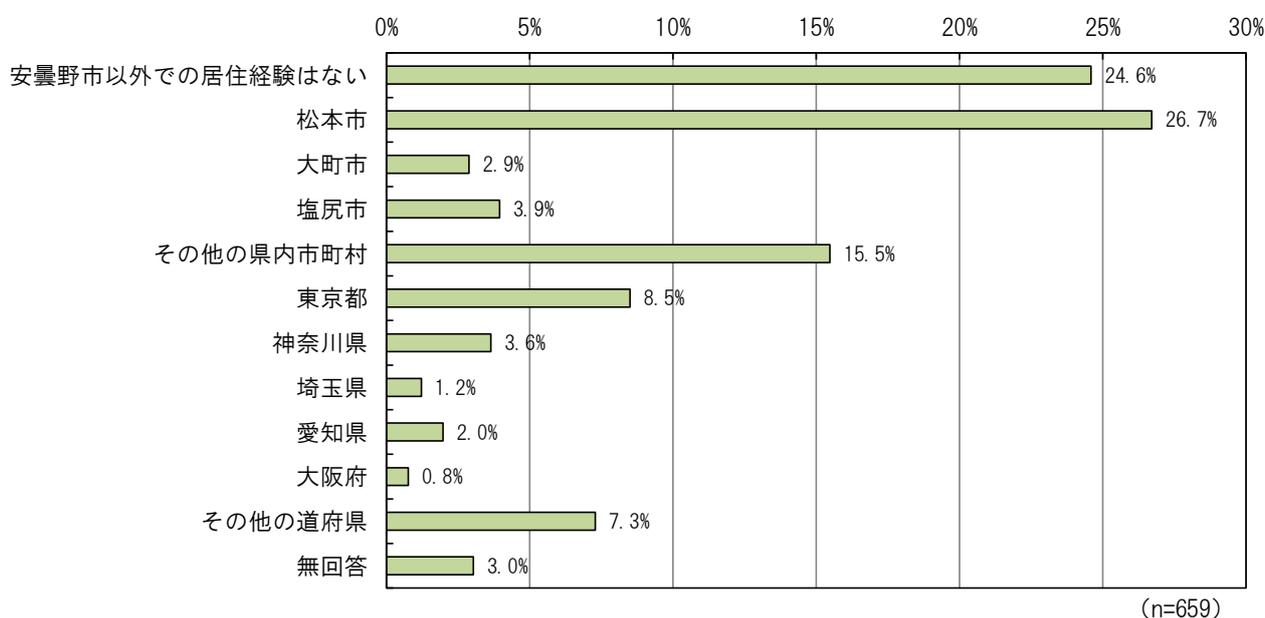


図表 10 【地域別】出身地

	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
安曇野市	45.8%	50.0%	43.5%	40.7%	51.8%	48.4%	28.6%
松本市	14.9%	13.8%	11.0%	23.0%	12.5%	17.2%	0.0%
大町市	3.0%	2.7%	4.8%	2.2%	0.0%	3.1%	0.0%
塩尻市	2.3%	4.3%	0.5%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の県内市町村	15.9%	14.4%	14.4%	17.8%	21.4%	18.8%	0.0%
東京都	3.8%	2.7%	6.2%	2.2%	5.4%	1.6%	0.0%
神奈川県	1.1%	1.1%	1.9%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
埼玉県	0.9%	0.0%	1.9%	0.7%	1.8%	0.0%	0.0%
愛知県	1.7%	0.5%	2.9%	1.5%	1.8%	1.6%	0.0%
大阪府	1.4%	1.6%	2.4%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の道府県	8.3%	9.0%	10.5%	5.2%	5.4%	9.4%	0.0%
無回答	0.9%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	71.4%

(7) 安曇野市での居住を始める前（直前）に居住していた都道府県・市町村についてお答えください。（1つに○）

図表 11 安曇野市への転居前に居住していた地域

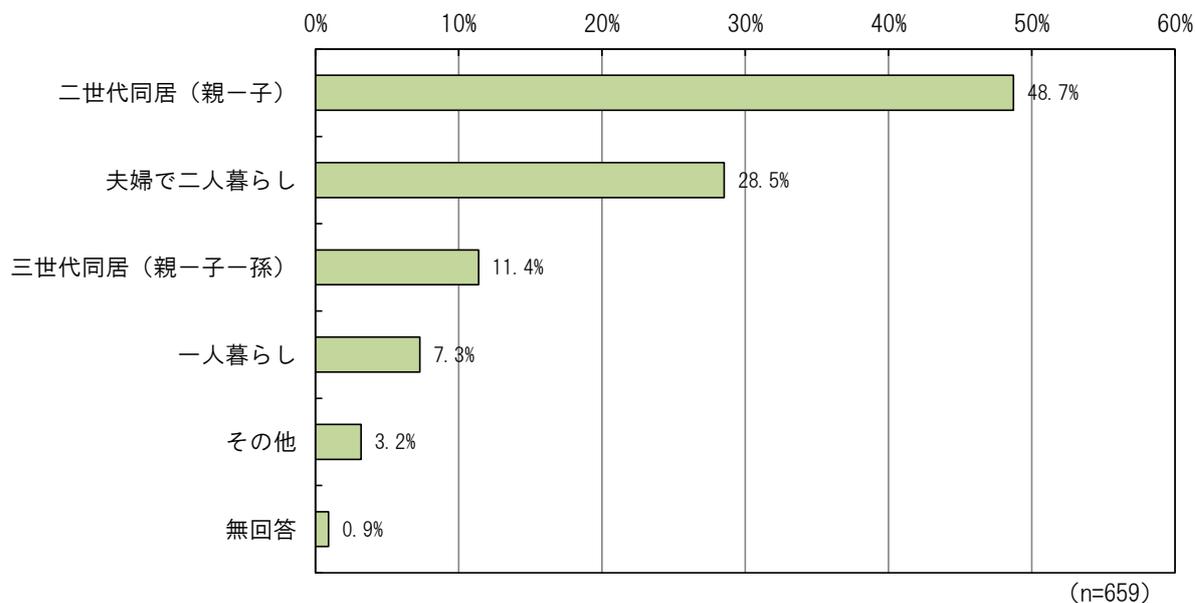


図表 12 【地域別】安曇野市への転居前に居住していた地域

	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
安曇野市以外での居住経験はない	24.6%	27.7%	25.8%	17.0%	25.0%	26.6%	28.6%
松本市	26.7%	25.0%	20.6%	37.8%	33.9%	25.0%	0.0%
大町市	2.9%	1.1%	5.3%	2.2%	0.0%	4.7%	0.0%
塩尻市	3.9%	3.2%	2.4%	9.6%	0.0%	3.1%	0.0%
その他の県内市町村	15.5%	16.5%	16.3%	13.3%	14.3%	17.2%	0.0%
東京都	8.5%	8.0%	11.0%	5.2%	8.9%	9.4%	0.0%
神奈川県	3.6%	4.8%	4.3%	2.2%	1.8%	3.1%	0.0%
埼玉県	1.2%	1.1%	1.4%	1.5%	1.8%	0.0%	0.0%
愛知県	2.0%	0.5%	4.3%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%
大阪府	0.8%	0.5%	1.4%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の道府県	7.3%	9.6%	6.7%	4.4%	8.9%	7.8%	0.0%
無回答	3.0%	2.1%	0.5%	3.7%	5.4%	3.1%	71.4%

問 2. 世帯状況についてお答えください。(1つに○)

図表 13 世帯状況



図表 14 【地域別】世帯状況

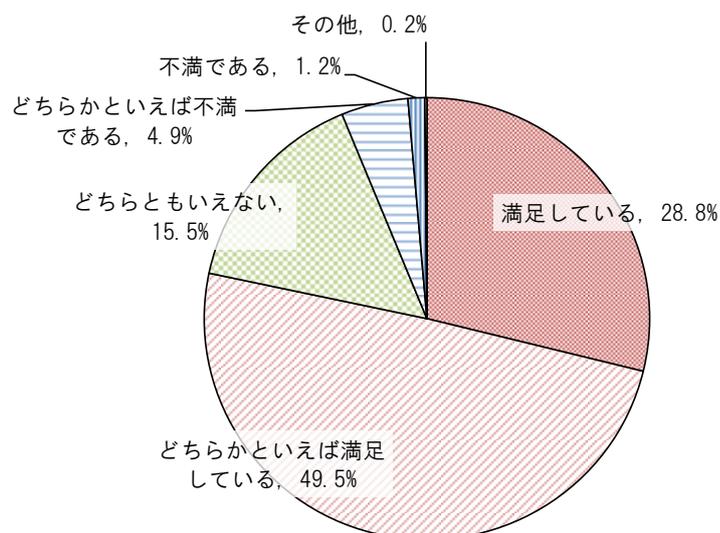
	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
二世帯同居（親-子）	48.7%	46.3%	48.8%	55.6%	53.6%	42.2%	0.0%
夫婦で二人暮らし	28.5%	26.6%	31.6%	30.4%	26.8%	25.0%	0.0%
三世帯同居（親-子-孫）	11.4%	14.9%	9.1%	7.4%	10.7%	18.8%	0.0%
一人暮らし	7.3%	8.5%	8.6%	4.4%	5.4%	4.7%	28.6%
その他	3.2%	3.2%	1.9%	2.2%	3.6%	9.4%	0.0%
無回答	0.9%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%

2. 安曇市での暮らしについて

問 3. あなたは安曇野市での生活にどの程度満足していますか。(1つに○)

- 生活の満足度については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合算した回答割合は78.3%となっており、「どちらかといえば不満である」と「不満である」を合算した回答割合(6.1%)を72.2ポイント上回っている。

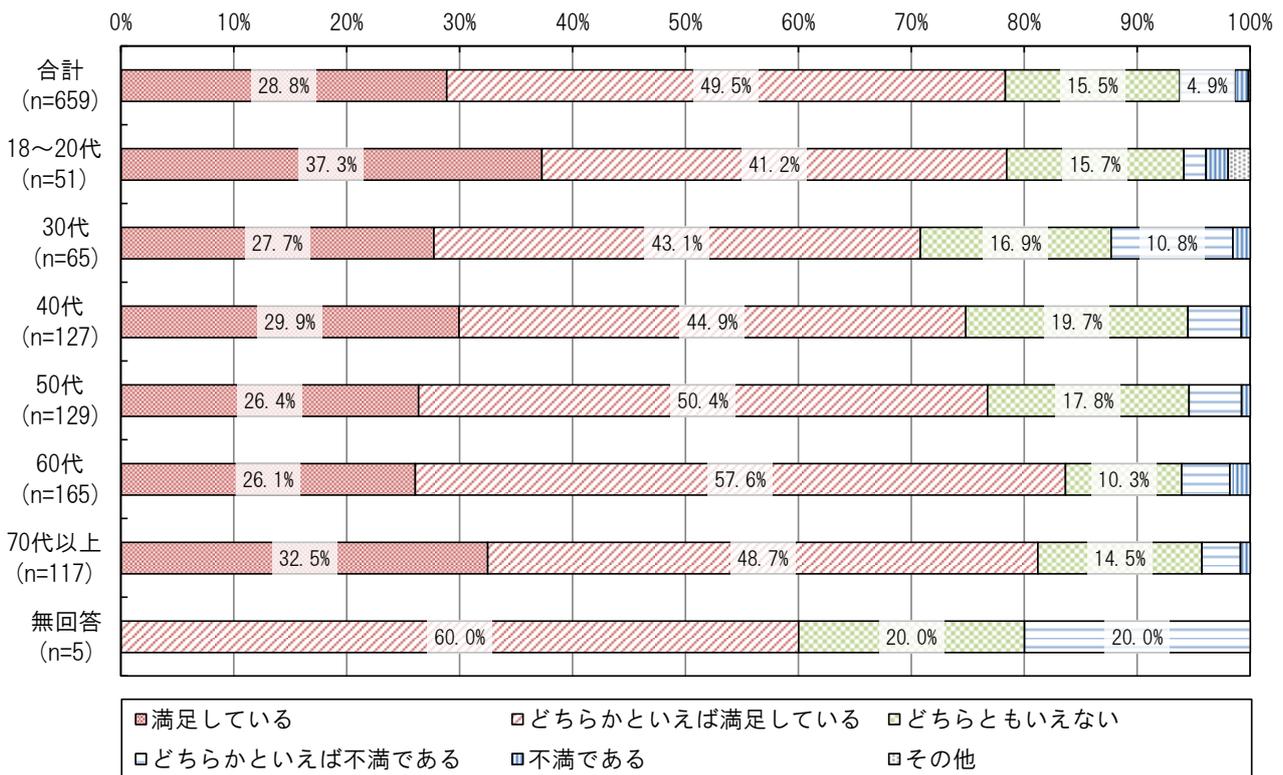
図表 15 安曇野市での生活の満足度



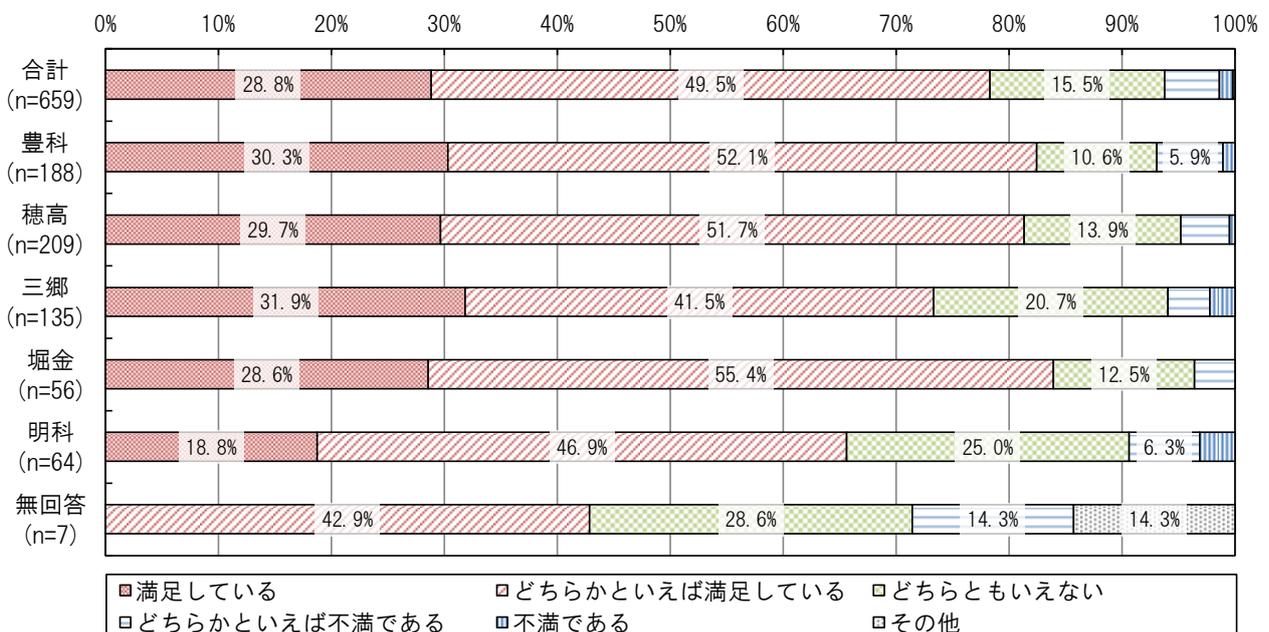
(n=659)

- 年代別で比較すると、「満足している」と「どちらかという満足している」を合算した回答割合は、18～20代(78.5%)、60代(83.7%)、70代以上(81.2%)で全体の回答割合(78.3%)よりも高くなっている。
- 一方で「どちらかといえば不満」と「不満である」を合算した回答割合は30代(12.3%)で全体の回答割合(6.1%)を6.2ポイント上回っている。
- 地域別で比較すると、「満足している」と「どちらかという満足している」を合算した回答割合は堀金(84.0%)、豊科(82.4%)、穂高(81.4%)の順で全体の回答割合(78.3%)より高くなっている。

図表 16 【年代別】安曇野市での生活の満足度



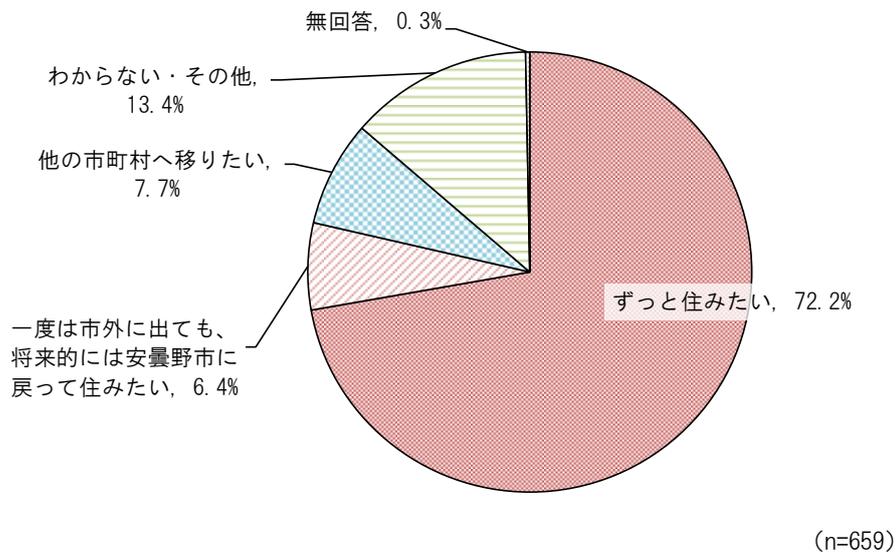
図表 17 【地域別】安曇野市での生活の満足度



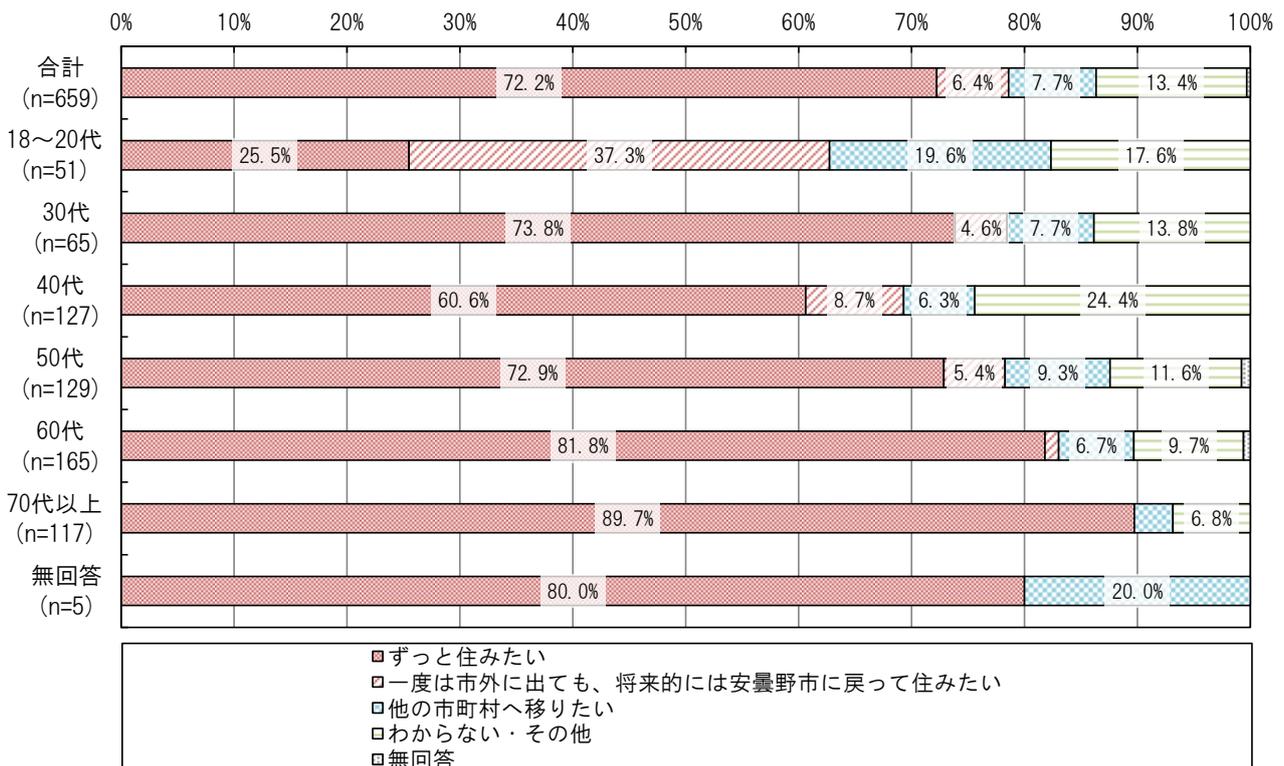
問 4. あなたは、これからも安曇野市に住み続けたいですか。(1つに○)

- これからも安曇野市に住み続けたいかについて、「ずっと住みたい」が 72.2%と最も高く、「一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」(6.4%)と合算した回答割合は約8割(78.6%)となっている。
- 「他の市町村へ移りたい」とする回答割合は 7.7%となっている。
- 年代別で比較すると、18～20 代では「他の市町村へ移りたい」の回答割合が 19.6%と全体の回答割合(7.7%)を 11.9 ポイント上回っている。

図表 18 安曇野市での定住意向

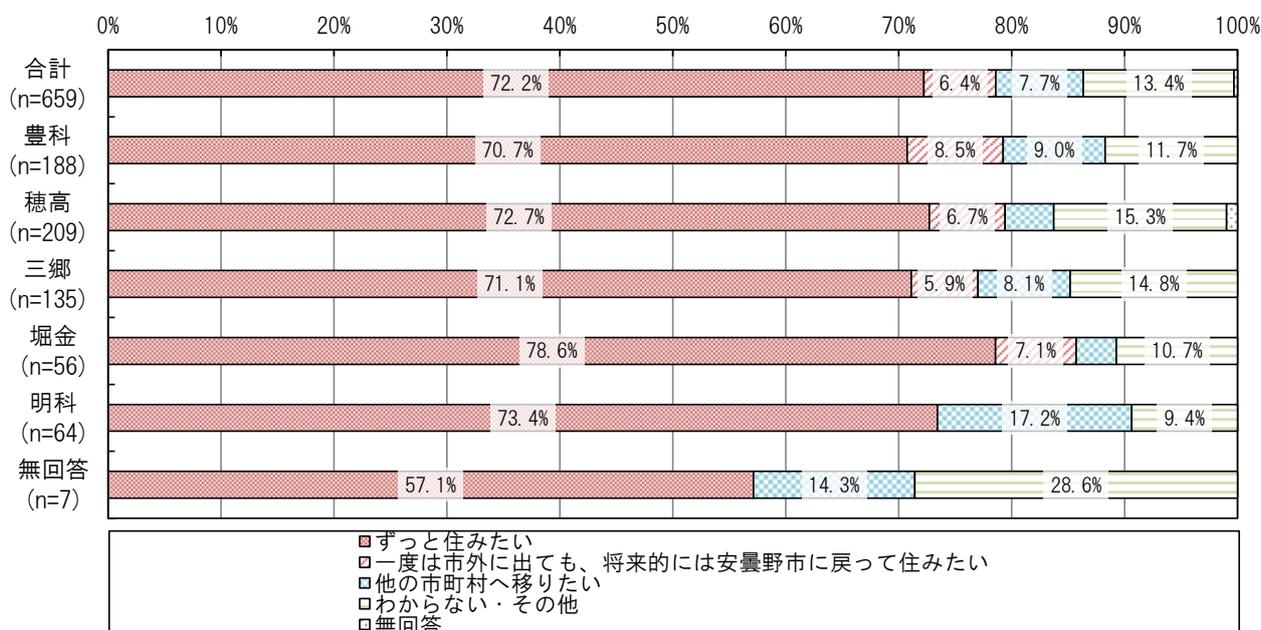


図表 19 【年代別】安曇野市での定住意向



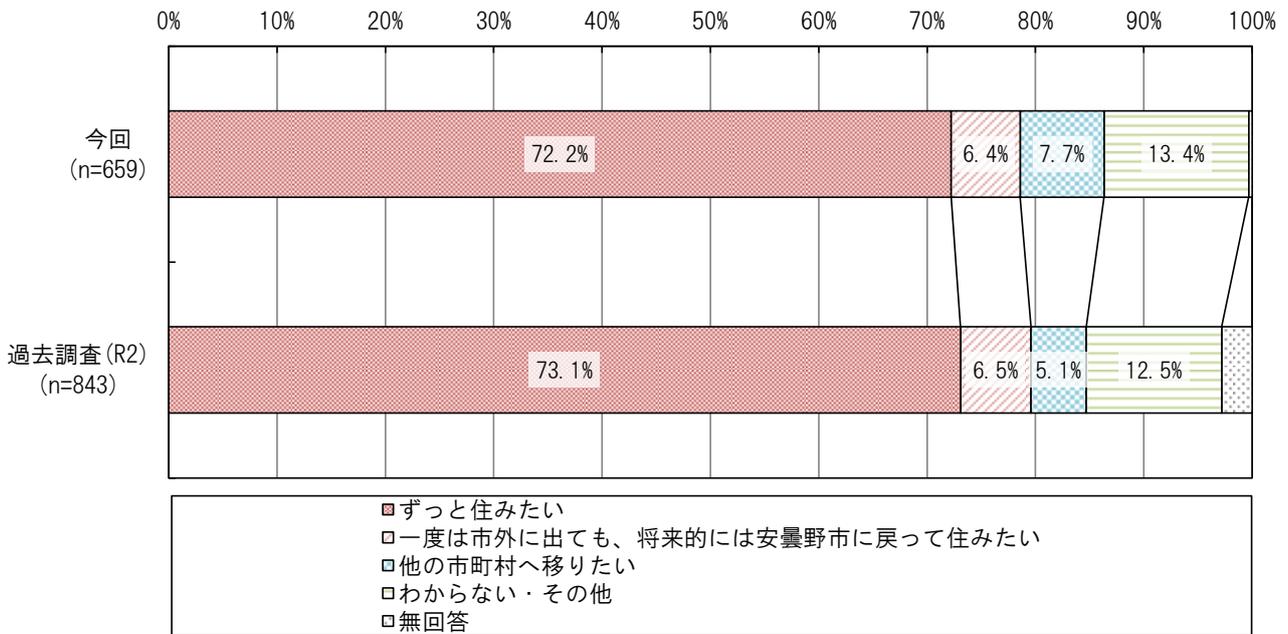
- 地域別で比較すると、「ずっと住みたい」とする回答割合は、堀金(78.6)、明科(73.4%)、穂高(72.7%)の順で全体の回答割合(72.2%)よりも高くなっている。
- 一方で、明科では「他の市町村へ移りたい」とする回答割合が 17.2%と、全体の回答割合(7.7%)を 9.5 ポイント上回っている。

図表 20 【地域別】安曇野市での定住意向

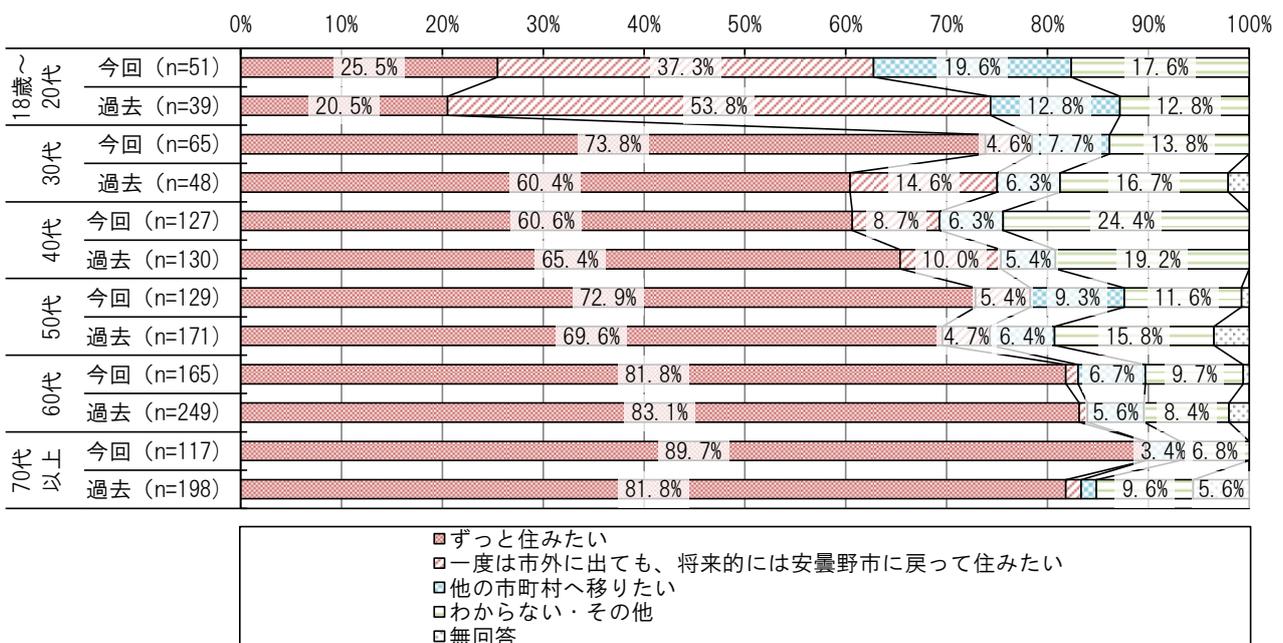


- 令和 2 年に実施したアンケート調査の結果と比較すると「ずっと住みたい」が 0.9 ポイント低下した一方で、「他の市町村へ移りたい」は 2.6 ポイント上昇している。
- 令和 2 年に実施したアンケート調査の結果と年代別に比較すると「ずっと住みたい」と「一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」を合算した回答割合が上昇したのは、30 代、50 代、70 代以上となっている。
- 一方で、「他の市町村へ移りたい」とする回答割合がすべての年代で上昇している。

図表 21 【過去比較】安曇野市での定住意向

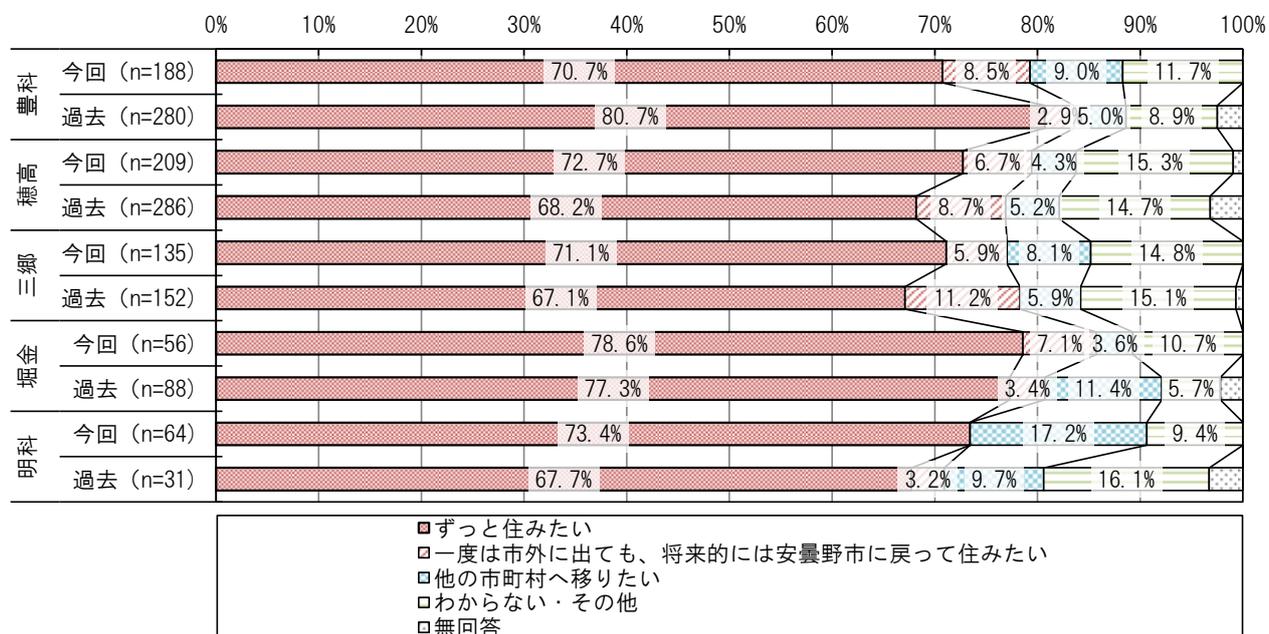


図表 22 【年代別過去比較】安曇野市での定住意向



- 令和 2 年に実施したアンケート調査の結果と地域別に比較すると「ずっと住みたい」とする回答割合が豊科を除く 4 地域で上昇している。
- 一方で、豊科、三郷、明科の 3 地域では「他の市町村へ移りたい」とする回答割合が上昇している。

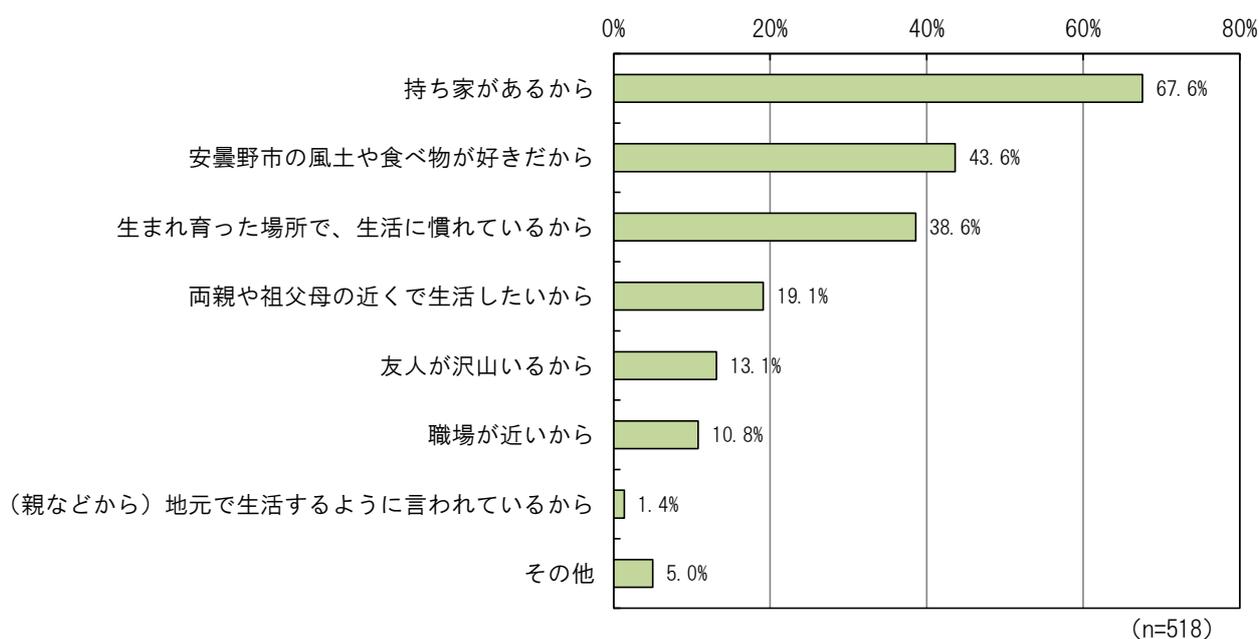
図表 23 【地域別過去比較】安曇野市での定住意向



(1) 問4で「1. ずっと住みたい」または「2. 一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」と回答した方のみご回答ください。安曇野市に住みたいと思う理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- ・ 安曇野市に住みたいと思う理由は「持ち家があるから」が過半数の67.6%と最も高くなっている。
- ・ 次いで「安曇野市の風土や食べ物が好きだから」(43.6%)、「生まれ育った場所で、生活に慣れているから」(38.6%)と続いている。
- ・ 年代別で比較すると、18～20代では、「生まれ育った場所で、生活に慣れているから」が56.3%と、全体の回答割合(38.6)を17.7ポイント上回っている。

図表 24 安曇野市に住みたいと思う理由(“住みたい”と回答した方を対象)



図表 25 【年代別】安曇野市に住みたいと思う理由(“住みたい”と回答した方を対象)

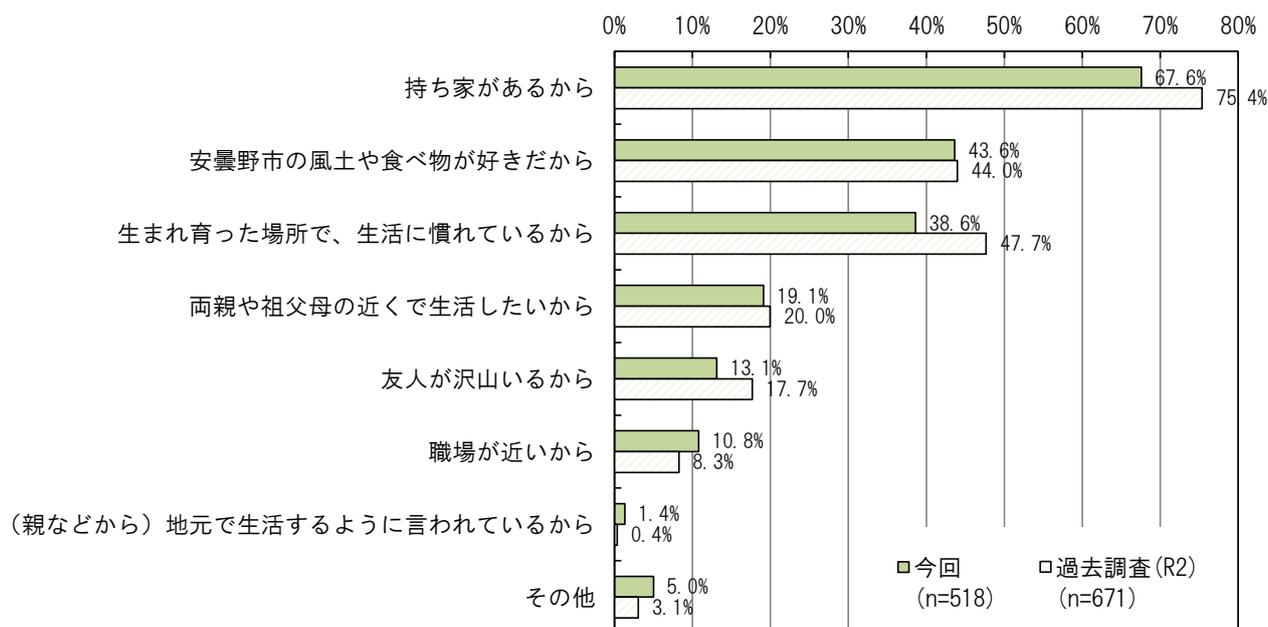
	合計 (n=518)	18～20代 (n=32)	30代 (n=51)	40代 (n=88)	50代 (n=101)	60代 (n=137)	70代以上 (n=105)	無回答 (n=4)
持ち家があるから	67.6%	25.0%	58.8%	59.1%	62.4%	81.0%	78.1%	100.0%
安曇野市の風土や食べ物が好きだから	43.6%	37.5%	43.1%	46.6%	35.6%	48.9%	45.7%	0.0%
生まれ育った場所で、生活に慣れているから	38.6%	56.3%	39.2%	35.2%	45.5%	27.7%	41.9%	75.0%
両親や祖父母の近くで生活したいから	19.1%	40.6%	43.1%	28.4%	21.8%	10.2%	2.9%	0.0%
友人が沢山いるから	13.1%	6.3%	9.8%	11.4%	8.9%	16.8%	16.2%	50.0%
職場が近いから	10.8%	12.5%	13.7%	18.2%	9.9%	13.9%	0.0%	0.0%
(親などから) 地元で生活するように言われているから	1.4%	6.3%	0.0%	0.0%	3.0%	0.7%	1.0%	0.0%
その他	5.0%	6.3%	0.0%	8.0%	5.9%	3.6%	4.8%	25.0%

- 地域別で比較すると、穂高、三郷、堀金では「持ち家があるから」に次いで、「安曇野市の風土や食べ物が好きだから」の回答割合が高く、全体の回答割合(43.6%)より高くなっている。
- また、豊科、明科では「持ち家があるから」に次いで、「生まれ育った場所で、生活に慣れているから」の回答割合が高く、それぞれ 43.6%、44.7%と全体の回答割合(38.6%)を 5.0 ポイント、6.1 ポイント上回っている。
- 令和 2 年に実施したアンケート調査の結果と比較すると「職場が近いから」が 2.5 ポイント上昇している。

図表 26 【地域別】安曇野市に住みたいと思う理由(“住みたい”と回答した方を対象)

	合計 (n=518)	豊科 (n=149)	穂高 (n=166)	三郷 (n=104)	堀金 (n=48)	明科 (n=47)	無回答 (n=4)
持ち家があるから	67.6%	61.7%	63.9%	75.0%	70.8%	76.6%	100.0%
安曇野市の風土や食べ物が好きだから	43.6%	36.9%	47.0%	46.2%	58.3%	36.2%	0.0%
生まれ育った場所で、生活に慣れているから	38.6%	43.6%	38.0%	29.8%	35.4%	44.7%	75.0%
両親や祖父母の近くで生活したいから	19.1%	20.1%	19.9%	17.3%	14.6%	23.4%	0.0%
友人が沢山いるから	13.1%	16.1%	13.9%	7.7%	12.5%	10.6%	50.0%
職場が近いから	10.8%	8.1%	12.7%	13.5%	14.6%	4.3%	0.0%
(親などから) 地元で生活するように言われているから	1.4%	2.7%	0.0%	1.9%	2.1%	0.0%	0.0%
その他	5.0%	4.0%	6.6%	3.8%	4.2%	4.3%	25.0%

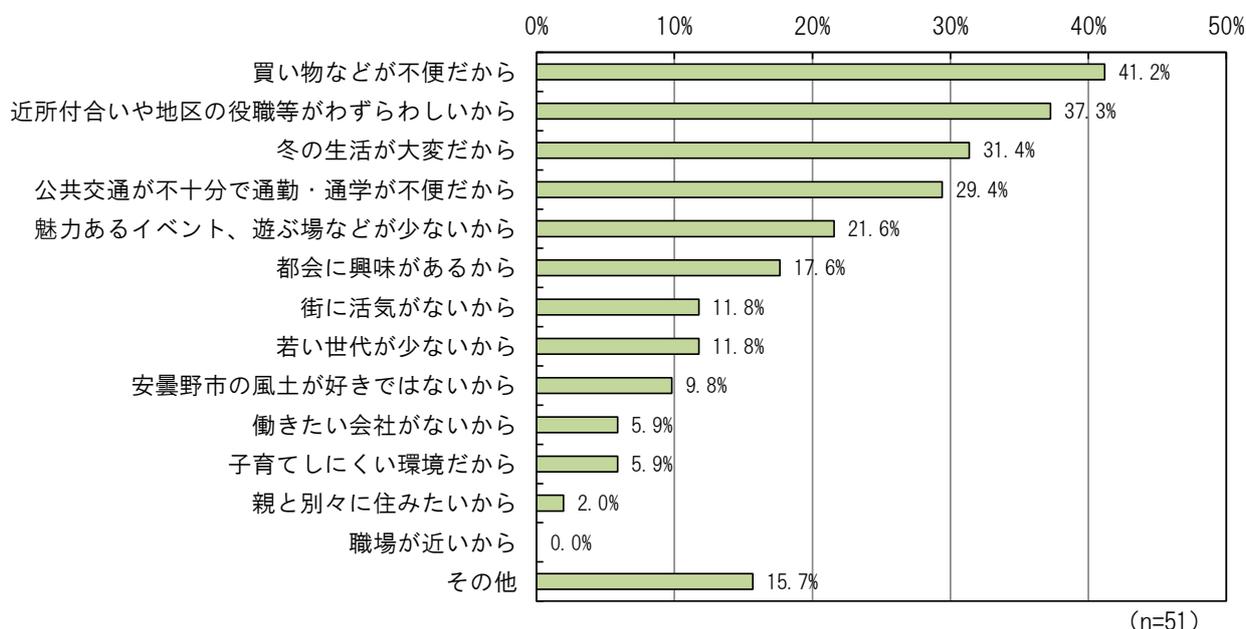
図表 27 【過去比較】安曇野市に住みたいと思う理由(“住みたい”と回答した方を対象)



(2) 問4で「3. 他の市町村へ移りたい」と回答した方のみご回答ください。その理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- 他の市町村へ移りたい理由では「買い物などが不便だから」が41.2%と最も高くなっている。
- 次いで「近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから」(37.3%)、「冬の生活が大変だから」(31.4%)、「公共交通が不十分で通勤・通学が不便だから」(29.4%)の順で高くなっている。
- 年代別で比較すると、「冬の生活が大変だから」について、60代および70代以上でそれぞれ54.5%、75.0%と、全体の回答割合(31.4%)を23.1ポイント、43.6ポイント上回っている。
- また、18～20代では「魅力あるイベント、遊ぶ場所などが少ないから」が50.0%と、全体の回答割合(21.6%)を28.4ポイント上回っている。
- 30代では「若い世代が少ないから」が60.0%と、全体の回答割合(11.8%)を48.2ポイント上回っている。

図表 28 他の市町村へ移りたい理由(“他の市町村へ移りたい”と回答した方を対象)



図表 29 【年代別】他の市町村へ移りたい理由(“他の市町村へ移りたい”と回答した方を対象)

	合計 (n=51)	18～20代 (n=10)	30代 (n=5)	40代 (n=8)	50代 (n=12)	60代 (n=11)	70代以上 (n=4)	無回答 (n=1)
買い物などが不便だから	41.2%	60.0%	40.0%	37.5%	25.0%	36.4%	50.0%	100.0%
近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから	37.3%	20.0%	20.0%	37.5%	50.0%	36.4%	50.0%	100.0%
冬の生活が大変だから	31.4%	30.0%	0.0%	12.5%	25.0%	54.5%	75.0%	0.0%
公共交通が不十分で通勤・通学が不便だから	29.4%	30.0%	20.0%	25.0%	41.7%	27.3%	25.0%	0.0%
魅力あるイベント、遊ぶ場所などが少ないから	21.6%	50.0%	40.0%	25.0%	8.3%	0.0%	25.0%	0.0%
都会に興味があるから	17.6%	40.0%	40.0%	0.0%	8.3%	18.2%	0.0%	0.0%
街に活気がないから	11.8%	20.0%	0.0%	12.5%	8.3%	9.1%	0.0%	100.0%
若い世代が少ないから	11.8%	20.0%	60.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
安曇野市の風土が好きではないから	9.8%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	9.1%	25.0%	0.0%
働きたい会社がないから	5.9%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%
子育てしにくい環境だから	5.9%	0.0%	20.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
親と別々に住みたいから	2.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
職場が近いから	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	15.7%	30.0%	0.0%	12.5%	16.7%	18.2%	0.0%	0.0%

- 地域別で比較すると、豊科と明科では「買い物などが不便だから」が最も高く、それぞれ 52.9%、45.5%となっている。
- 一方で、穂高と三郷では「近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから」が最も高く、それぞれ 44.4%、45.5%となっている。
- また、「若い世代が少ないから」について、明科で 36.4%と全体の回答割合(11.8%)を 24.6ポイント上回っている。

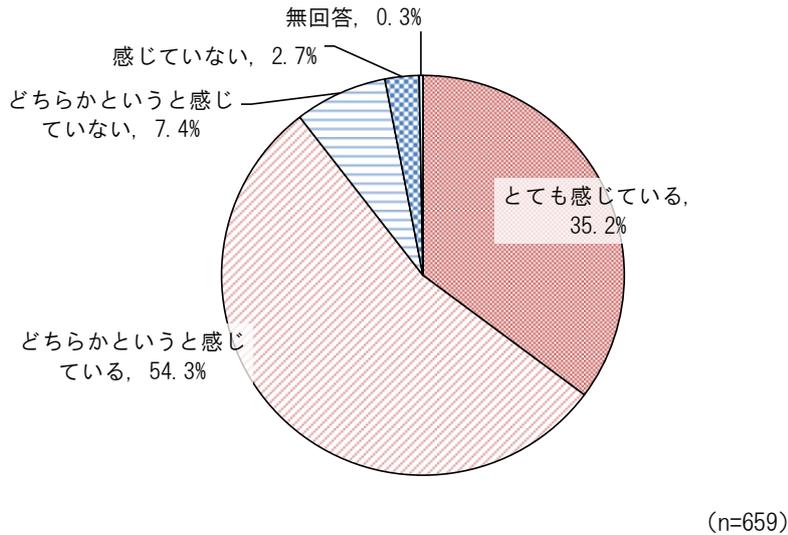
図表 30 【地域別】他の市町村へ移りたい理由(“他の市町村へ移りたい”と回答した方を対象)

	合計 (n=51)	豊科 (n=17)	穂高 (n=9)	三郷 (n=11)	堀金 (n=2)	明科 (n=11)	無回答 (n=1)
買い物などが不便だから	41.2%	52.9%	22.2%	36.4%	0.0%	45.5%	100.0%
近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから	37.3%	41.2%	44.4%	45.5%	0.0%	18.2%	100.0%
冬の生活が大変だから	31.4%	35.3%	22.2%	27.3%	50.0%	36.4%	0.0%
公共交通が不十分で通勤・通学が不便だから	29.4%	29.4%	33.3%	27.3%	50.0%	27.3%	0.0%
魅力あるイベント、遊ぶ場が少ないから	21.6%	35.3%	22.2%	9.1%	50.0%	9.1%	0.0%
都会に興味があるから	17.6%	17.6%	22.2%	18.2%	0.0%	18.2%	0.0%
街に活気がないから	11.8%	5.9%	11.1%	18.2%	0.0%	9.1%	100.0%
若い世代が少ないから	11.8%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	36.4%	0.0%
安曇野市の風土が好きではないから	9.8%	11.8%	0.0%	18.2%	50.0%	0.0%	0.0%
働きたい会社がないから	5.9%	5.9%	11.1%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
子育てしにくい環境だから	5.9%	0.0%	11.1%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%
親と別々に住みたいから	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
職場が近いから	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	15.7%	11.8%	11.1%	18.2%	0.0%	27.3%	0.0%

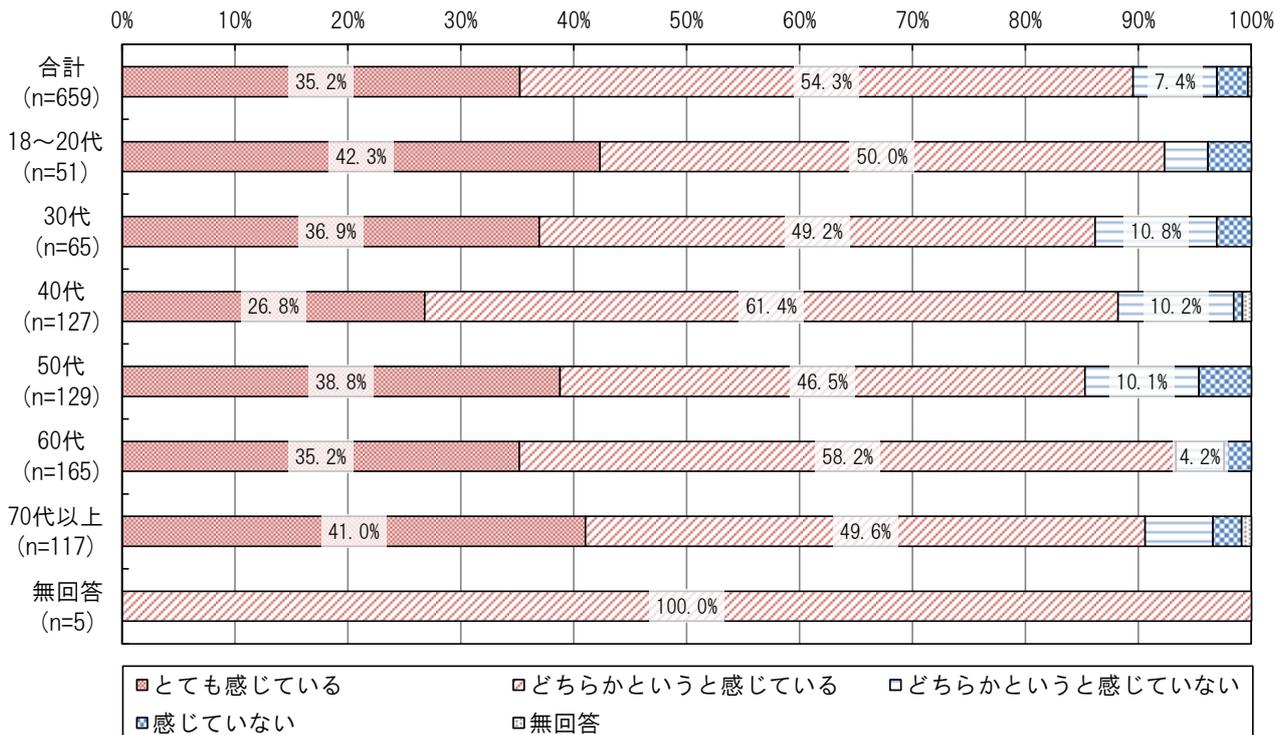
問 5. 安曇野市に愛着を感じていますか。(1つに○)

- 安曇野市への愛着について、「どちらかというと感じている」が 54.3%と最も高く、「とても感じている」(35.2%)と合算した回答割合は約9割(89.5%)となっている。
- 「どちらかというと感じていない」、「感じていない」を合算した回答割合は 10.1%となっている。
- 年代別で比較すると、「とても感じている」、「どちらかというと感じている」を合算した回答割合は 60代(93.4%)、18~20代(92.3%)、70代以上(90.6%)の順で全体の回答割合(89.5%)を上回っている。

図表 31 安曇野市への愛着

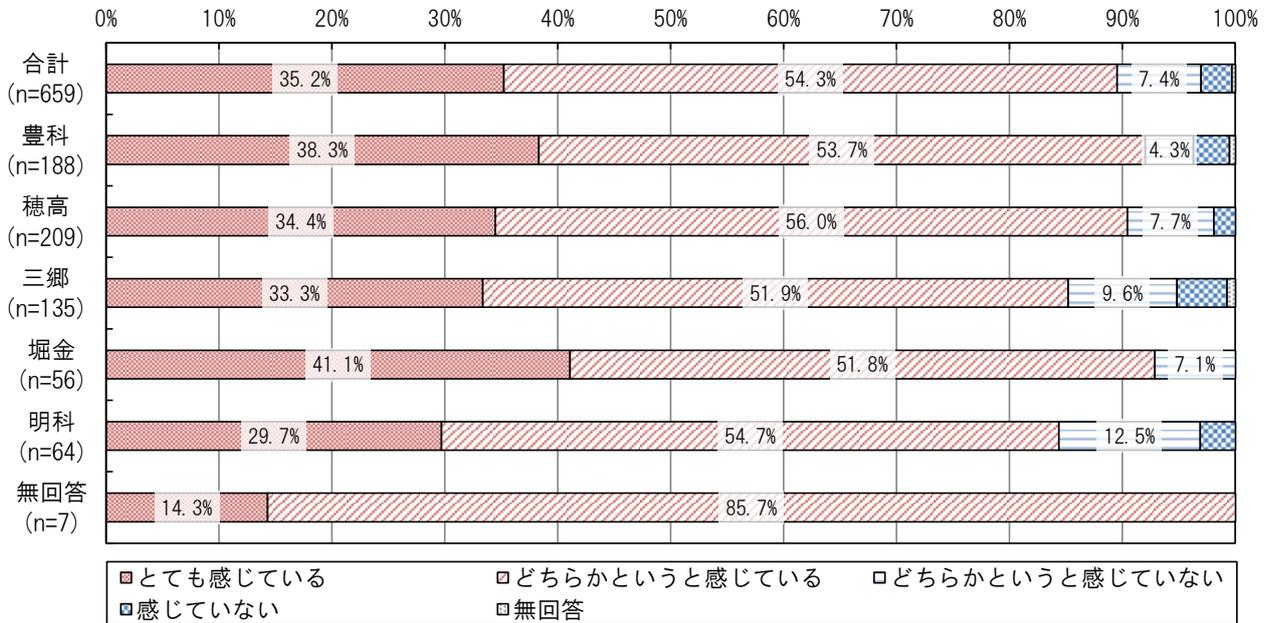


図表 32 【年代別】安曇野市への愛着

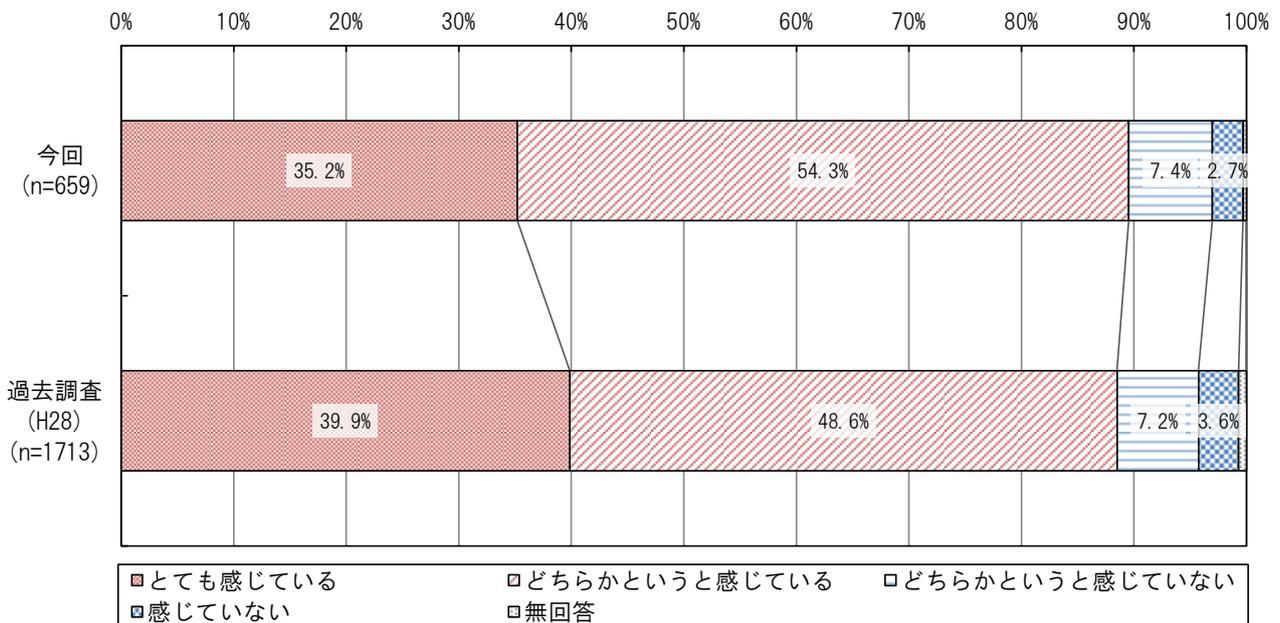


- 地域別で比較すると、「とても感じている」、「どちらかというと感じている」を合算した回答割合は堀金(92.9%)、豊科(92.0%)、穂高(90.4%)の順で全体の回答割合(89.5%)を上回っている。
- 平成28年に実施したアンケート調査の結果と比較すると「とても感じている」と「どちらかというと感じている」を合算した回答割合は1.0ポイント上昇している。

図表 33 【地域別】安曇野市への愛着



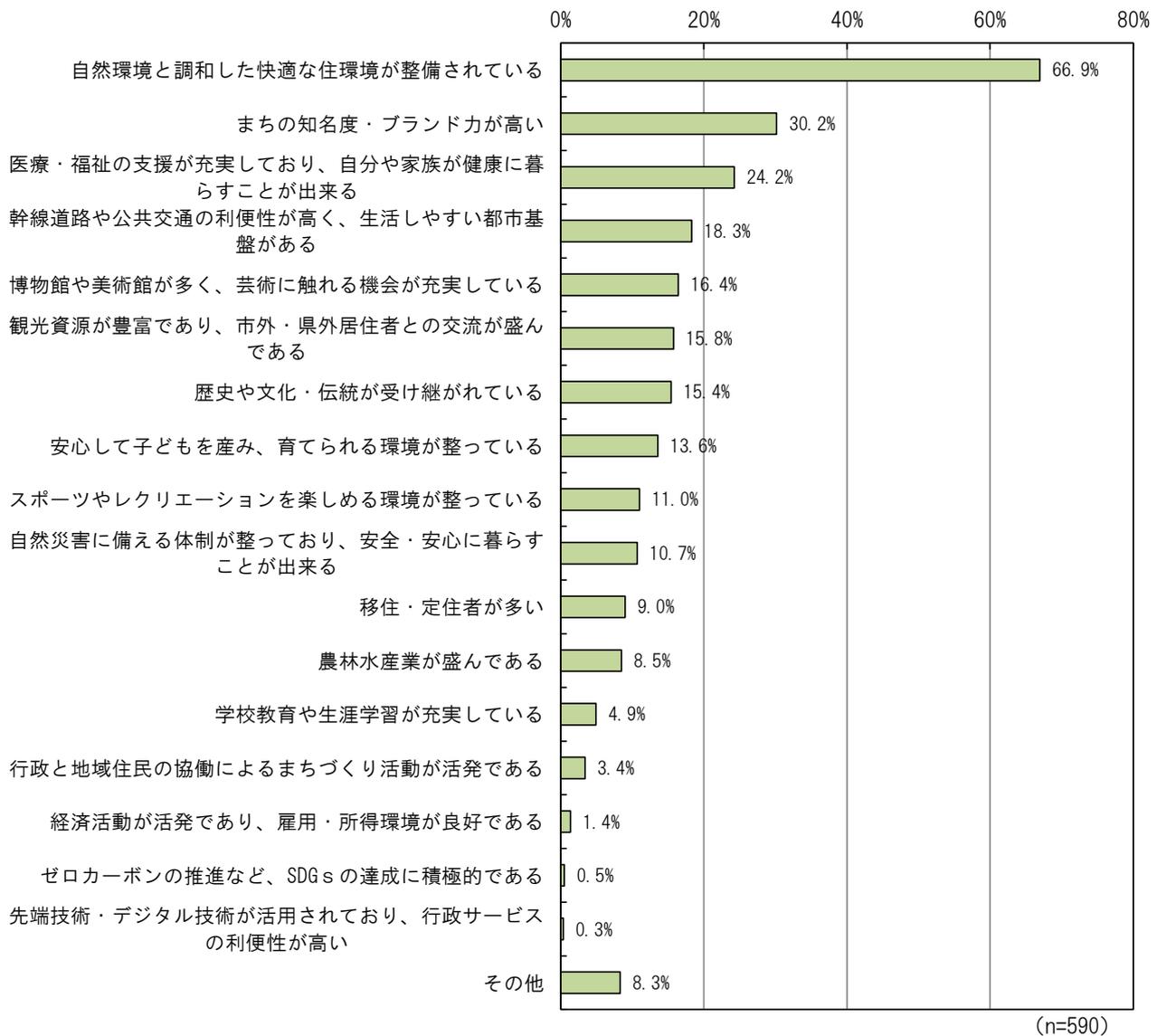
図表 34 【過去比較】安曇野市への愛着



(1) 問5で「1. とても感じている」または「2. どちらかというと感じている」と回答した方のみご回答ください。安曇野市に愛着を感じる理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- ・ 安曇野市に愛着を感じている理由は「自然環境と調和した快適な住環境が整備されている」が過半数の66.9%と突出して最も高くなっている。
- ・ 次いで「まちの知名度・ブランド力が高い」(30.2%)、「医療・福祉の支援が充実しており、自分の家族が健康に暮らすことができる」(24.2%)と続いている。

図表 35 安曇野市に愛着を感じる理由(“感じている”と回答した方を対象)



- 年代別で比較すると、「自然環境と調和した快適な住環境が整備されている」がすべての年代で過半数を超えて最も高くなっている。
- 年代が高いほど「医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことが出来る」とする回答割合が高くなる傾向にある。

図表 36 【年代別】安曇野市に愛着を感じる理由（“感じている”と回答した方を対象）

	合計 (n=590)	18~20代 (n=47)	30代 (n=56)	40代 (n=112)	50代 (n=110)	60代 (n=154)	70代以上 (n=106)	無回答 (n=5)
自然環境と調和した快適な住環境が整備されている	66.9%	63.8%	69.6%	65.2%	68.2%	66.2%	69.8%	40.0%
まちの知名度・ブランド力が高い	30.2%	29.8%	33.9%	25.0%	31.8%	35.1%	25.5%	20.0%
医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことが出来る	24.2%	8.5%	16.1%	16.1%	21.8%	31.2%	36.8%	20.0%
幹線道路や公共交通の利便性が高く、生活しやすい都市基盤がある	18.3%	12.8%	14.3%	17.0%	11.8%	22.7%	25.5%	0.0%
博物館や美術館が多く、芸術に触れる機会が充実している	16.4%	17.0%	14.3%	12.5%	14.5%	21.4%	15.1%	40.0%
観光資源が豊富であり、市外・県外居住者との交流が盛んである	15.8%	8.5%	12.5%	8.9%	19.1%	20.1%	18.9%	0.0%
歴史や文化・伝統が受け継がれている	15.4%	12.8%	3.6%	15.2%	13.6%	16.9%	22.6%	20.0%
安心して子どもを産み、育てられる環境が整っている	13.6%	8.5%	17.9%	22.3%	13.6%	13.6%	4.7%	0.0%
スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っている	11.0%	10.6%	5.4%	12.5%	10.0%	14.3%	8.5%	20.0%
自然災害に備える体制が整っており、安全・安心に暮らすことが出来る	10.7%	2.1%	1.8%	8.9%	9.1%	14.3%	17.0%	20.0%
移住・定住者が多い	9.0%	2.1%	12.5%	8.0%	8.2%	9.1%	12.3%	0.0%
農林水産業が盛んである	8.5%	10.6%	7.1%	6.3%	10.0%	10.4%	6.6%	0.0%
学校教育や生涯学習が充実している	4.9%	4.3%	7.1%	4.5%	3.6%	3.9%	7.5%	0.0%
行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発である	3.4%	0.0%	1.8%	2.7%	0.0%	4.5%	8.5%	0.0%
経済活動が活発であり、雇用・所得環境が良好である	1.4%	2.1%	0.0%	0.9%	0.9%	3.2%	0.0%	0.0%
ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的である	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.9%	0.0%
先端技術・デジタル技術が活用されており、行政サービスの利便性が高い	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.9%	0.0%
その他	8.3%	14.9%	10.7%	8.0%	8.2%	7.1%	5.7%	20.0%

- ・ 地域別で比較すると、「自然環境と調和した快適な住環境が整備されている」がすべての地域で過半数を超えて最も高くなっている。
- ・ 豊科では、「自然環境と調和した快適な住環境が整備されている」(72.8%)に次いで、「幹線道路や公共交通の利便性が高く、生活しやすい都市基盤である」(24.9%)が高くなっている。
- ・ 堀金では、「自然環境と調和した快適な住環境が整備されている」(67.3%)に次いで、「医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことが出来る」(34.6%)が高くなっている。

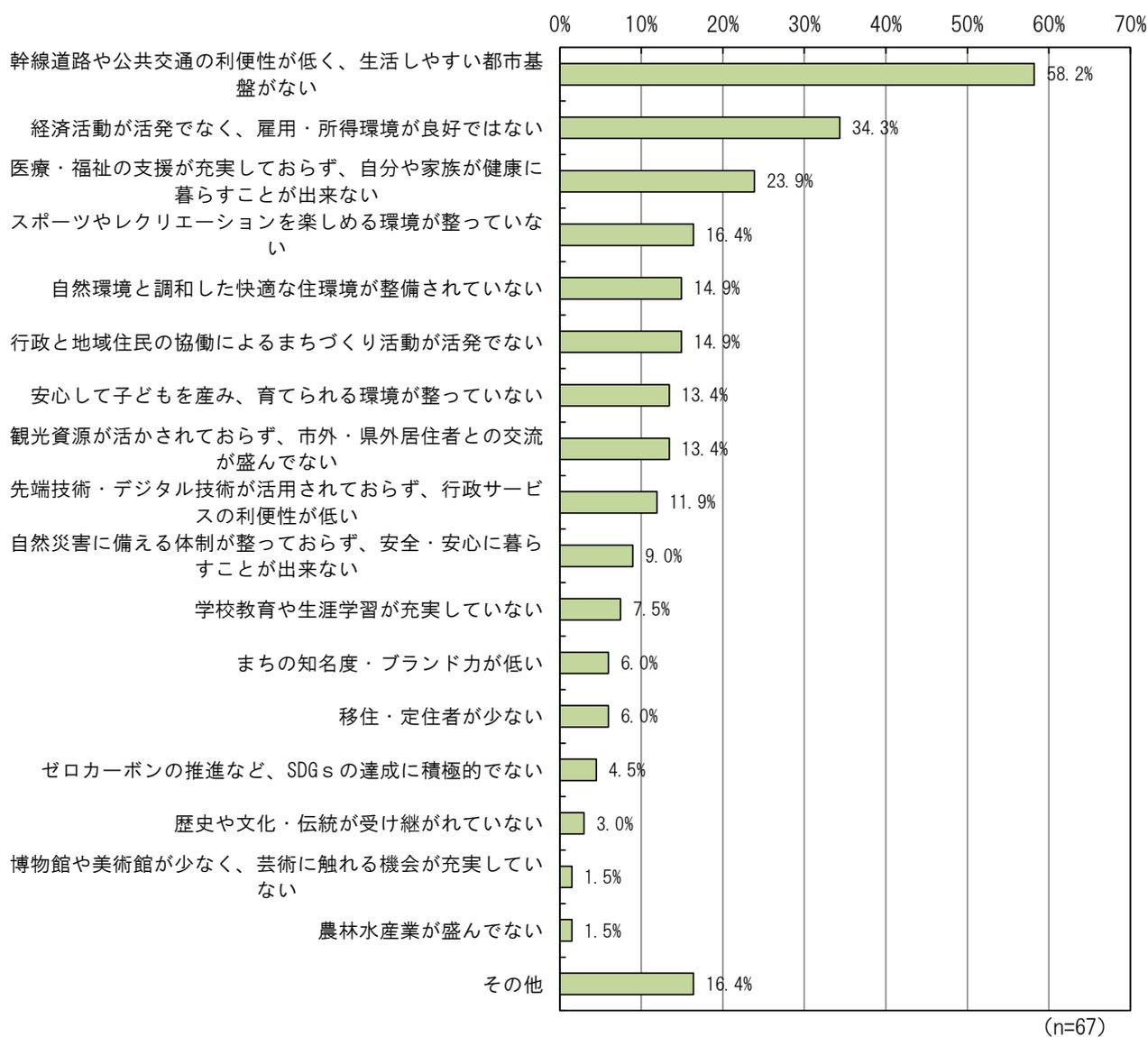
図表 37 【地域別】安曇野市に愛着を感じる理由(“感じている”と回答した方を対象)

	合計 (n=590)	豊科 (n=173)	穂高 (n=189)	三郷 (n=115)	堀金 (n=52)	明科 (n=54)	無回答 (n=7)
自然環境と調和した快適な住環境が整備されている	66.9%	72.8%	68.8%	62.6%	67.3%	53.7%	42.9%
まちの知名度・ブランド力が高い	30.2%	23.1%	37.0%	34.8%	25.0%	24.1%	28.6%
医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことが出来る	24.2%	24.3%	23.8%	26.1%	34.6%	13.0%	14.3%
幹線道路や公共交通の利便性が高く、生活しやすい都市基盤がある	18.3%	24.9%	14.8%	20.9%	15.4%	9.3%	0.0%
博物館や美術館が多く、芸術に触れる機会が充実している	16.4%	13.9%	19.6%	17.4%	11.5%	13.0%	42.9%
観光資源が豊富であり、市外・県外居住者との交流が盛んである	15.8%	14.5%	18.5%	14.8%	9.6%	20.4%	0.0%
歴史や文化・伝統が受け継がれている	15.4%	11.6%	16.4%	18.3%	15.4%	18.5%	14.3%
安心して子どもを産み、育てられる環境が整っている	13.6%	12.7%	12.7%	14.8%	19.2%	13.0%	0.0%
スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っている	11.0%	10.4%	10.1%	14.8%	17.3%	1.9%	14.3%
自然災害に備える体制が整っており、安全・安心に暮らすことが出来る	10.7%	12.7%	4.8%	17.4%	13.5%	7.4%	14.3%
移住・定住者が多い	9.0%	6.4%	12.7%	10.4%	5.8%	5.6%	0.0%
農林水産業が盛んである	8.5%	6.9%	8.5%	10.4%	13.5%	5.6%	0.0%
学校教育や生涯学習が充実している	4.9%	4.6%	3.7%	7.8%	7.7%	1.9%	0.0%
行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発である	3.4%	4.0%	1.6%	5.2%	3.8%	3.7%	0.0%
経済活動が活発であり、雇用・所得環境が良好である	1.4%	2.9%	1.1%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的である	0.5%	0.0%	0.5%	0.0%	1.9%	1.9%	0.0%
先端技術・デジタル技術が活用されており、行政サービスの利便性が高い	0.3%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	8.3%	5.2%	7.4%	7.8%	11.5%	18.5%	14.3%

(2) 問5で「3. どちらかというと感じていない」または「4. 感じていない」と回答した方のみご回答ください。安曇野市に愛着を感じない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- ・ 安曇野市に愛着を感じていない理由は「幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない」が過半数の58.2%と突出して最も高くなっている。
- ・ 次いで、「経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない」(34.3%)、「医療福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことが出来ない」(23.9%)と続いている。

図表 38 安曇野市に愛着を感じない理由(“感じていない”と回答した方を対象)



- 年代別で比較すると、全ての年代で「幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない」が最も高くなっている。(30代と60代では「経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない」と同率)
- 18～20代では「まちの知名度・ブランド力が低い」が25.0%と、全体の回答割合(6.0%)を19.0ポイント上回っている。

図表 39 【年代別】安曇野市に愛着を感じない理由(“感じていない”と回答した方を対象)

	合計 (n=67)	18～20代 (n=4)	30代 (n=9)	40代 (n=14)	50代 (n=19)	60代 (n=11)	70代以上 (n=10)	無回答 (n=0)
幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない	58.2%	50.0%	33.3%	50.0%	68.4%	63.6%	70.0%	-
経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない	34.3%	0.0%	33.3%	21.4%	42.1%	63.6%	20.0%	-
医療・福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことが出来ない	23.9%	25.0%	22.2%	14.3%	36.8%	27.3%	10.0%	-
スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っていない	16.4%	0.0%	11.1%	14.3%	36.8%	0.0%	10.0%	-
自然環境と調和した快適な住環境が整備されていない	14.9%	0.0%	0.0%	14.3%	10.5%	9.1%	50.0%	-
行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発でない	14.9%	25.0%	11.1%	7.1%	15.8%	18.2%	20.0%	-
安心して子どもを産み、育てられる環境が整っていない	13.4%	25.0%	22.2%	21.4%	10.5%	9.1%	0.0%	-
観光資源が活かされておらず、市外・県外居住者との交流が盛んでない	13.4%	25.0%	0.0%	7.1%	21.1%	9.1%	20.0%	-
先端技術・デジタル技術が活用されておらず、行政サービスの利便性が低い	11.9%	0.0%	11.1%	7.1%	21.1%	9.1%	10.0%	-
自然災害に備える体制が整っておらず、安全・安心に暮らすことが出来ない	9.0%	0.0%	11.1%	7.1%	10.5%	9.1%	10.0%	-
学校教育や生涯学習が充実していない	7.5%	0.0%	22.2%	7.1%	10.5%	0.0%	0.0%	-
まちの知名度・ブランド力が低い	6.0%	25.0%	0.0%	7.1%	0.0%	18.2%	0.0%	-
移住・定住者が少ない	6.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	30.0%	-
ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的でない	4.5%	0.0%	0.0%	7.1%	5.3%	0.0%	10.0%	-
歴史や文化・伝統が受け継がれていない	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	10.0%	-
博物館や美術館が少なく、芸術に触れる機会が充実していない	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	-
農林水産業が盛んでない	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	-
その他	16.4%	0.0%	11.1%	14.3%	21.1%	18.2%	20.0%	-

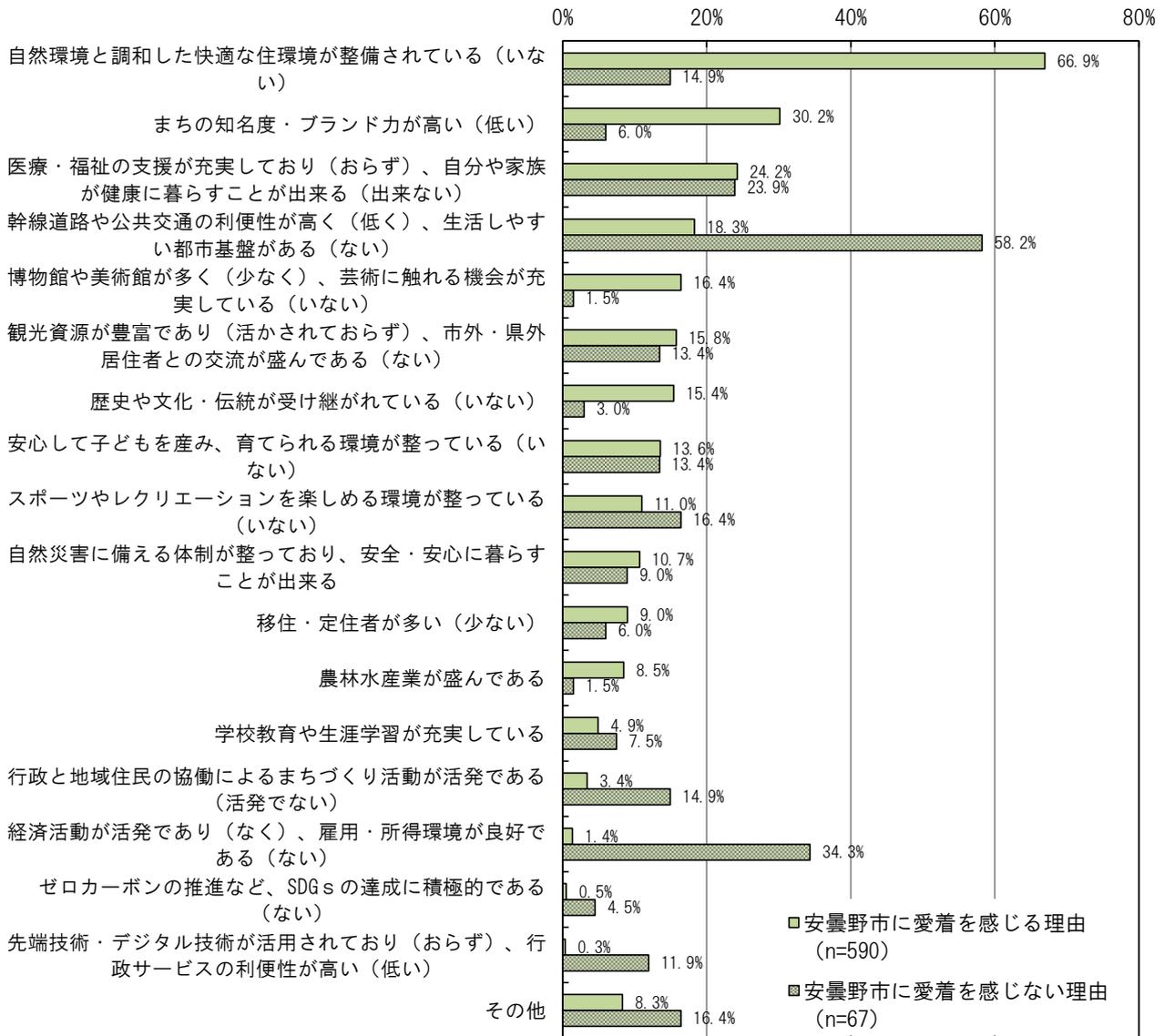
- 地域別で比較すると、「幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない」がすべての地域で過半数を超えて最も高くなっている。
- 明科では、「幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない」と同率で「経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない」とする回答割合が最も高くなっている。

図表 40 【地域別】安曇野市に愛着を感じない理由（“感じていない”と回答した方を対象）

	合計 (n=67)	豊科 (n=14)	三郷 (n=19)	穂高 (n=20)	堀金 (n=4)	明科 (n=10)	無回答 (n=0)
幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない	58.2%	57.1%	52.6%	50.0%	100.0%	70.0%	-
経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない	34.3%	28.6%	36.8%	20.0%	25.0%	70.0%	-
医療・福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことが出来ない	23.9%	28.6%	36.8%	15.0%	25.0%	10.0%	-
スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っていない	16.4%	14.3%	26.3%	5.0%	50.0%	10.0%	-
自然環境と調和した快適な住環境が整備されていない	14.9%	14.3%	10.5%	30.0%	0.0%	0.0%	-
行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発でない	14.9%	14.3%	10.5%	10.0%	25.0%	30.0%	-
安心して子どもを産み、育てられる環境が整っていない	13.4%	14.3%	15.8%	15.0%	0.0%	10.0%	-
観光資源が活かされておらず、市外・県外居住者との交流が盛んでない	13.4%	14.3%	10.5%	15.0%	25.0%	10.0%	-
先端技術・デジタル技術が活用されておらず、行政サービスの利便性が低い	11.9%	21.4%	10.5%	5.0%	25.0%	10.0%	-
自然災害に備える体制が整っておらず、安全・安心に暮らすことが出来ない	9.0%	0.0%	5.3%	15.0%	0.0%	20.0%	-
学校教育や生涯学習が充実していない	7.5%	14.3%	5.3%	10.0%	0.0%	0.0%	-
まちの知名度・ブランド力が低い	6.0%	7.1%	5.3%	0.0%	0.0%	20.0%	-
移住・定住者が少ない	6.0%	0.0%	0.0%	5.0%	25.0%	20.0%	-
ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的でない	4.5%	0.0%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	-
歴史や文化・伝統が受け継がれていない	3.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	10.0%	-
博物館や美術館が少なく、芸術に触れる機会が充実していない	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	-
農林水産業が盛んでない	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	-
その他	16.4%	7.1%	10.5%	30.0%	50.0%	0.0%	-

- 安曇野市に「愛着を感じている理由」と「愛着を感じていない理由」を比較すると、「医療福祉の支援が充実しており(おらず)、自分や家族が健康に暮らすことができる(出来ない)」はいずれにおいても3番目に高い回答割合となっており、回答割合も概ね同水準である。

図表 41 愛着を感じている理由・愛着を感じていない理由の比較



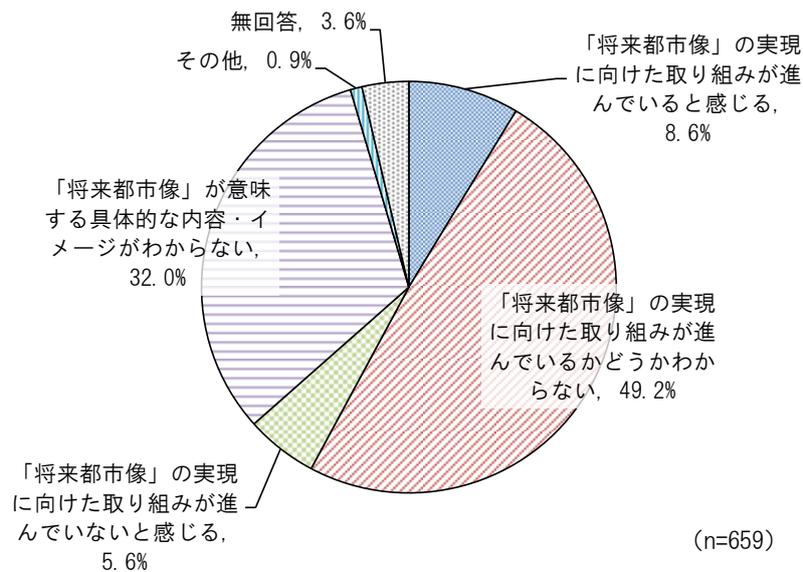
3. 安曇野市の行政に関すること

全般的な施策について

問 6. 今後のまちづくりにあたって最も基本となる計画である「総合計画」では、平成30年～令和9年までの10年間で目指すべき「将来都市像」として、「北アルプスに生まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野」を掲げ、各種施策に取り組んでいます。これについて、あなたの実感・感想として当てはまるものを教えてください。(1つに○)

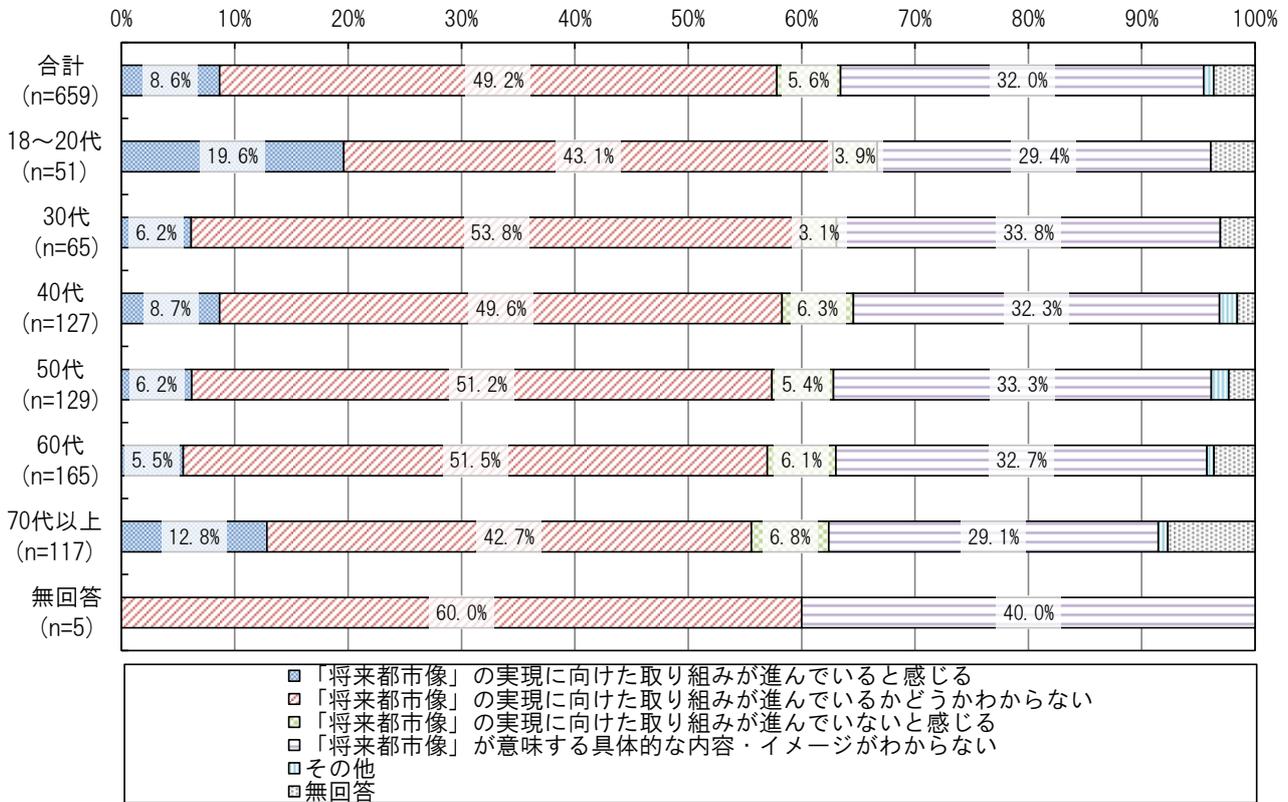
- 将来都市像については、「「将来都市像」の実現に向けた取り組みが進んでいるかどうか分からない」が49.2%と最も高く、次いで「「将来都市像」が意味する具体的な内容・イメージがわからない」が32.0%となっている。
- 将来都市像について、「「将来都市像」の実現に向けた取り組みが進んでいると感じる」は8.6%と全体の1割を下回っているものの、「「将来都市像」の実現に向けた取り組みが進んでいないと感じる」の5.6%を3.0ポイント上回っている。

図表 42 「将来都市像」に対する実感・感想

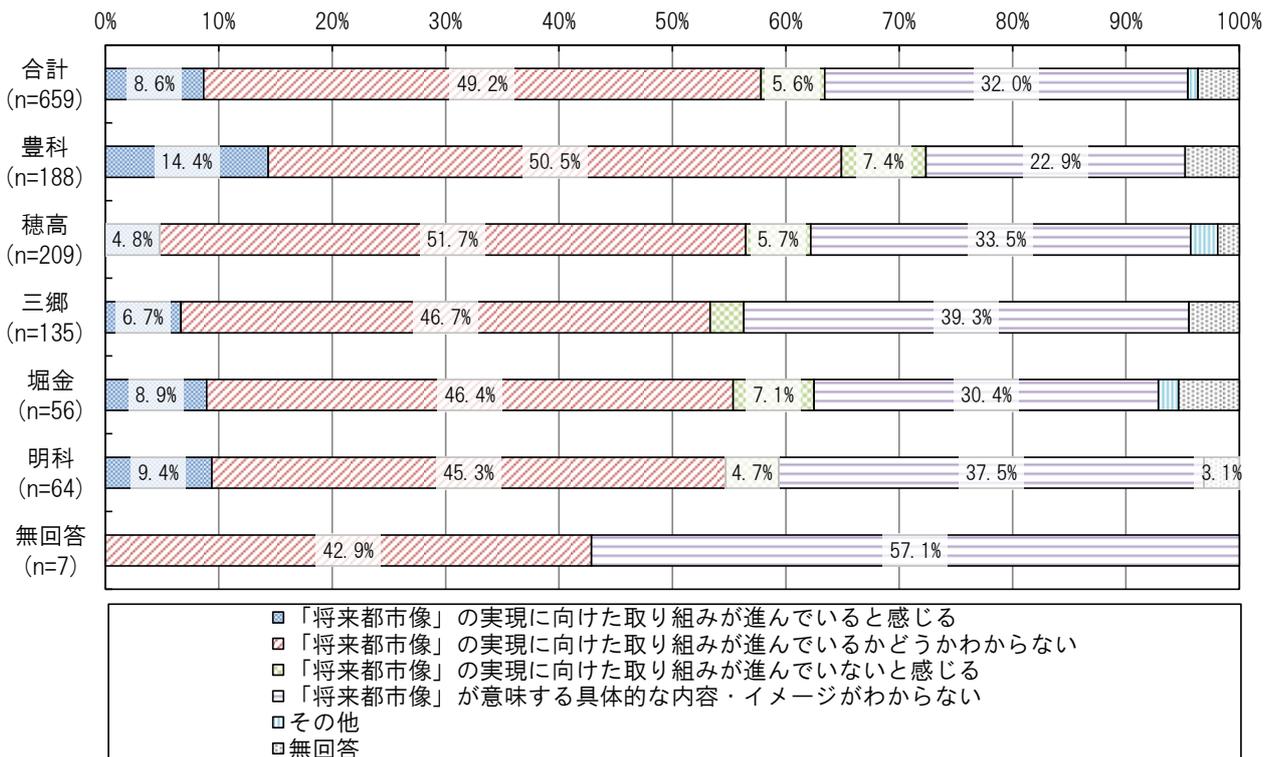


- 年代別で比較すると、18～20代では「将来都市像」の実現に向けた取り組みが進んでいると感じる」と回答した割合は19.6%と、全体の回答割合(8.6%)を11.0ポイント上回っている。
- 地域別で比較すると、豊科では「将来都市像」の実現に向けた取り組みが進んでいると感じる」と回答した割合は14.4%と、全体の回答割合(8.6%)を5.8ポイント上回っている。

図表 43 【年代別】「将来都市像」に対する実感・感想



図表 44 【地域別】「将来都市像」に対する実感・感想



問 7. 以下に示す分野ごとの市の施策について、「① 現状の満足度」と「② 今後の重要度」等をお聞きします。

● 施策一覧および施策の略称

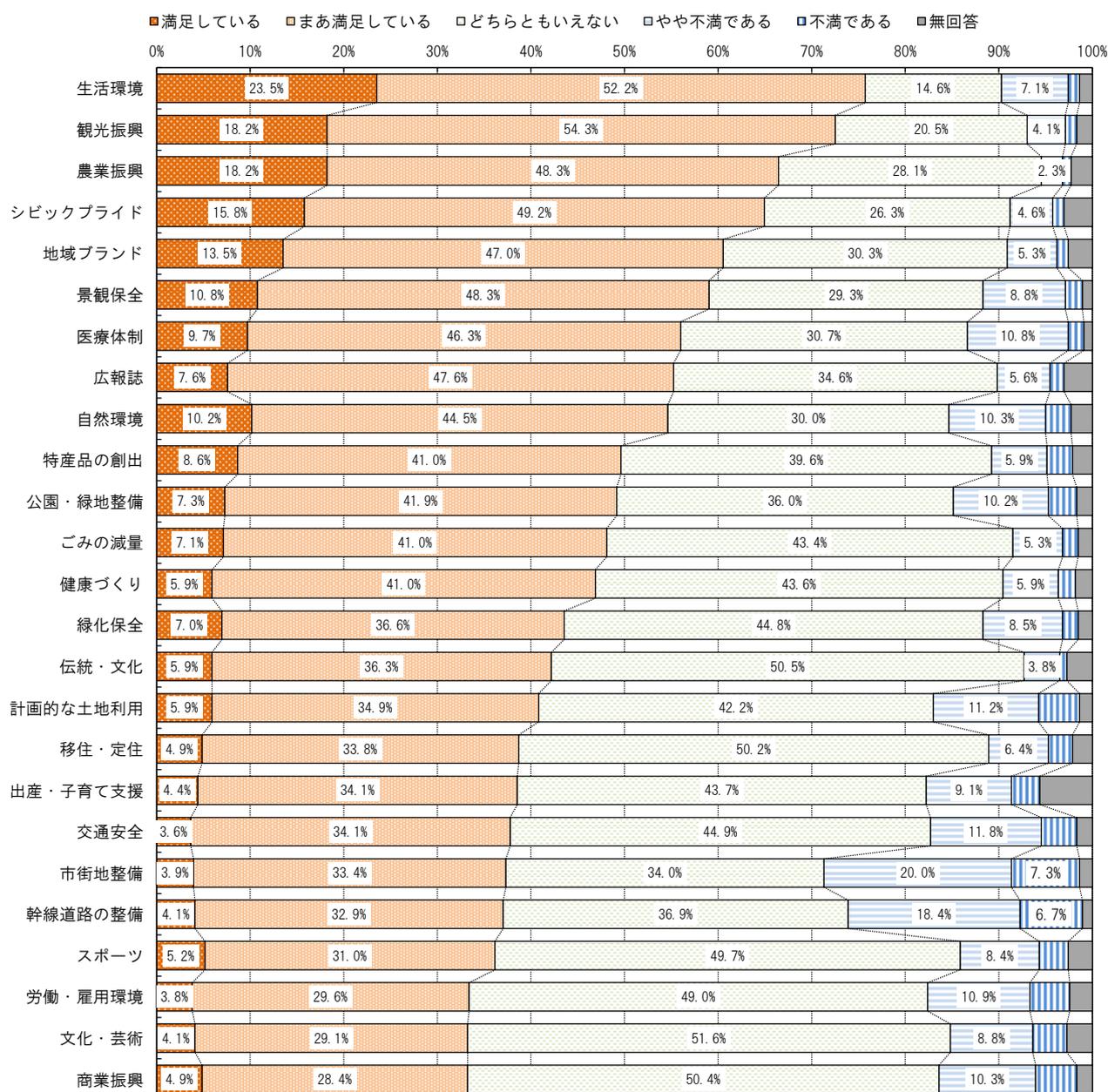
- ・ 市の 17 分野に関する 52 施策について、「① 現状の満足度」と「② 今後の重要度」を調査した。
- ・ 本調査報告書では、全 52 施策について略称を用いて表記している。
- ・ 施策名と略称の対応は以下の通り。

分野	施策名	施策名（略称）
自然環境	河川、山林などの自然環境が保全されている	自然環境
	きれいな水、澄んだ空気など、良好な生活環境が保たれている	生活環境
	太陽光発電などの自然エネルギーが普及している	自然エネルギーの普及
	ごみのリサイクルや分別などにより、減量が進んでいる	ごみの減量
医療・福祉・人権	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	健康づくり
	医療体制が整っている	医療体制
	地域において、支え合える関係が築けている	地域福祉
	障がい者が安心して生活していける地域である	障がい者福祉
	高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている	高齢者福祉
	高齢者が住みなれた地域で介護サービスを受け、介護予防に取り組む環境が整っている	介護支援
	生活に困ったときに相談できる体制が整っている	生活困窮者支援
	性別に関わらず、能力を発揮できる地域である	男女共同参画
	互いの個性や立場を尊重している地域である	多様性の尊重
子育て支援	出産、子育てしやすい地域である	出産・子育て支援
スポーツ	スポーツを楽しめる環境が整っている	スポーツ
教育・学習	小中学校での教育が充実している	学校教育の充実
	小中学校と地域・家庭の連携が図れている	学校と地域・家庭の連携
	年代に関わらず、学びの機会が提供されている	生涯学習
地域の伝統	地域の伝統や文化の保存・活用が行われている	伝統・文化
文化・芸術	文化・芸術を気軽に楽しめる環境が整っている	文化・芸術
	国際交流イベントが盛んに行われている	国際交流
防災・防犯	地域において、地震や台風などへの備えができています	防災対策
	交通安全の取り組みが行われている	交通安全
	防犯対策が行われている	防犯対策
	特殊詐欺など、消費者被害の防止に向けた取り組みが行われている	消費者保護
都市基盤	市街地は道路等が整備されており、快適である	市街地整備
	周囲の自然や農地とのバランスの取れた開発が進められている	計画的な土地利用
	安曇野らしい景観が保全されている	景観保全
	緑化の保全、普及が進められている	緑化保全
	公園、緑地の整備・維持管理がされている	公園・緑地整備
	国道、県道などの幹線道路が整備されている	幹線道路の整備
	生活道路である市道が整備されている	生活道路の整備
	公共交通網が整備されている	公共交通網
農林水産業	地域内で、安全で質の高い農産物が生産されている	農業振興
	市内に個性的で魅力的なお店が増えている	商業振興
	工業・製造業が盛んな地域である	工業振興
観光	働きやすい地域である	労働・雇用環境
	安曇野市は魅力的な観光地である	観光振興
地域ブランド	安曇野らしい産品が生み出されている	特産品の創出
	全国的に「安曇野市」の地名が知られている	地域ブランド
	市外在住者に誇ることのできる地域である	シビックプライド
移住・定住	移住者、定住者が多く活気のあるまちである	移住・定住
協働 ・コミュニティ活動	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	コミュニティ活動
	NPO、ボランティア活動が行われている	ボランティア活動
	まちづくりへの市民参画が進んでいる	市民参画
デジタル社会 ・行政サービス	情報化社会に対応した基盤が整備されている	地域の情報化
	行政運営の効率化が図られている	効率的な行政運営
	市政に関する情報が入手しやすい	市政情報の入手
	広報紙「広報あづみの」が充実している	広報誌
	市公式ホームページ、SNSが充実している	市のHP・SNS
市のラジオ番組（あづみ野エフエム）が充実している	ラジオ広報	
SDGs	SDGsの達成に向けて取り組んでいる地域である	SDGs達成への取組

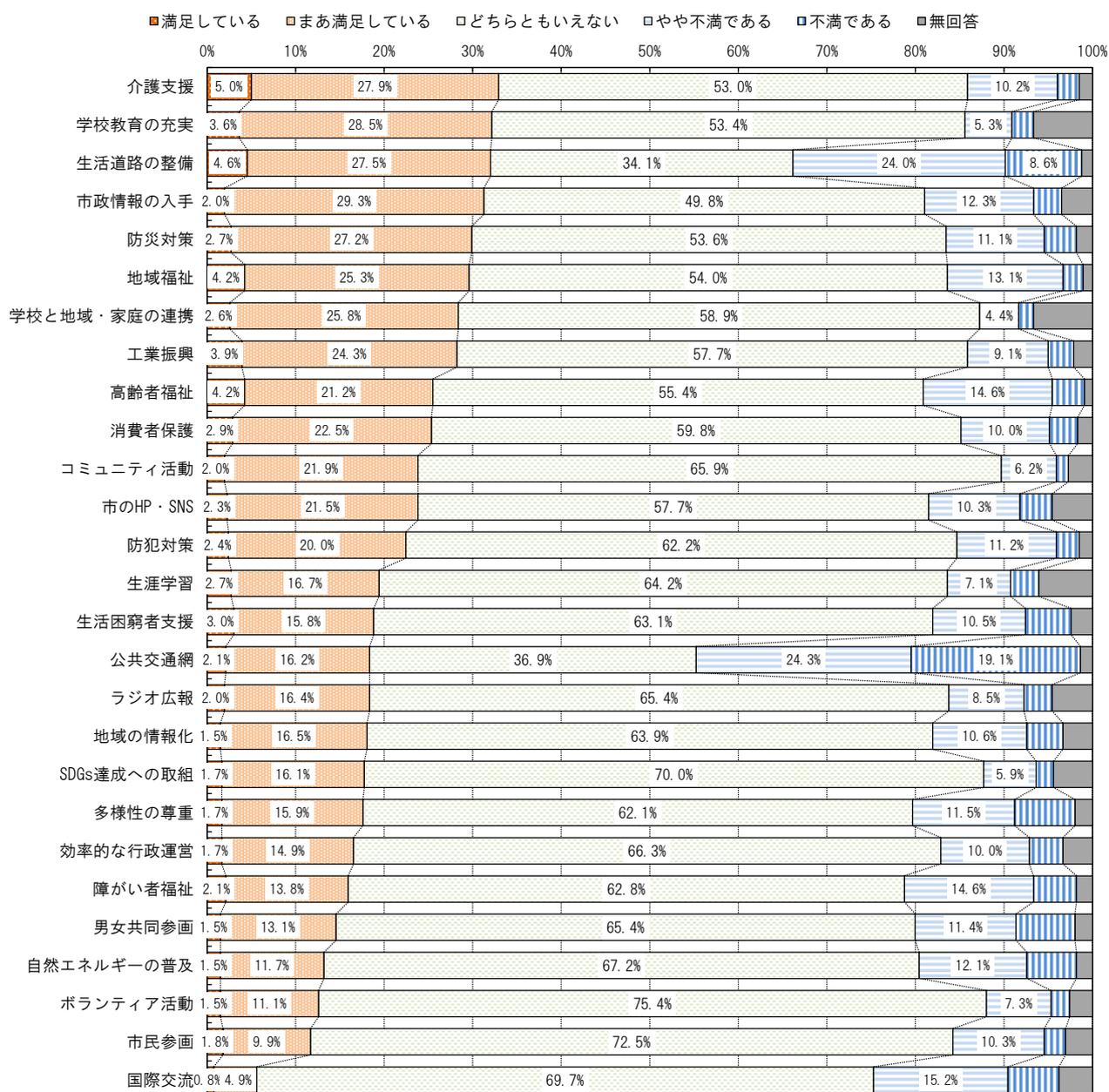
① 市の施策に対する現状の満足度

- 「満足している」と「まあ満足している」を合算した回答割合をみると、上位3つは、「生活環境」(75.7%)、「観光振興」(72.5%)、「農業振興」(66.5%)となっている。
- 「不満である」と「やや不満である」を合算した回答割合をみると、最も低かったのは「農業振興」(3.2%)となっており、次いで「伝統・文化」(4.6%)、「観光振興」(5.3%)となっている。
- 一方、「不満である」と「やや不満である」を合算した回答割合が最も高かったのは「公共交通網」(43.4%)となっており、次いで「生活道路の整備」(32.6%)、「市街地整備」(27.3%)となっている。

図表 45 市の施策に対する現状の満足度



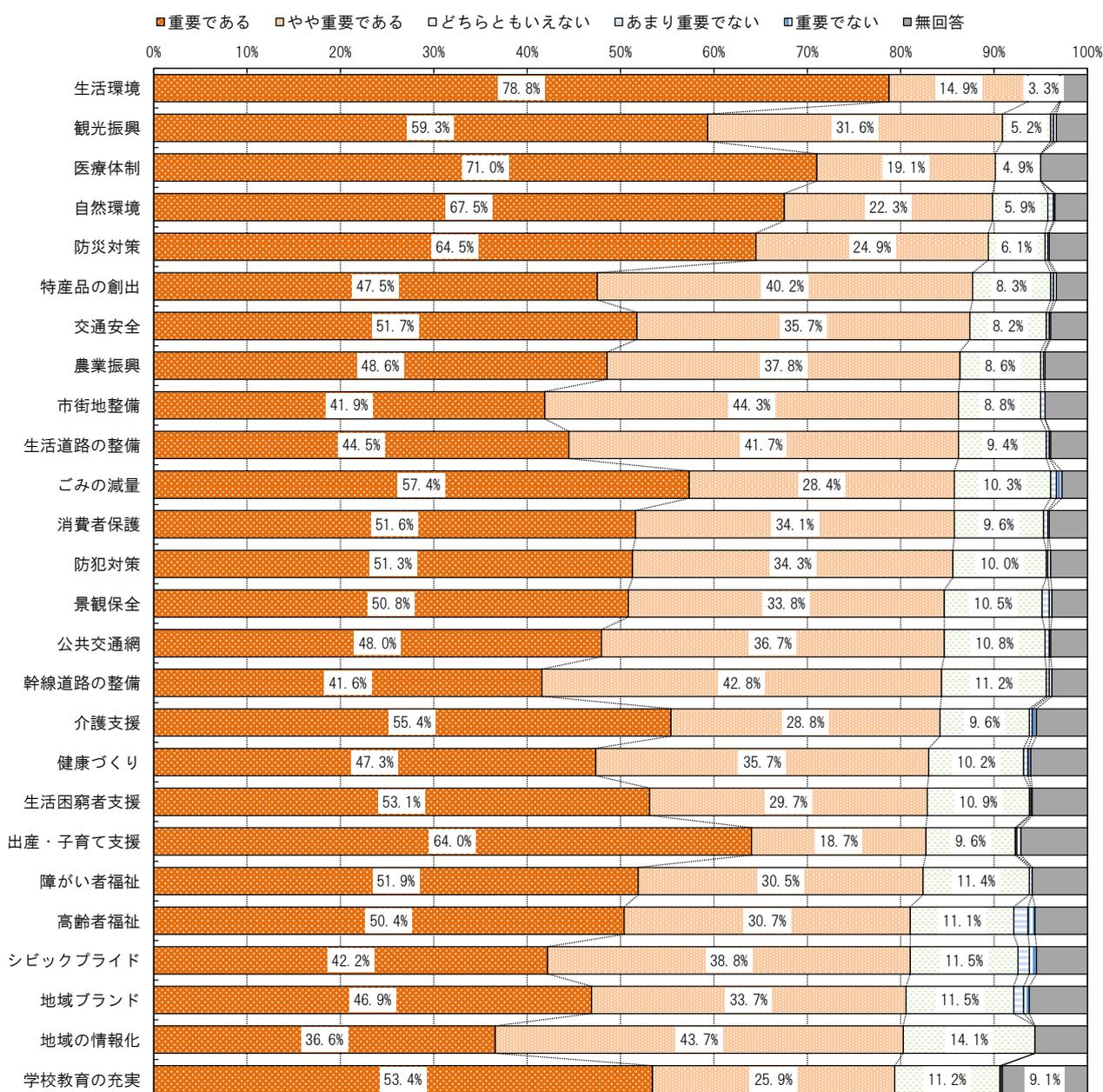
(※前ページからの続き)



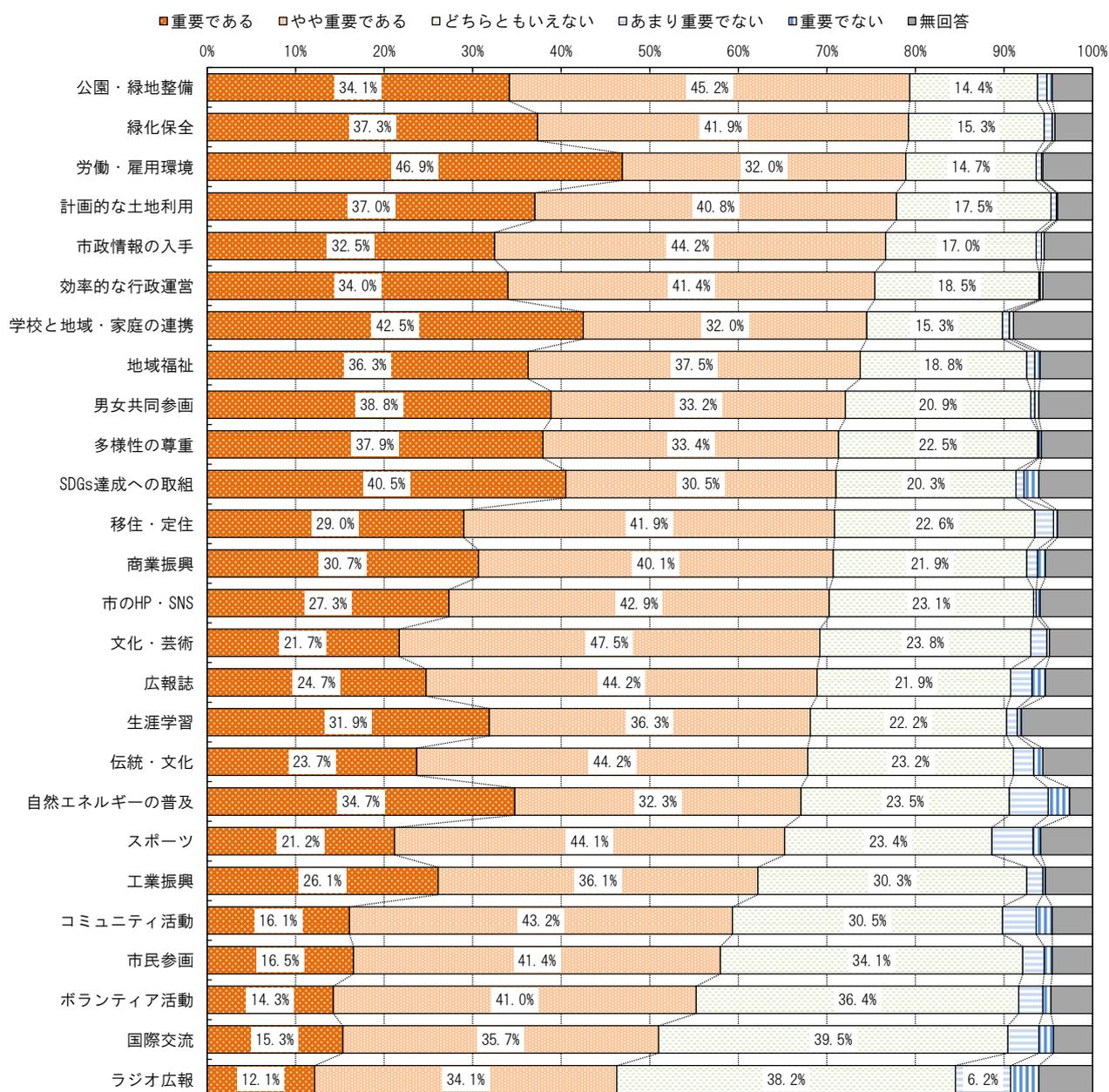
② 市の施策に対する今後の重要度

- 「重要である」と「やや重要である」を合算した回答割合をみると、上位3つは、「生活環境」(93.7%)、「観光振興」(90.9%)、「医療体制」(90.1%)となっている。
- 「重要でない」と「あまり重要でない」を合算した回答割合をみると、最も低かったのは「医療体制」、「地域の情報化」で、ともに0%となっている。
- 一方、「重要でない」と「あまり重要でない」を合算した回答割合が最も高かったのは「ラジオ広報」(9.4%)となっており、次いで「自然エネルギーの普及」(6.8%)、「コミュニティ活動」(5.6%)となっている。))

図表 46 市の施策に対する今後の重要度



(※前ページからの続き)



③ 「現状の満足度」と「今後の重要度」のマトリクス分析について

● マトリクス作成方法

- 市の施策 17 分野 52 項目について、「現状の満足度」(以下、「満足度」という)と「今後の重要度」(以下、「重要度」という)の各選択肢に以下の通り点数を設定し、その点数の総和を回答数で除すことで施策ごとの「満足度」、「重要度」を算出した。(ここで用いる回答数は、「どちらともいえない」および「無回答」を除く。)
- 全 52 施策の満足度・重要度それぞれの平均値によって 4 象限に区分されるマトリクス上に、各施策の結果をプロットした。

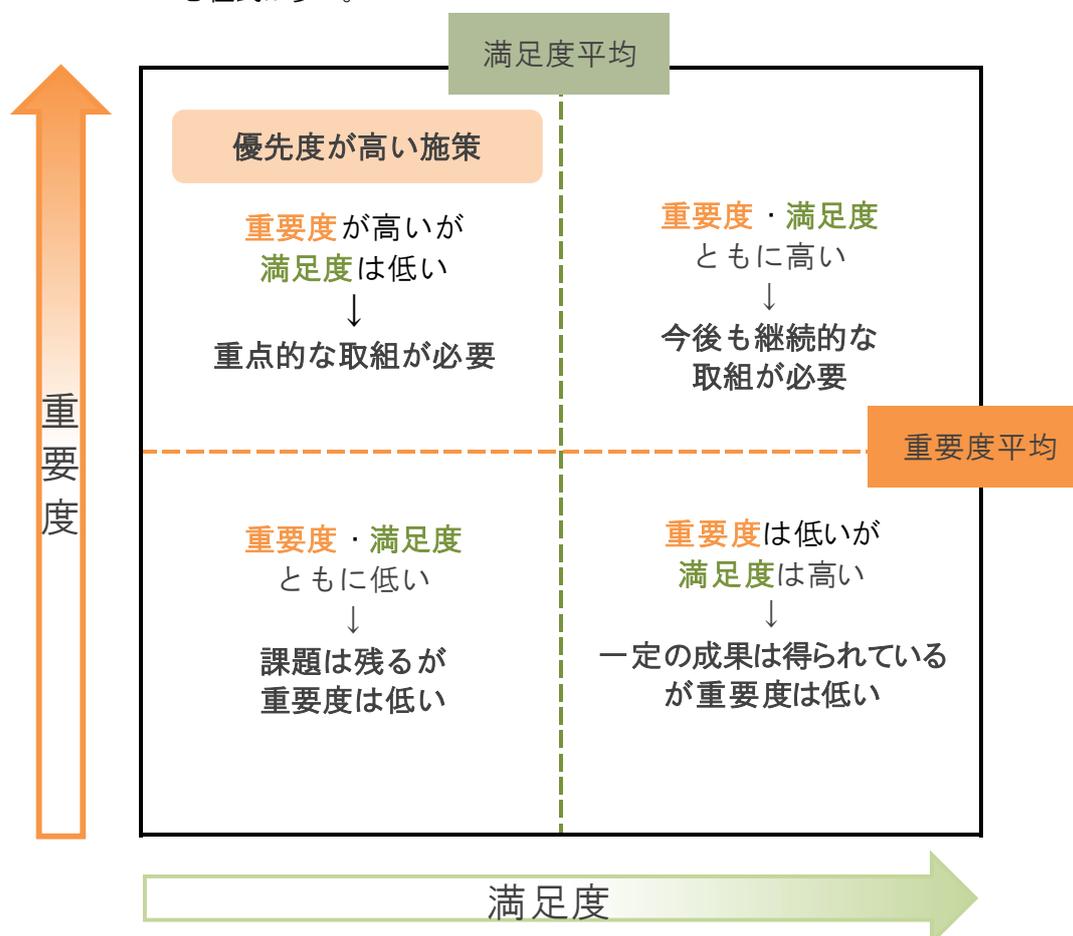
満足度	満足している	まあ満足している	やや不満である	不満である
重要度	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない
点数	4	3	2	1

【過去調査(H28)との比較について】

- 過去調査(H28)では、「満足度」について、「現在の安曇野市の状況」として聞いた。
- また、「重要度」について、「さらに進めるべきか」として聞いた。
- いずれについても、過去調査(H28)では、「そう思う」、「ややそう思う」、「わからない」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の 5 段階で回答を得た。

● マトリクスの見方

- 満足度【横方向】**:市の各施策に対する、住民の現状での満足度。高いほど(右にあるほど)、住民からの評価が高い。
- 重要度【縦方向】**:住民が考える各施策の重要度。高いほど(上にあるほど)、今後重点的に取り組むことを望む住民が多い。



I. 全体

- 全 52 施策の満足度・重要度それぞれの平均値によって各施策を4象限へプロット結果は以下の通り。
- 「医療・福祉・人権」や「防災・防犯」、「都市基盤」分野を中心とする 15 施策が、優先度が高い施策（重要度が高いが満足度は低い施策）として分類された。

図表 47 マトリクス分析結果一覧

分野	施策名（略称）	重要度：高い 満足度：高い	重要度：高い 満足度：低い	重要度：低い 満足度：低い	重要度：低い 満足度：高い
自然環境	自然環境	●			
	生活環境	●			
	自然エネルギーの普及			●	
	ごみの減量	●			
医療・福祉・人権	健康づくり	●			
	医療体制	●			
	地域福祉			●	
	障がい者福祉		●		
	高齢者福祉		●		
	介護支援	●			
	生活困窮者支援		●		
	男女共同参画		●		
	多様性の尊重		●		
子育て支援	●				
スポーツ				●	
教育・学習	学校教育の充実	●			
	学校と地域・家庭の連携	●			
	生涯学習			●	
地域の伝統 文化・芸術	伝統・文化				●
	文化・芸術				●
防災・防犯	国際交流			●	
	防災対策		●		
	交通安全		●		
	防犯対策		●		
	消費者保護		●		
都市基盤	市街地整備		●		
	計画的な土地利用				●
	景観保全	●			
	緑化保全				●
	公園・緑地整備				●
	幹線道路の整備		●		
	生活道路の整備		●		
公共交通網		●			
農林水産業	●				
経済活動	農業振興	●			
	商業振興			●	
	工業振興				●
観光	労働・雇用環境		●		
	観光振興	●			
地域ブランド	特産品の創出	●			
	地域ブランド	●			
移住・定住	シビックプライド				●
移住・定住	移住・定住				●
	移住・定住				●
	移住・定住				●
協働・コミュニティ活動	コミュニティ活動				●
	ボランティア活動			●	
	市民参画			●	
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化			●	
	効率的な行政運営			●	
	市政情報の入手			●	
	広報誌			●	
	市のHP・SNS			●	
	ラジオ広報			●	
SDGs	SDGs達成への取組		●		

優先度が高い施策

- ・ 県内 19 市のうち、令和3年度以降の市民アンケート調査にて「満足度」・「重要度」のマトリクス分析を実施している5市について、その結果をみてみると、「医療・福祉」や、公共交通の充実や道路整備等を含む「都市基盤」に関する施策等が「重要度が高いが満足度は低い施策等」として分類されており、複数の自治体で共通する課題となっているものとみられる。

図表 48 県内他市との比較(重要度が高いが満足度は低い施策等)

駒ヶ根市（令和3年度実施アンケート結果）

47項目中13項目が該当	
1	病院など医療体制が整っている
2	高齢者や障がい者が安心して暮せる
3	交通の便がよく移動しやすい
4	必要な情報が分かりやすく伝わっている
5	生活道路の整備は進んでいる
6	道路は歩行者にとって安全である
7	温暖化防止対策や再資源化など循環型社会の推進が市民生活に浸透している
8	子育てをしながらでも安心して働くことができる
9	安心して子どもを預けられる環境がある
10	専門医療や救急医療をいつでも受けることができる
11	働く場の確保など雇用対策が充実している
12	子どもたちが遊び場や公園などで遊んでいる
13	市政に市民の声が反映されている

佐久市（令和3年度実施アンケート結果）

50項目中9項目が該当	
1	就労・雇用
2	環境衛生
3	医療保険・国民年金
4	障がい者福祉
5	地域交通ネットワーク
6	環境保全
7	少子化対策
8	地球温暖化対策
9	ひとり親家庭支援・低所得者福祉

諏訪市（令和3年度実施アンケート結果）

39項目中6項目が該当	
1	環境保全
2	公共交通
3	交通体系
4	財政・財務
5	雇用・創業
6	観光

千曲市（令和3年度実施アンケート結果）

32項目中4項目が該当	
1	雇用
2	行政経営
3	移住・定住
4	地球環境保全

中野市（令和3年度実施アンケート結果）

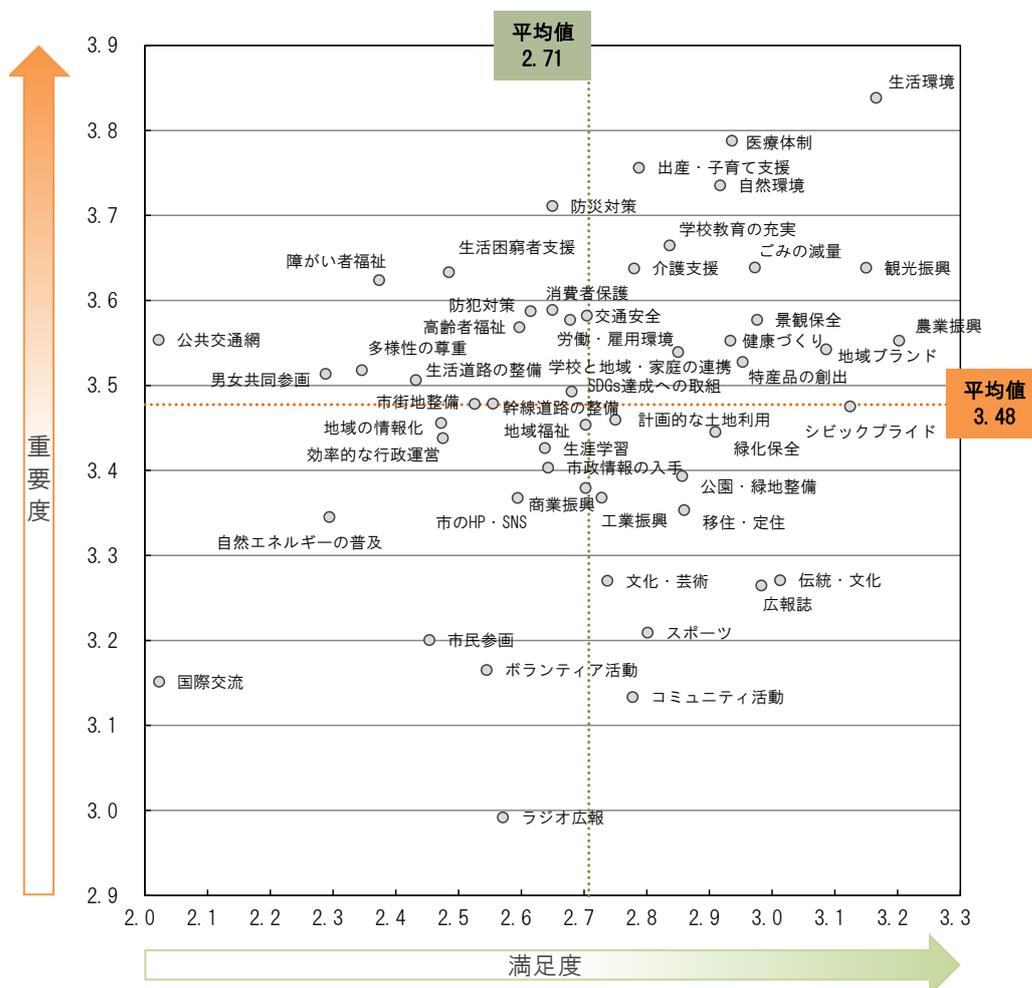
30項目中5項目が該当	
1	地域が支え合う福祉体制の確立
2	雇用機会の充実と安定
3	防災対策の推進
4	身近な生活基盤の充実
5	持続可能な財政運営の推進

(注) 重要度および満足度の算出方法等がそれぞれ異なるため自治体間の単純比較には留意が必要。

(i)重要度×満足度マトリクス分析【全体】

- 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策)として区分されているものは、52 施策中 15 施策となった。
- 15 施策を分野ごとにみると、「医療・福祉・人権」が5施策、「防災・防犯」、「都市施策」がそれぞれ4施策、「経済活動」と「SDGs」がそれぞれ1施策となっている。

図表 49 満足度×重要度マトリクス分析【全体】



図表 50 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【全体】)

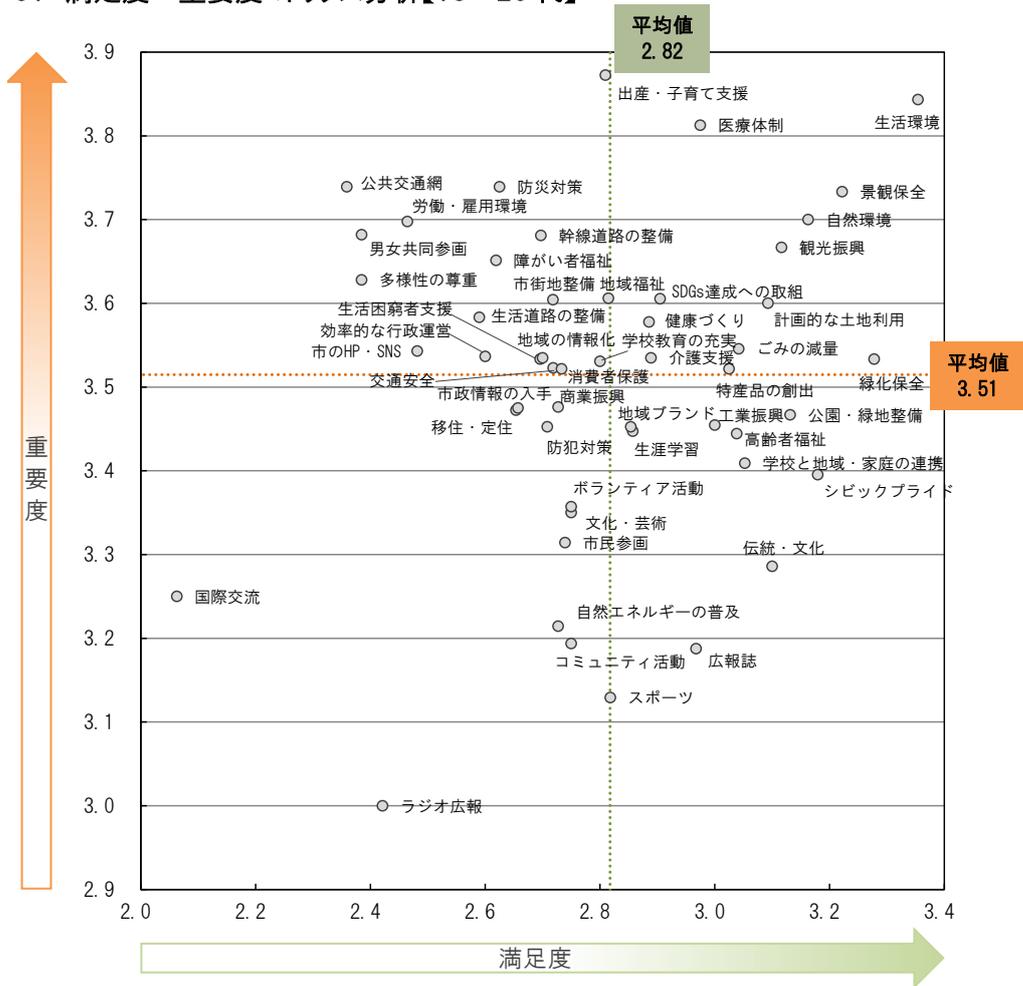
分野	施策名(略称)	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.37	3.62
	高齢者福祉	2.60	3.57
	生活困窮者支援	2.48	3.63
	男女共同参画	2.29	3.51
	多様性の尊重	2.35	3.52
防災・防犯	防災対策	2.65	3.71
	交通安全	2.70	3.58
	防犯対策	2.62	3.59
	消費者保護	2.65	3.59
都市基盤	市街地整備	2.53	3.48
	幹線道路の整備	2.56	3.48
	生活道路の整備	2.43	3.51
	公共交通網	2.02	3.55
経済活動	労働・雇用環境	2.68	3.58
SDGs	SDGs達成への取組	2.68	3.49

II. 年代別

(i) 重要度×満足度マトリクス分析【18～20代】

- 18～20代の回答をみると、市の施策等に対する満足度の平均は 2.82 ポイントであり、全体の平均 (2.71) に比べて、0.11 ポイント高くなっている。
- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 18 施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」が5施策、「都市基盤」が4施策、「防災・防犯」、「デジタル社会・行政サービス」がそれぞれ3施策、「子育て支援」、「教育・学習」、「経済活動」がそれぞれ1施策となっている。
- 18～20代の特徴として、全体ではみられなかった「子育て支援」、「教育・学習」、「デジタル社会・行政サービス」の分野の施策が、今後重点的に取り組むべき施策として区分されている。

図表 51 満足度×重要度マトリクス分析【18～20代】



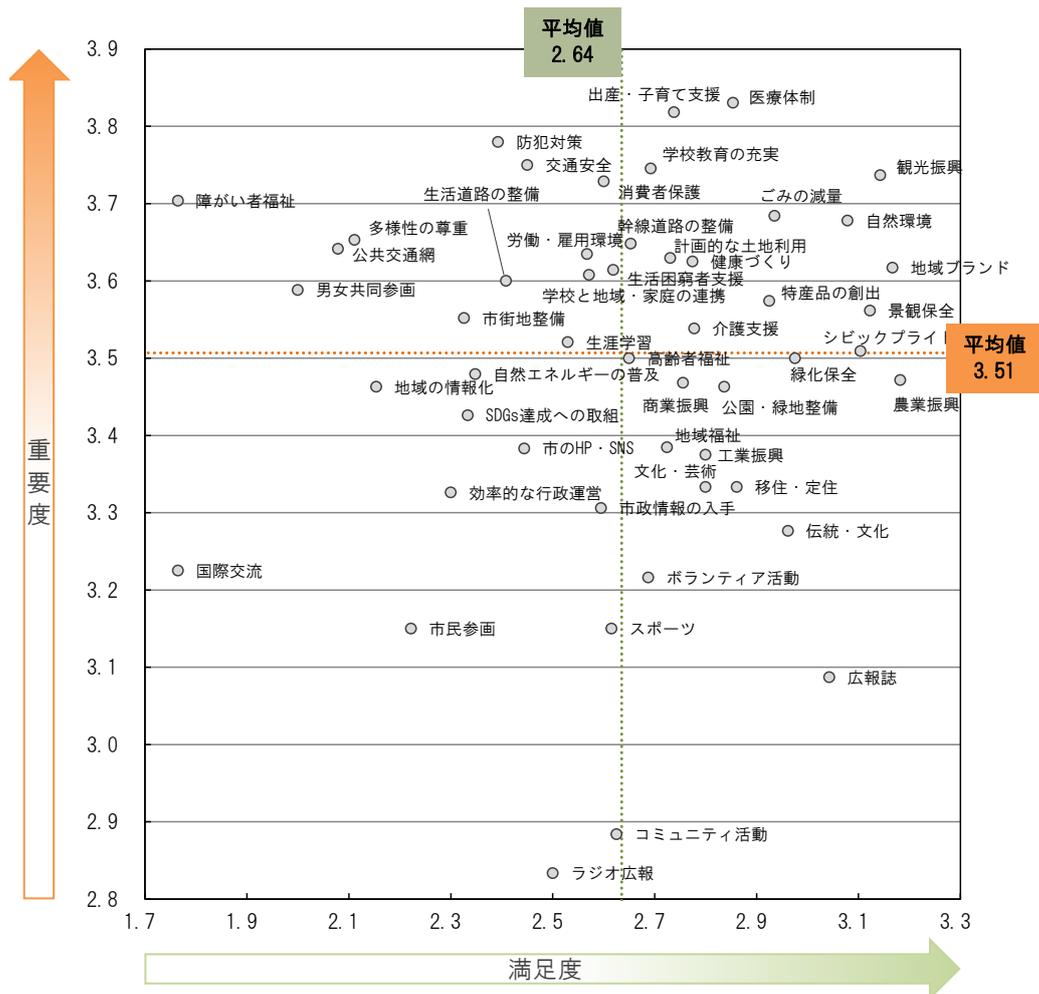
図表 52 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【18～20代】)

分野	施策名(略称)	満足度	重要度
医療・福祉・人権	地域福祉	2.81	3.61
	障がい者福祉	2.62	3.65
	生活困窮者支援	2.70	3.53
	男女共同参画	2.38	3.68
	多様性の尊重	2.38	3.63
子育て支援	出産・子育て支援	2.81	3.87
教育・学習	学校教育の充実	2.80	3.53
防災・防犯	防災対策	2.63	3.74
	交通安全	2.72	3.52
	消費者保護	2.73	3.52
都市基盤	市街地整備	2.72	3.60
	幹線道路の整備	2.70	3.68
	生活道路の整備	2.59	3.58
	公共交通網	2.36	3.74
経済活動	労働・雇用環境	2.46	3.70
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化	2.70	3.53
	効率的な行政運営	2.60	3.54
	市のHP・SNS	2.48	3.54

(ii)重要度×満足度マトリクス分析【30代】

- 30代の回答をみると、市の施策等に対する満足度の平均は2.64ポイントであり、全体の平均(2.71)に比べて、0.07ポイント低くなっている。
- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52施策中14施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」、「防犯・防災」がそれぞれ4施策、「都市基盤」が3施策、「教育・学習」が2施策「経済活動」が1施策となっている。
- 30代の特徴として、全体ではみられなかった「学校と地域・家庭の連携」、「生涯学習」が、今後重点的に取り組むべき施策として区分されている。

図表 53 満足度×重要度マトリクス分析【30代】



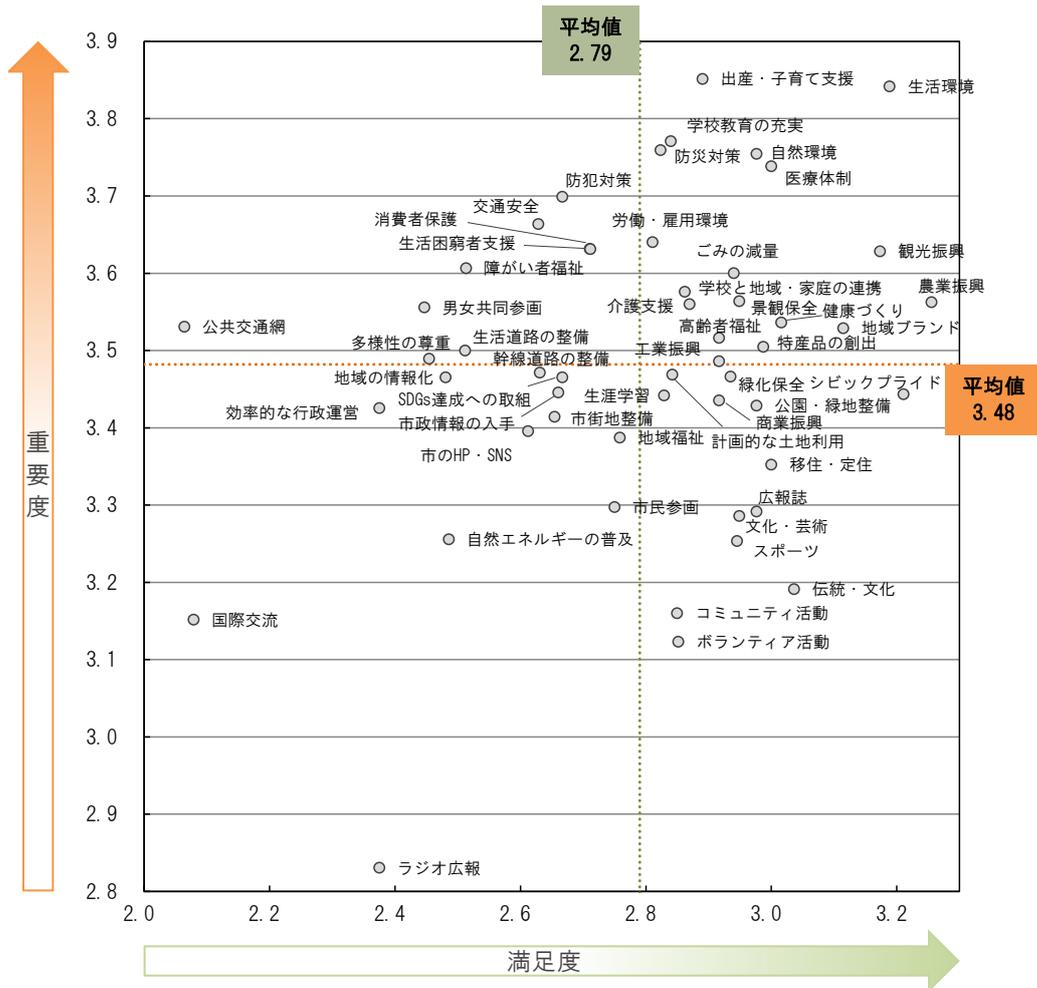
図表 54 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【30代】)

分野	施策名(略称)	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	1.76	3.70
	生活困窮者支援	2.62	3.61
	男女共同参画	2.00	3.59
	多様性の尊重	2.11	3.65
教育・学習	学校と地域・家庭の連携	2.57	3.61
	生涯学習	2.53	3.52
防災・防犯	防災対策	2.43	3.90
	交通安全	2.45	3.75
	防犯対策	2.39	3.78
	消費者保護	2.60	3.73
都市基盤	市街地整備	2.33	3.55
	生活道路の整備	2.41	3.60
	公共交通網	2.08	3.64
経済活動	労働・雇用環境	2.57	3.63

(iii)重要度×満足度マトリクス分析【40代】

- 40代の回答をみると、市の施策等に対する満足度の平均は2.79ポイントであり、全体の平均(2.71)に比べて、0.08ポイント高くなっている。
- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中9施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」が4施策、「防災・防犯」が3施策、「都市基盤」が2施策となっている。
- 40代の特徴として、全体ではみられた「経済活動」と「SDGs」の分野の施策が、今後重点的に取り組むべき施策として区分されていない。

図表 55 満足度×重要度マトリクス分析【40代】



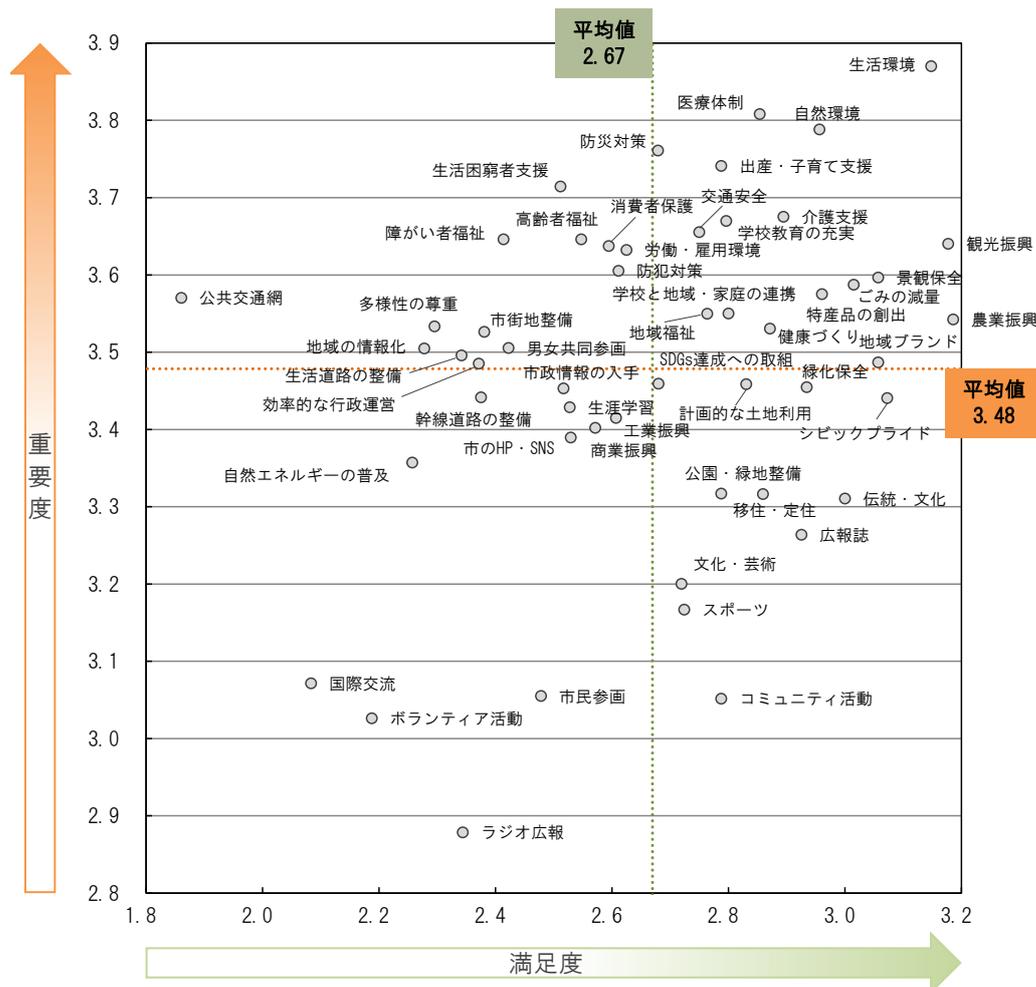
図表 56 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【40代】)

分野	施策名(略称)	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.51	3.61
	生活困窮者支援	2.71	3.63
	男女共同参画	2.45	3.56
	多様性の尊重	2.45	3.49
防災・防犯	交通安全	2.63	3.66
	防犯対策	2.67	3.70
	消費者保護	2.71	3.63
都市基盤	生活道路の整備	2.51	3.50
	公共交通網	2.06	3.53

(iv)重要度×満足度マトリクス分析【50代】

- 50代の回答をみると、市の施策等に対する満足度の平均は2.67ポイントであり、全体の平均(2.71)に比べて、0.04ポイント低くなっている。
- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52施策中13施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」が5施策、「都市基盤」が3施策、「防災・防犯」、「デジタル社会・行政サービス」がそれぞれ2施策、「経済活動」が1施策となっている。
- 50代の特徴として、全体ではみられなかった「地域の情報化」と「効率的な行政運営」が、今後重点的に取り組むべき施策として区分されている。

図表 57 満足度×重要度マトリクス分析【50代】



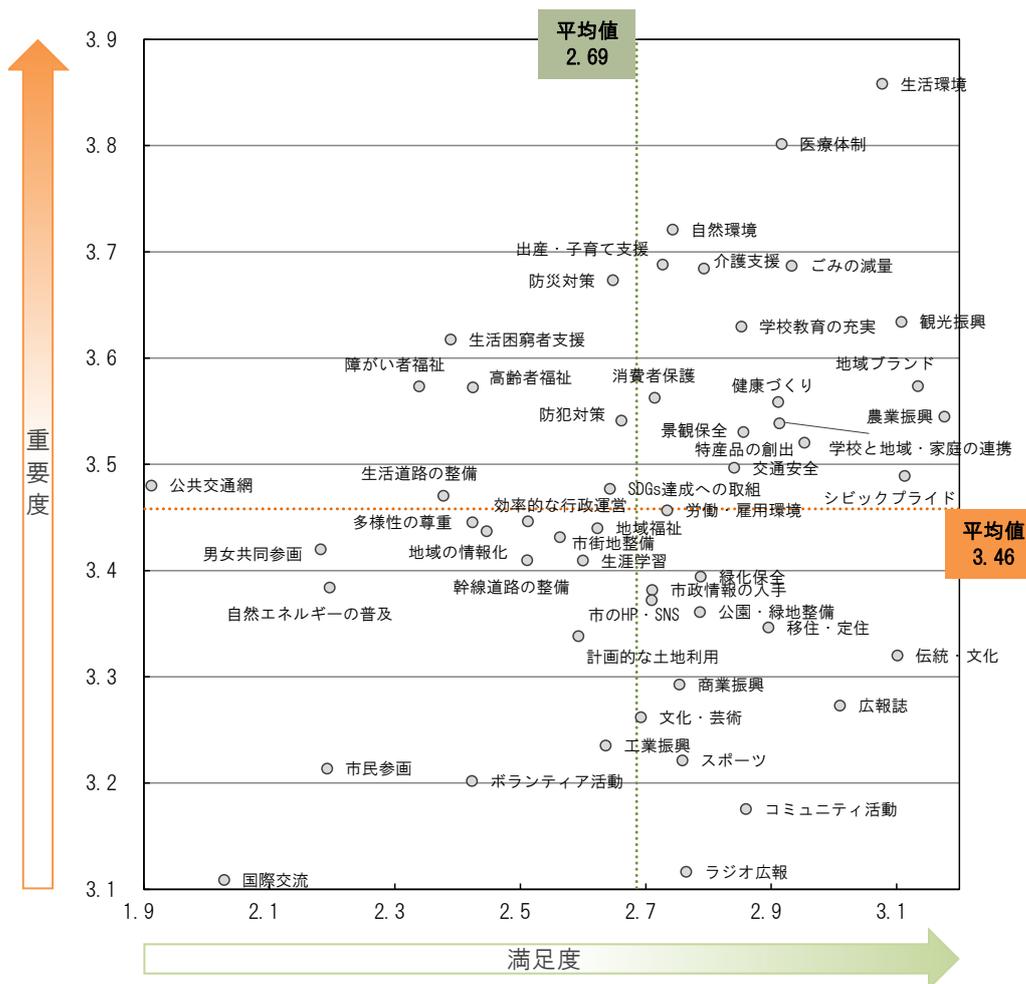
図表 58 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【50代】)

分野	施策名(略称)	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.41	3.65
	高齢者福祉	2.55	3.65
	生活困窮者支援	2.51	3.71
	男女共同参画	2.42	3.51
	多様性の尊重	2.30	3.53
防災・防犯	防犯対策	2.61	3.61
	消費者保護	2.59	3.64
都市基盤	市街地整備	2.38	3.53
	生活道路の整備	2.34	3.50
	公共交通網	1.86	3.57
経済活動	労働・雇用環境	2.63	3.63
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化	2.28	3.50
	効率的な行政運営	2.37	3.49

(v)重要度×満足度マトリクス分析【60代】

- 60代の回答をみると、市の施策等に対する満足度の平均は2.69ポイントであり、全体の平均(2.71)に比べて、0.02ポイント低くなっている。
- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52施策中8施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」が3施策、「防災・防犯」、「都市基盤」がそれぞれ2施策、「SDGs」が1施策となっている。
- 60代の特徴として、全体ではみられた「経済活動」の分野の施策が、今後重点的に取り組むべき施策として区分されていない。

図表 59 満足度×重要度マトリクス分析【60代】



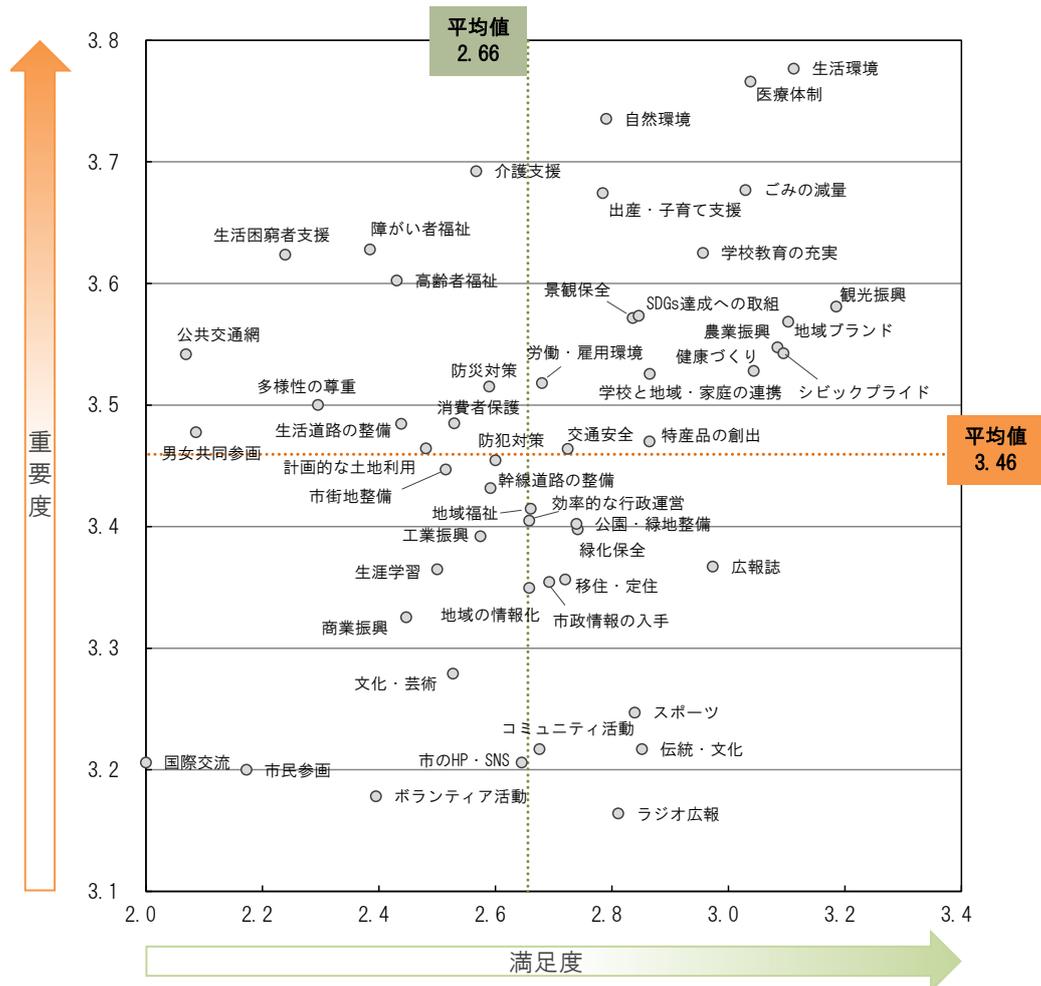
図表 60 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【60代】)

分野	施策名(略称)	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.34	3.57
	高齢者福祉	2.42	3.57
	生活困窮者支援	2.39	3.62
防災・防犯	防災対策	2.65	3.67
	防犯対策	2.66	3.54
都市基盤	生活道路の整備	2.38	3.47
	公共交通網	1.91	3.48
SDGs	SDGs達成への取組	2.64	3.48

(vi)重要度×満足度マトリクス分析【70代以上】

- 70代以上の回答をみると、市の施策等に対する満足度の平均は 2.66 ポイントであり、全体の平均 (2.71)に比べて、0.05 ポイント低くなっている。
- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 11 施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」が6施策、「都市基盤」が3施策、「防災・防犯」が2施策となっている。
- 70代以上の特徴として、全体ではみられなかった「介護支援」と「計画的な土地利用」が、今後重点的に取り組むべき施策として区分されている。
- また、全体ではみられた「経済活動」の分野の施策が、今後重点的に取り組むべき施策として区分されていない。

図表 61 満足度×重要度マトリクス分析【70代以上】



図表 62 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【70代以上】)

分野	施策名(略称)	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.38	3.63
	高齢者福祉	2.43	3.60
	介護支援	2.57	3.69
	生活困窮者支援	2.24	3.62
	男女共同参画	2.09	3.48
	多様性の尊重	2.30	3.50
防災・防犯	防災対策	2.59	3.52
	消費者保護	2.53	3.48
都市基盤	計画的な土地利用	2.48	3.46
	生活道路の整備	2.44	3.48
	公共交通網	2.07	3.54

(vii)重要度×満足度マトリクス分析【年代別結果一覧】

- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものを年代別にみると、「障がい者福祉」、「生活困窮者支援」、「生活道路の整備」および「公共交通網」の4施策は全年代で共通している。

図表 63 今後重点的に取り組むべき施策【年代別結果一覧】

- …全体で「今後重点的に取り組むべき施策」として区分されている施策
- …全体では「今後重点的に取り組むべき施策」として区分されていないが、年代別では「今後重点的に取り組むべき施策」として区分されている施策

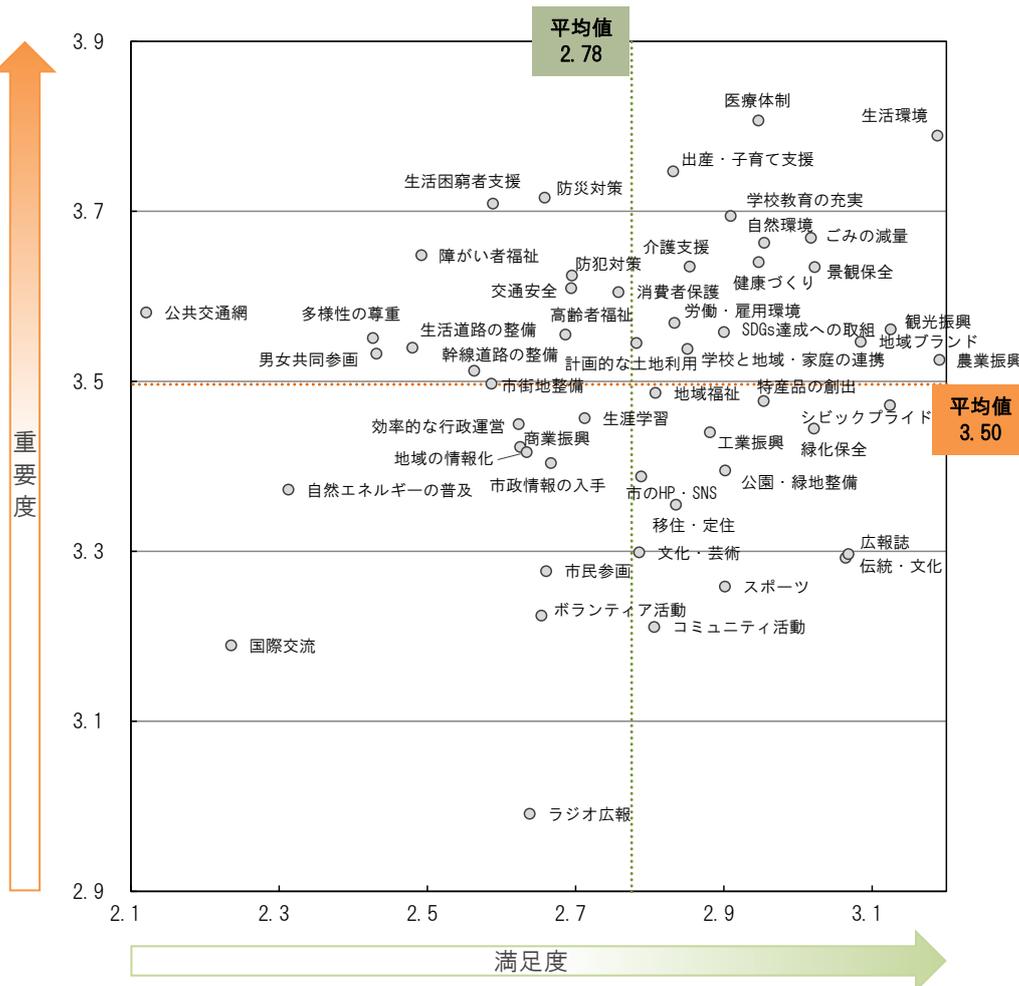
分野	施策名(略称)	全体	18~20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
自然環境	自然環境							
	生活環境							
	自然エネルギーの普及							
	ごみの減量							
医療・福祉・人権	健康づくり							
	医療体制							
	地域福祉		○					
	障がい者福祉	●	●	●	●	●	●	●
	高齢者福祉	●				●	●	●
	介護支援							○
	生活困窮者支援	●	●	●	●	●	●	●
	男女共同参画	●	●	●	●	●		●
	多様性の尊重	●	●	●	●	●		●
子育て支援		○						
スポーツ								
教育・学習	学校教育の充実		○					
	学校と地域・家庭の連携			○				
	生涯学習			○				
地域の伝統 文化・芸術	伝統・文化							
	文化・芸術							
	国際交流							
防災・防犯	防災対策	●	●	●			●	●
	交通安全	●	●	●	●			
	防犯対策	●	●	●	●	●	●	
	消費者保護	●	●	●	●	●		●
都市基盤	市街地整備	●	●	●		●		
	計画的な土地利用							○
	景観保全							
	緑化保全							
	公園・緑地整備							
	幹線道路の整備	●	●		●	●	●	●
	生活道路の整備	●	●	●	●	●	●	●
公共交通網	●	●	●	●	●	●	●	
農林水産業 経済活動	農業振興							
	商業振興							
観光	工業振興							
	労働・雇用環境	●	●	●		●		
地域ブランド	観光振興							
	特産品の創出							
移住・定住	地域ブランド							
	シビックプライド							
協働・コミュニティ活動	移住・定住							
	コミュニティ活動							
	ボランティア活動							
デジタル社会・行政サービス	市民参画							
	地域の情報化		○			○		
	効率的な行政運営		○			○		
	市政情報の入手							
	広報誌							
SDGs	市のHP・SNS		○					
	ラジオ広報							
SDGs	SDGs達成への取組	●					●	

Ⅲ. 地域別

(i) 重要度×満足度マトリクス分析【豊科】

- 豊科の回答をみると、市の施策等に対する満足度の平均は 2.78 ポイントであり、全体の平均(2.71)に比べて、0.07 ポイント高くなっている。
- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 13 施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」が5施策、「防災・防犯」、「都市基盤」がそれぞれ4施策となっている。
- 豊科の特徴として、全体ではみられた「経済活動」と「SDGs」の分野の施策が、今後重点的に取り組むべき施策として区分されていない。

図表 64 満足度×重要度マトリクス分析【豊科】



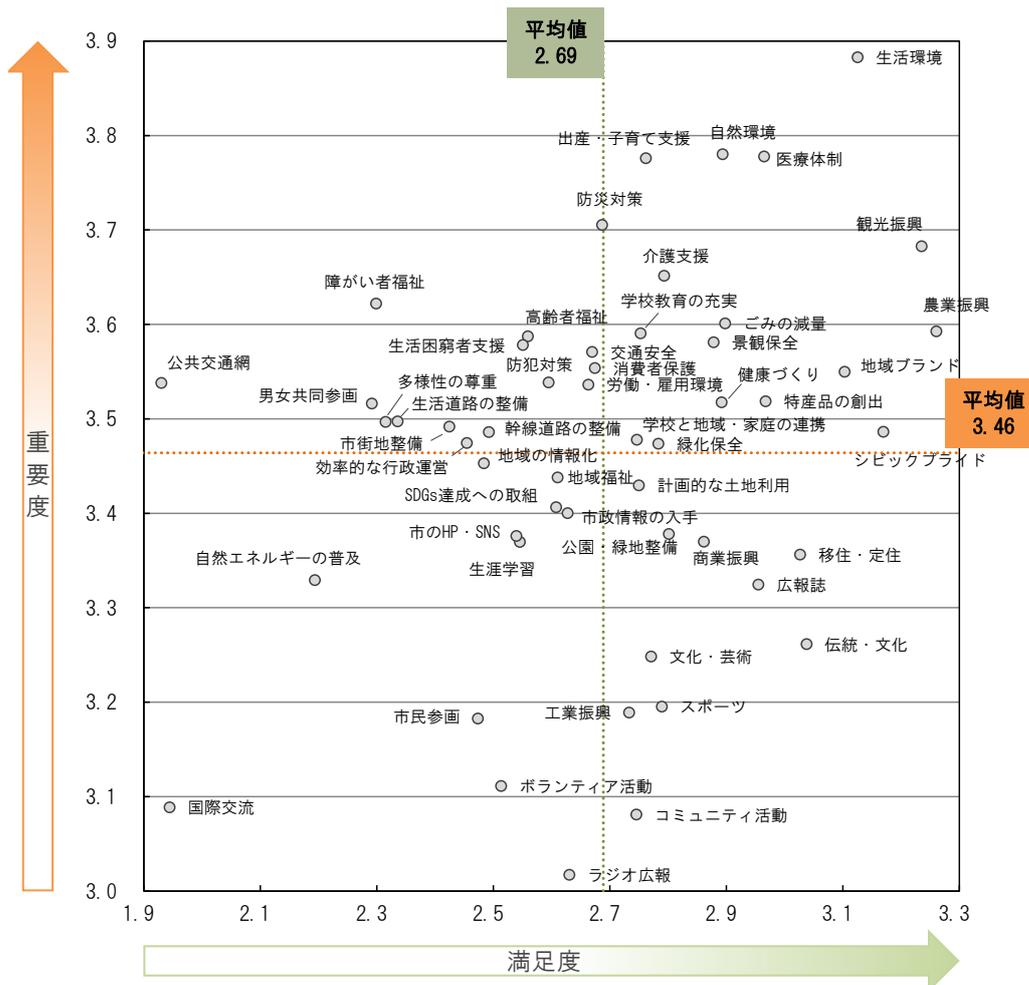
図表 65 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【豊科】)

分野	施策名(略称)	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.49	3.65
	高齢者福祉	2.69	3.55
	生活困窮者支援	2.59	3.71
	男女共同参画	2.43	3.53
	多様性の尊重	2.43	3.55
防災・防犯	防災対策	2.66	3.72
	交通安全	2.69	3.61
	防犯対策	2.69	3.62
	消費者保護	2.76	3.60
都市基盤	市街地整備	2.59	3.50
	幹線道路の整備	2.56	3.51
	生活道路の整備	2.48	3.54
	公共交通網	2.12	3.58

(ii)重要度×満足度マトリクス分析【穂高】

- 穂高の回答をみると、市の施策等に対する満足度の平均は 2.69 ポイントであり、全体の平均(2.71)に比べて、0.02 ポイント低くなっている。
- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 15 施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」が5施策、「防災・防犯」、「都市基盤」がそれぞれ4施策、「経済活動」、「デジタル社会・行政サービス」がそれぞれ1施策となっている。
- 穂高の特徴として、全体ではみられなかった「効率的な行政運営」が、今後重点的に取り組むべき施策として区分されている。

図表 66 重要度×満足度マトリクス分析【穂高】



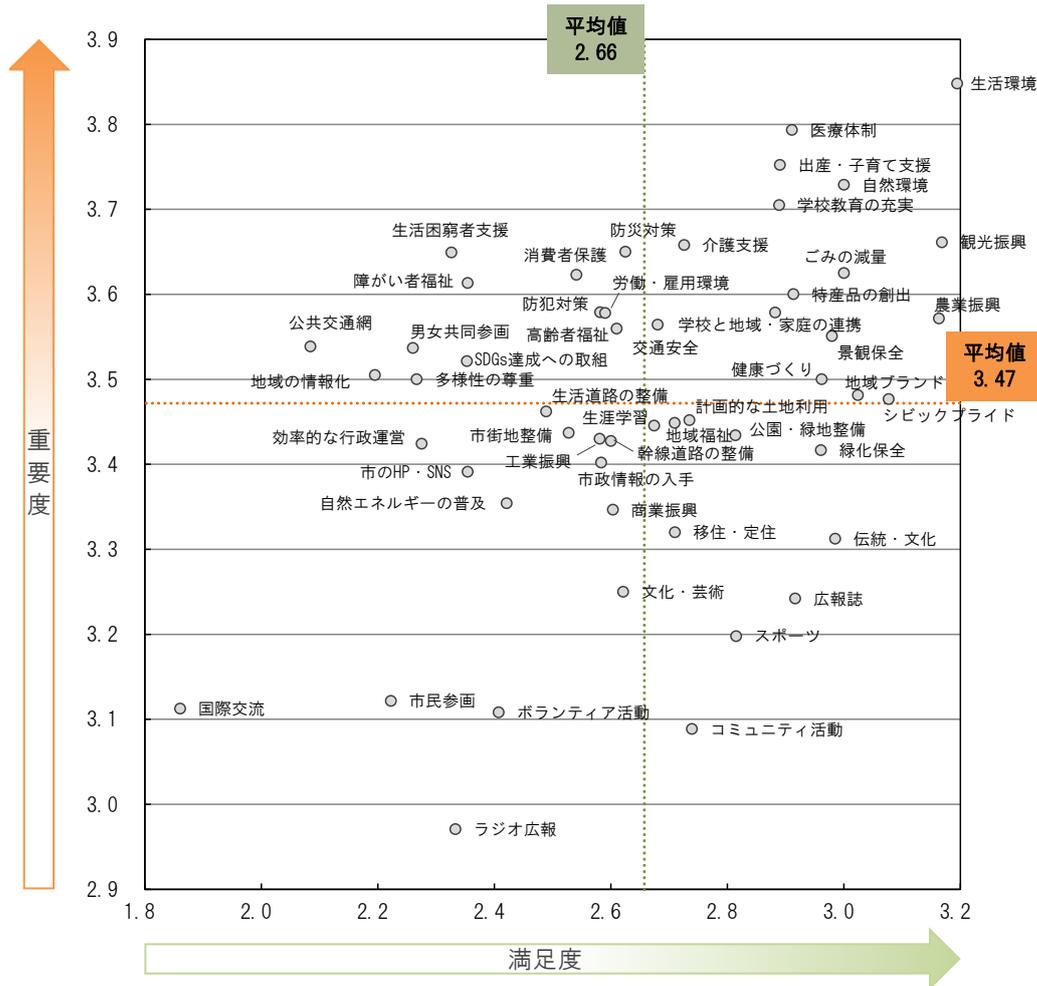
図表 67 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【穂高】)

分野	施策名(略称)	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.30	3.62
	高齢者福祉	2.56	3.59
	生活困窮者支援	2.55	3.58
	男女共同参画	2.29	3.52
	多様性の尊重	2.32	3.50
防災・防犯	防災対策	2.69	3.71
	交通安全	2.67	3.57
	防犯対策	2.59	3.54
	消費者保護	2.67	3.55
都市基盤	市街地整備	2.42	3.49
	幹線道路の整備	2.49	3.49
	生活道路の整備	2.34	3.50
	公共交通網	1.93	3.54
経済活動	労働・雇用環境	2.66	3.54
デジタル社会・行政サービス	効率的な行政運営	2.45	3.47

(iii)重要度×満足度マトリクス分析【三郷】

- 三郷の回答をみると、市の施策等に対する満足度の平均は 2.66 ポイントであり、全体の平均(2.71)に比べて、0.05 ポイント低くなっている。
- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 12 施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」が5施策、「防災・防犯」が3施策、「都市基盤」、「経済活動」、「デジタル社会・行政サービス」および「SDGs」がそれぞれ1施策となっている。
- 三郷の特徴として、全体ではみられなかった「地域の情報化」が、今後重点的に取り組むべき施策として区分されている

図表 68 重要度×満足度マトリクス分析【三郷】



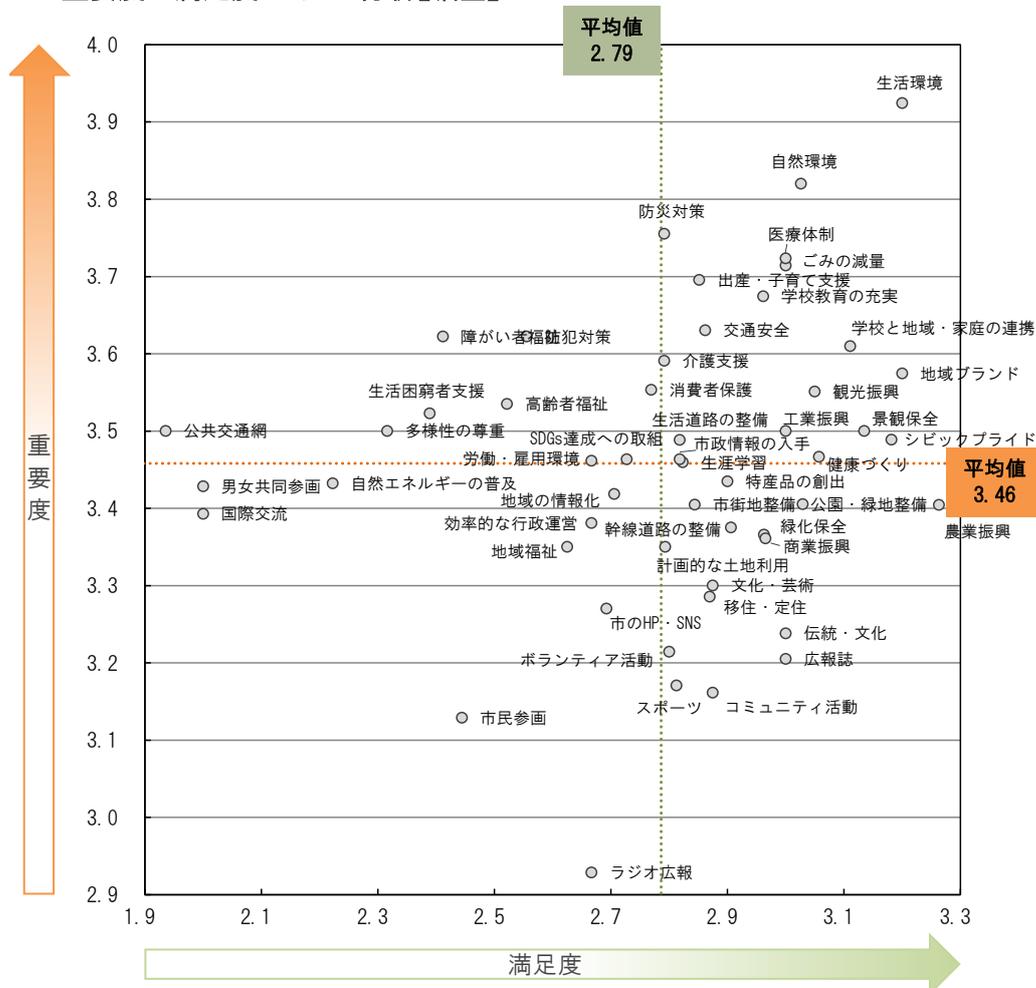
図表 69 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【三郷】)

分野	施策名(略称)	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.35	3.61
	高齢者福祉	2.61	3.56
	生活困窮者支援	2.33	3.65
	男女共同参画	2.26	3.54
	多様性の尊重	2.27	3.50
防災・防犯	防災対策	2.63	3.65
	防犯対策	2.58	3.58
	消費者保護	2.54	3.62
都市基盤	公共交通網	2.08	3.54
経済活動	労働・雇用環境	2.59	3.58
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化	2.20	3.50
SDGs	SDGs達成への取組	2.35	3.52

(iv)重要度×満足度マトリクス分析【堀金】

- 堀金の回答をみると、市の施策等に対する満足度の平均は 2.79 ポイントであり、全体の平均(2.71)に比べて、0.08 ポイント高くなっている。
- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中9施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」が4施策、「防災・防犯」が2施策、「都市基盤」、「経済活動」および「SDGs」がそれぞれ1施策となっている。

図表 70 重要度×満足度マトリクス分析【堀金】



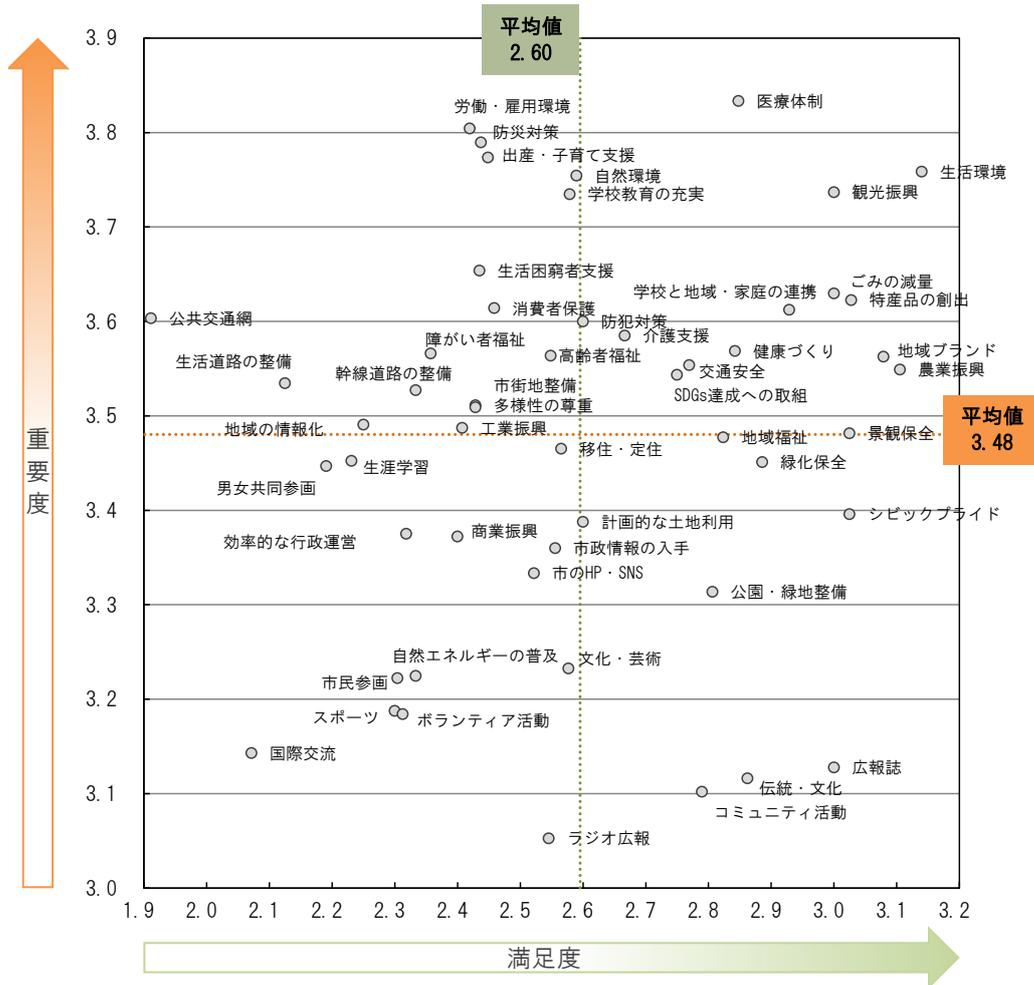
図表 71 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【堀金】)

分野	施策名(略称)	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.41	3.62
	高齢者福祉	2.52	3.53
	生活困窮者支援	2.39	3.52
	多様性の尊重	2.32	3.50
防災・防犯	防犯対策	2.56	3.62
	消費者保護	2.77	3.55
都市基盤	公共交通網	1.94	3.50
経済活動	労働・雇用環境	2.67	3.46
SDGs	SDGs達成への取組	2.73	3.46

(v)重要度×満足度マトリクス分析【明科】

- 明科の回答をみると、市の施策等に対する満足度の平均は 2.60 ポイントであり、全体の平均(2.71)に比べて、0.11 ポイント低くなっている。
- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものは、52 施策中 16 施策であり、分野ごとにみると「医療・福祉・人権」、「都市基盤」がそれぞれ4施策、「防災・防犯」、「経済活動」がそれぞれ2施策、「自然環境」、「子育て支援」、「教育・学習」および「デジタル社会・行政サービス」がそれぞれ1施策となっている。
- 明科の特徴として、全体ではみられなかった「自然環境」、「出産・子育て支援」、「学校教育の充実」、「工業振興」および「地域の情報化」が、今後重点的に取り組むべき施策として区分されている。

図表 72 重要度×満足度マトリクス分析【明科】



図表 73 今後重点的に取り組むべき施策(重要度が高いが満足度は低い施策【明科】)

分野	施策名(略称)	満足度	重要度
自然環境	自然環境	2.59	3.75
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.36	3.57
	高齢者福祉	2.55	3.56
	生活困窮者支援	2.43	3.65
	多様性の尊重	2.43	3.51
子育て支援	出産・子育て支援	2.45	3.77
教育・学習	学校教育の充実	2.58	3.73
防災・防犯	防災対策	2.44	3.79
	消費者保護	2.46	3.61
都市基盤	市街地整備	2.43	3.51
	幹線道路の整備	2.33	3.53
	生活道路の整備	2.13	3.53
	公共交通網	1.91	3.60
経済活動	工業振興	2.41	3.49
デジタル社会・行政サービス	労働・雇用環境	2.42	3.80
	地域の情報化	2.25	3.49

(vi)重要度×満足度マトリクス分析【地域別結果一覧】

- 今後重点的に取り組むべき施策として区分されているものを地域別にみると、「障がい者福祉」、「高齢者福祉」、「生活困窮者支援」、「多様性の尊重」、「消費者保護」及び「公共交通網」の6施策は全地域で共通している。
- 今後重点的に取り組むべき施策の数は明科が 16 施策と最も多く、堀金が9施策と最も少なくなっている。

図表 74 今後重点的に取り組むべき施策【地域別結果一覧】

- …全体で「今後重点的に取り組むべき施策」として区分されている施策
- …全体では「今後重点的に取り組むべき施策」として区分されていないが、地域別では「今後重点的に取り組むべき施策」として区分されている施策

分野	施策名（略称）	全体	豊科	穂高	三郷	堀金	明科
自然環境	自然環境						○
	生活環境						
	自然エネルギーの普及 ごみの減量						
医療・福祉・人権	健康づくり						
	医療体制						
	地域福祉						
	障がい者福祉	●	●	●	●	●	●
	高齢者福祉	●	●	●	●	●	●
	介護支援						
	生活困窮者支援	●	●	●	●	●	●
	男女共同参画 多様性の尊重	●	●	●	●	●	●
子育て支援	出産・子育て支援						○
スポーツ	スポーツ						
教育・学習	学校教育の充実						○
	学校と地域・家庭の連携						
	生涯学習						
地域の伝統 文化・芸術	伝統・文化						
	文化・芸術						
	国際交流						
防災・防犯	防災対策	●	●	●	●		●
	交通安全	●	●	●			
	防犯対策	●	●	●	●	●	
	消費者保護	●	●	●	●	●	●
	都市基盤	市街地整備	●	●	●		●
農林水産業 経済活動	計画的な土地利用						
	景観保全						
	緑化保全						
	公園・緑地整備						
	幹線道路の整備	●	●	●			●
	生活道路の整備	●	●	●			●
	公共交通網	●	●	●	●	●	●
	農業振興						
観光	商業振興						
	工業振興						○
	労働・雇用環境	●		●	●	●	●
地域ブランド	観光振興						
	特産品の創出						
	地域ブランド						
移住・定住	シビックプライド						
	移住・定住						
	コミュニティ活動						
協働・コミュニティ活動	ボランティア活動						
	市民参画						
	デジタル社会・行政サービス						
	地域の情報化				○		○
	効率的な行政運営			○			
	市政情報の入手						
SDGs	広報誌						
	市のHP・SNS						
	ラジオ広報						
	SDGs達成への取組	●			●	●	

IV. 過去調査(H28)との比較

(i) 満足度

- 満足度について、過去調査結果(H28)と比較した上昇幅が大きい 10 施策を分野ごとにみると、「医療・福祉・人権」が5施策、「防災・防犯」、「経済活動」がそれぞれ2施策、「デジタル社会・行政サービス」が1施策となっている。

図表 75 満足度 過去調査(H28)との比較

過去調査 (H28) と比較したポイント差の上位10施策		過去調査 (H28) と比較したポイント差の下位10施策		
分野	施策名	過去(H28)	今回	ポイント差
自然環境	河川、山林などの自然環境が保全されている	2.80	→ 2.92	0.12
	きれいな水、澄んだ空気など、良好な生活環境が保たれている	3.15	→ 3.17	0.02
	太陽光発電などの自然エネルギーが普及している	2.14	→ 2.29	0.15
医療・福祉・人権	ごみのリサイクルや分別などにより、減量が進んでいる	2.72	→ 2.97	0.25
	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	2.42	→ 2.93	0.51
	医療体制が整っている	2.59	→ 2.94	0.35
	地域において、支え合える関係が築けている	2.24	→ 2.70	0.46
	障がい者が安心して生活していける地域である	2.11	→ 2.37	0.26
	高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている	2.14	→ 2.60	0.46
	高齢者が住みなれた地域で介護サービスを受け、介護予防にに取り組む環境が整っている	2.35	→ 2.78	0.43
	生活に困ったときに相談できる体制が整っている	2.04	→ 2.48	0.44
	性別に関わらず、能力を發揮できる地域である	2.09	→ 2.29	0.20
	互いの個性や立場を尊重している地域である	2.16	→ 2.35	0.19
子育て支援	出産、子育てしやすい地域である※1	2.69	→ 2.79	0.10
スポーツ	スポーツを楽しめる環境が整っている	2.44	→ 2.80	0.36
教育・学習	小中学校での教育が充実している	2.67	→ 2.84	0.17
	小中学校と地域・家庭の連携が図れている	2.60	→ 2.85	0.25
	年代に関わらず、学びの機会が提供されている	2.35	→ 2.64	0.29
地域の伝統	地域の伝統や文化の保存・活用が行われている	2.82	→ 3.01	0.19
文化・芸術	文化・芸術を気軽に楽しめる環境が整っている	2.46	→ 2.74	0.28
	国際交流イベントが盛んに行われている	1.81	→ 2.02	0.21
防災・防犯	地域において、地震や台風などへの備えができています	2.12	→ 2.65	0.53
	交通安全の取り組みが行われている	2.49	→ 2.70	0.21
	防犯対策が行われている	2.16	→ 2.62	0.46
	特殊詐欺など、消費者被害の防止に向けた取り組みが行われている	2.38	→ 2.65	0.27
都市基盤	市街地は道路等が整備されており、快適である	2.22	→ 2.53	0.31
	周囲の自然や農地とのバランスの取れた開発が進められている	2.36	→ 2.75	0.39
	安曇野らしい景観が保全されている	2.78	→ 2.98	0.20
	緑地の保全、普及が進められている	-	→ 2.91	-
	公園、緑地の整備・維持管理がされている	2.65	→ 2.86	0.21
	国道、県道などの幹線道路が整備されている	2.38	→ 2.56	0.18
	生活道路である市道が整備されている	2.26	→ 2.43	0.17
	公共交通網が整備されている	1.99	→ 2.02	0.03
農林水産業	地域内で、安全で質の高い農産物が生産されている	3.18	→ 3.20	0.02
経済活動	市内に个性的で魅力的なお店が増えている	2.25	→ 2.70	0.45
	工業・製造業が盛んな地域である※2	2.24	→ 2.73	0.49
	働きやすい地域である	2.28	→ 2.68	0.40
観光	安曇野市は魅力的な観光地である	3.09	→ 3.15	0.06
	安曇野らしい産品が生み出されている	2.64	→ 2.95	0.31
地域ブランド	全国的に「安曇野市」の地名が知られている	-	→ 3.09	-
	市外在住者に誇ることのできる地域である	-	→ 3.12	-
移住・定住	移住者、定住者が多く活気のあるまちである	-	→ 2.86	-
協働 ・コミュニティ活動	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	2.47	→ 2.78	0.31
	NPO、ボランティア活動が行われている	2.26	→ 2.54	0.28
	まちづくりへの市民参画が進んでいる	2.10	→ 2.45	0.35
デジタル社会 ・行政サービス	情報化社会に対応した基盤が整備されている	2.04	→ 2.47	0.43
	行政運営の効率化が図られている	2.06	→ 2.48	0.42
	市政に関する情報が入手しやすい	2.26	→ 2.64	0.38
	広報紙「広報あづみの」が充実している	-	→ 2.98	-
	市公式ホームページ、SNSが充実している	-	→ 2.59	-
	市のラジオ番組（あづみ野エフエム）が充実している	-	→ 2.57	-
SDGs	SDGsの達成に向けて取り組んでいる地域である	-	→ 2.68	-

(注) 「-」は今回新たに調査項目に加えたため、過去調査 (H28) の結果がない施策

※1 過去調査では、「子育てしやすい地域である」と聞いた

※2 過去調査では、「製造業が盛んな地域である」と聞いた

(ii)重要度

- 重要度について、過去調査結果(H28)と比較した上昇幅が大きい 10 施策を分野ごとにとみると、「医療・福祉・人権」が5施策、「自然環境」が3施策、「子育て支援」、「経済活動」がそれぞれ1施策となっている。

図表 76 重要度 過去調査(H28)との比較

分野	施策名	過去(H28)	→	今回	ポイント差
自然環境	河川、山林などの自然環境が保全されている	3.47	→	3.74	0.27
	きれいな水、澄んだ空気など、良好な生活環境が保たれている	3.57	→	3.84	0.27
	太陽光発電などの自然エネルギーが普及している	3.05	→	3.34	0.29
医療・福祉・人権	ごみのリサイクルや分別などにより、減量が進んでいる	3.47	→	3.64	0.17
	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	3.37	→	3.55	0.18
	医療体制が整っている	3.52	→	3.79	0.27
	地域において、支え合える関係が築けている	3.27	→	3.45	0.18
	障がい者が安心して生活していける地域である	3.49	→	3.62	0.13
	高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている	3.45	→	3.57	0.12
	高齢者が住みなれた地域で介護サービスを受け、介護予防に取り組む環境が整っている	3.51	→	3.64	0.13
	生活に困ったときに相談できる体制が整っている	3.45	→	3.63	0.18
	性別に関わらず、能力を発揮できる地域である	3.27	→	3.51	0.24
	互いの個性や立場を尊重している地域である	3.27	→	3.52	0.25
子育て支援	出産、子育てしやすい地域である※1	3.57	→	3.76	0.19
スポーツ	スポーツを楽しめる環境が整っている	3.34	→	3.21	▲0.13
教育・学習	小中学校での教育が充実している	3.51	→	3.66	0.15
	小中学校と地域・家庭の連携が図れている	3.44	→	3.54	0.10
	年代に関わらず、学びの機会が提供されている	3.32	→	3.43	0.11
地域の伝統 文化・芸術	地域の伝統や文化の保存・活用が行われている	3.25	→	3.27	0.02
	文化・芸術を気軽に楽しめる環境が整っている	3.22	→	3.27	0.05
防災・防犯	国際交流イベントが盛んに行われている	3.04	→	3.15	0.11
	地域において、地震や台風などへの備えができています	3.56	→	3.71	0.15
	交通安全の取り組みが行われている	3.46	→	3.58	0.12
	防犯対策が行われている	3.52	→	3.59	0.07
都市基盤	特殊詐欺など、消費者被害の防止に向けた取り組みが行われている	3.50	→	3.59	0.09
	市街地は道路等が整備されており、快適である	3.47	→	3.48	0.01
	周囲の自然や農地とのバランスの取れた開発が進められている	3.35	→	3.46	0.11
	安曇野らしい景観が保全されている	3.51	→	3.58	0.07
	緑地の保全、普及が進められている	-	→	3.45	-
	公園、緑地の整備・維持管理がされている	3.45	→	3.39	▲0.06
	国道、県道などの幹線道路が整備されている	3.45	→	3.48	0.03
	生活道路である市道が整備されている	3.47	→	3.51	0.03
公共交通網が整備されている	3.49	→	3.55	0.06	
農林水産業	地域内で、安全で質の高い農産物が生産されている	3.56	→	3.55	▲0.01
経済活動	市内に个性的で魅力的なお店が増えている	3.30	→	3.38	0.08
	工業・製造業が盛んな地域である※2	3.14	→	3.37	0.23
	働きやすい地域である	3.44	→	3.58	0.14
観光	安曇野市は魅力的な観光地である	3.58	→	3.64	0.06
	安曇野らしい産品が生み出されている	3.50	→	3.53	0.03
地域ブランド	全国的に「安曇野市」の地名が知られている	-	→	3.54	-
	市外在住者に誇ることのできる地域である	-	→	3.48	-
移住・定住 協働 ・コミュニティ活動	移住者、定住者が多く活気のあるまちである	-	→	3.35	-
	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	3.15	→	3.13	▲0.02
	NPO、ボランティア活動が行われている	3.19	→	3.16	▲0.03
デジタル社会 ・行政サービス	まちづくりへの市民参画が進んでいる	3.20	→	3.20	0.00
	情報化社会に対応した基盤が整備されている	3.32	→	3.46	0.14
	行政運営の効率化が図られている	3.39	→	3.44	0.05
	市政に関する情報が入手しやすい	3.36	→	3.40	0.04
	広報紙「広報あづみの」が充実している	-	→	3.26	-
SDGs	市公式ホームページ、SNSが充実している	-	→	3.37	-
	市のラジオ番組（あづみ野エフエム）が充実している	-	→	2.99	-
	SDGsの達成に向けて取り組んでいる地域である	-	→	3.49	-

(注)「-」は今回新たに調査項目に加えたため、過去調査(H28)の結果がない施策

※1 過去調査では、「子育てしやすい地域である」と聞いた

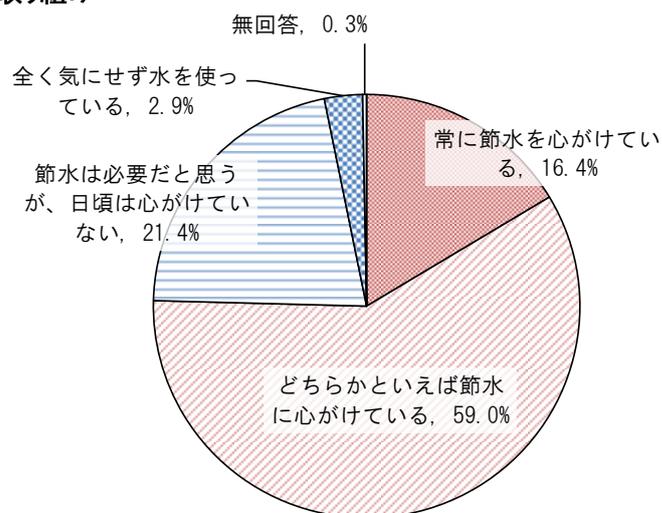
※2 過去調査では、「製造業が盛んな地域である」と聞いた

(1) 自然環境について

問 8. 地下水・湧水は安曇野市にとって、生活、産業、観光と密接に関わり、欠かすことのできない貴重な地域資源となっていますが、あなたのご家庭での節水への取り組みについて教えてください。(1つに○)

- 家庭での節水への取り組みについて、「常に節水を心がけている」と「どちらかといえば節水に心がけている」を合算した回答割合が 75.4%となっており、「節水は必要だと思うが、日頃は心がけていない」と「全く気にせず水を使っている」を合算した回答割合(24.3%)を 51.1 ポイント上回っている。

図表 77 節水への取り組み

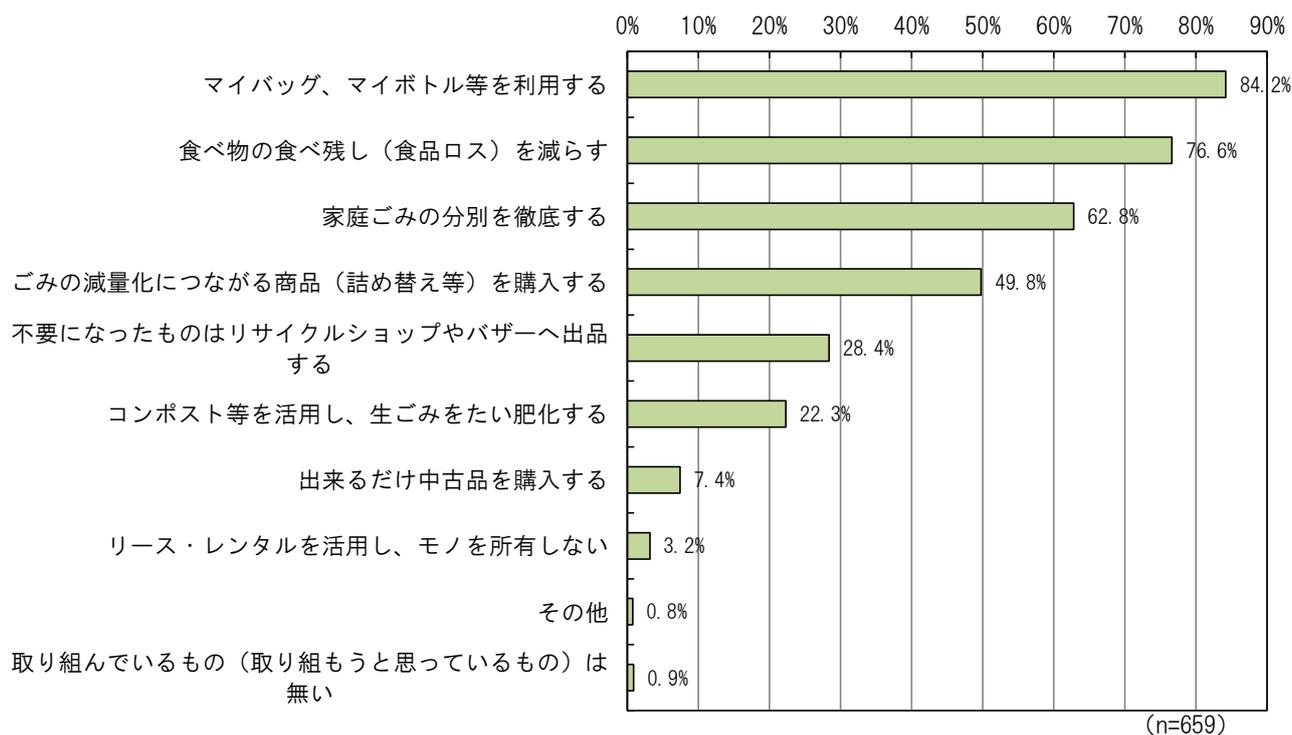


(n=659)

問 9. 循環型社会(天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会)の実現のため、あなたが現在取り組んでいる、またはこれから取り組もうと思っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

- 循環型社会の実現のため、現在取り組んでいる、またはこれから取り組もうと思っていることについて、「マイバック、マイボトル等を利用する」が 84.2%と最も高く、次いで「食べ物の食べ残し(食品ロス)を減らす」(76.6%)、「家庭ごみの分別を徹底する」(62.8%)と続いている。

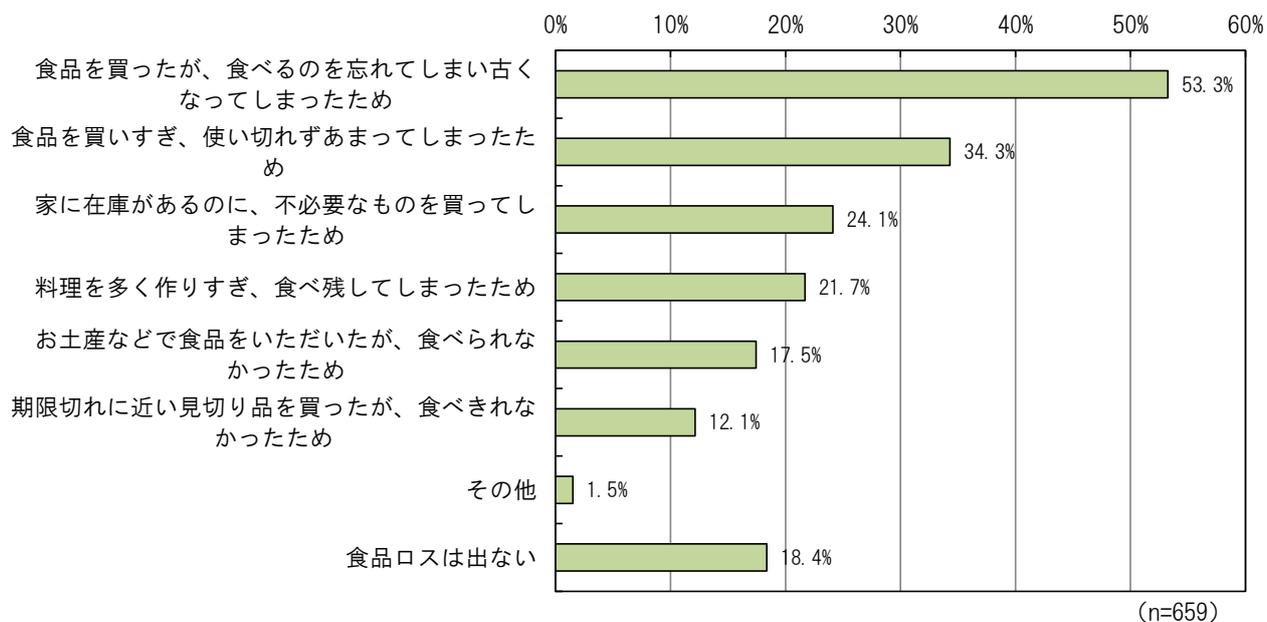
図表 78 循環型社会の実現のための取り組み



問10. 日本では、生ごみのうち、本来食べられたはずなのに捨てられてしまう食品、いわゆる「食品ロス」が、年間約600万～700万トン発生していると推計されます。ご家庭で「食品ロス」が発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。(〇はいくつでも)

- 家庭で「食品ロス」が発生してしまう場合の原因は、「食品を買ったが、食べるのを忘れてしまい古くなってしまったため」が 53.3%と最も高く、次いで「食品を買いすぎ、使いきれずあまってしまったため」が 34.3%となっている。

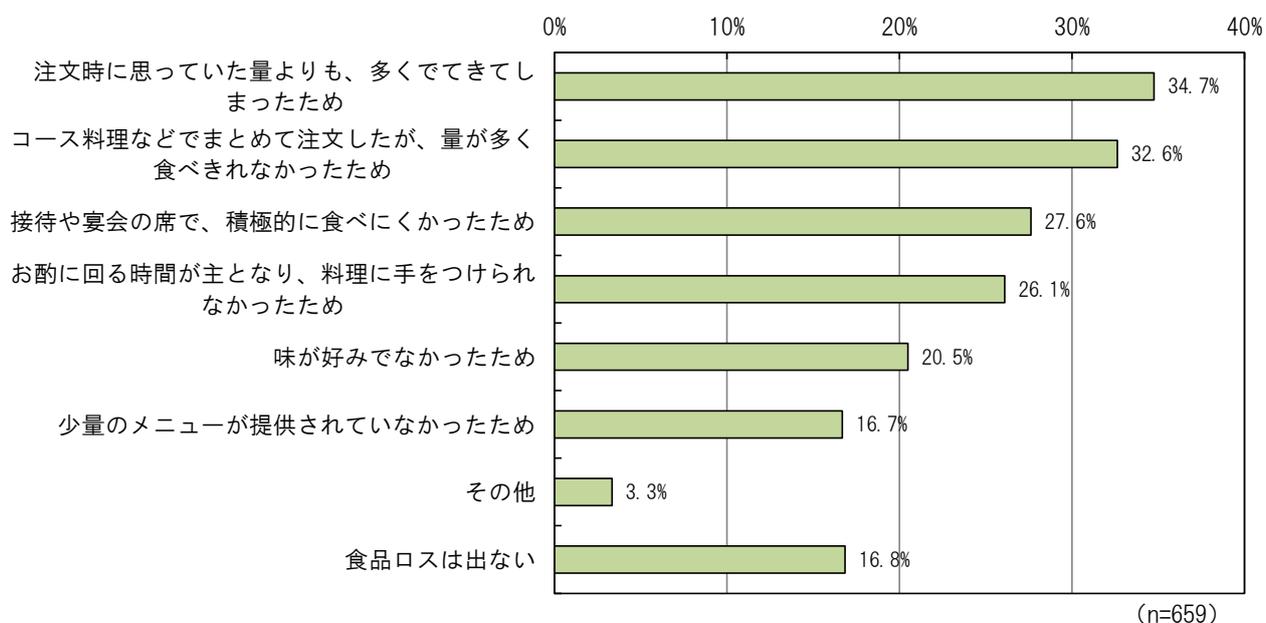
図表 79 家庭で「食品ロス」が発生する原因



問11. 外食や宴会等で「食品ロス」が発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。(〇はいくつでも)

- 外食や宴会等で「食品ロス」が発生してしまう場合の原因は、「注文時に思っていた量よりも、多く出てきてしまったため」が 34.7%と最も高く、次いで「コース料理などでまとめて注文したが、量が多く食べきれなかったため」が 32.6%となっている。
- 「食品ロスはない」とする回答割合は 16.8%となっている。

図表 80 外食や宴会等で「食品ロス」が発生する原因

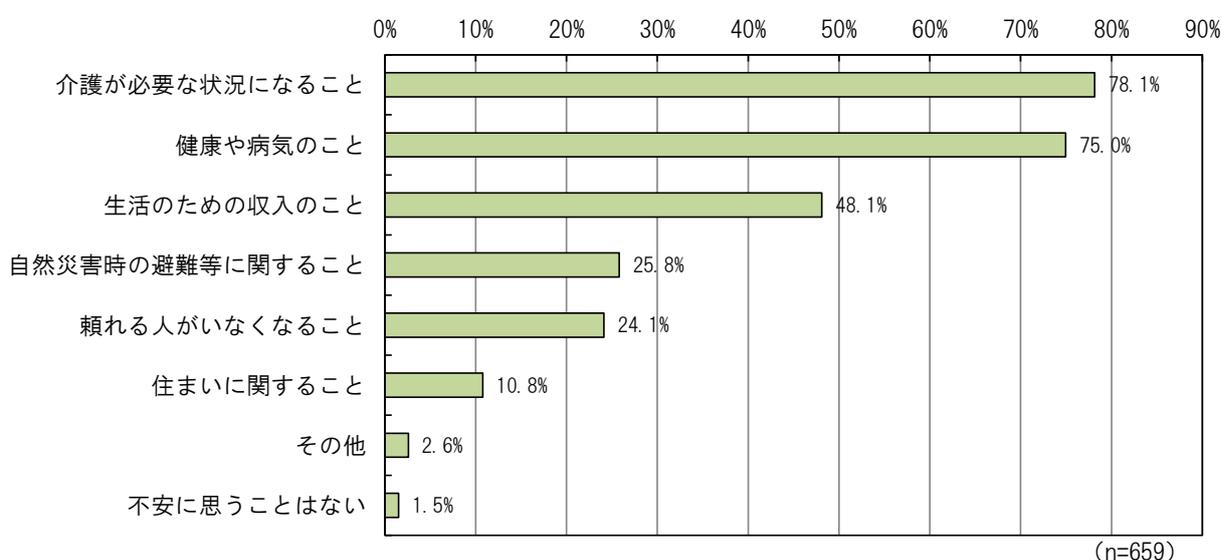


(2) 医療・福祉・人権について

問12. 自身やご家族について、高齢者の日常生活で不安だと思うこと(または将来的に不安だと思うこと)はありますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- ・ 自身やご家族について、高齢者の日常生活で不安だと思うことは、「介護が必要な状況になること」および「健康や病気のこと」がそれぞれ過半数の78.1%、75.0%と突出して高くなっている。
- ・ 年代別で比較すると、「健康や病気のこと」とする回答割合が18～20代(68.6%)と70代(87.2%)で最も高くなっている。
- ・ 地域別で比較すると、明科で「自然災害時の避難等に関すること」とする回答割合が39.1%と、全体の回答割合(25.8%)を13.3ポイント上回っている。

図表 81 高齢者の日常生活で不安だと思うこと



図表 82 【年代別】高齢者の日常生活で不安だと思うこと

	合計 (n=659)	18～20代 (n=51)	30代 (n=65)	40代 (n=127)	50代 (n=129)	60代 (n=165)	70代以上 (n=117)	無回答 (n=5)
介護が必要な状況になること	78.1%	66.7%	76.9%	70.9%	76.0%	84.8%	84.6%	80.0%
健康や病気のこと	75.0%	68.6%	61.5%	66.9%	75.2%	80.6%	87.2%	40.0%
生活のための収入のこと	48.1%	41.2%	58.5%	49.6%	63.6%	43.6%	32.5%	60.0%
自然災害時の避難等に関すること	25.8%	31.4%	35.4%	20.5%	26.4%	25.5%	23.1%	40.0%
頼れる人がいなくなること	24.1%	19.6%	26.2%	24.4%	24.8%	26.7%	19.7%	40.0%
住まいに関すること	10.8%	7.8%	12.3%	14.2%	13.2%	7.9%	9.4%	0.0%
その他	2.6%	3.9%	3.1%	5.5%	2.3%	1.2%	0.9%	0.0%
不安に思うことはない	1.5%	2.0%	0.0%	3.1%	0.8%	1.2%	1.7%	0.0%

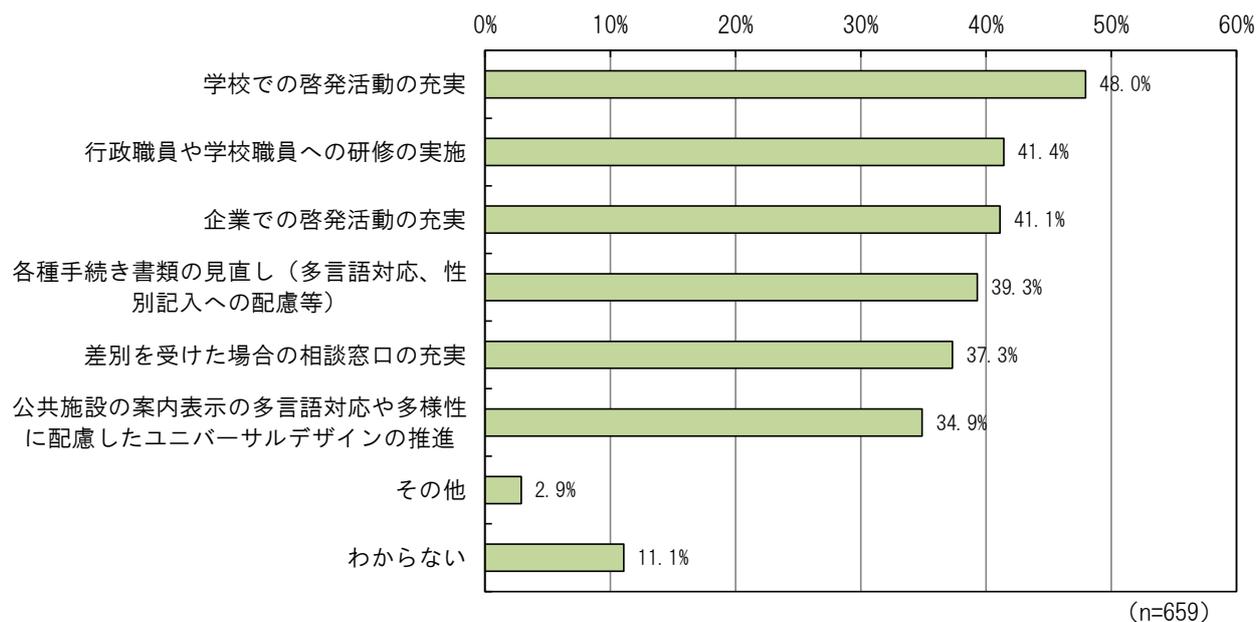
図表 83 【地域別】高齢者の日常生活で不安だと思うこと

	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
介護が必要な状況になること	78.1%	79.3%	79.4%	77.8%	76.8%	71.9%	85.7%
健康や病気のこと	75.0%	74.5%	77.0%	76.3%	73.2%	70.3%	57.1%
生活のための収入のこと	48.1%	45.7%	55.5%	42.2%	46.4%	43.8%	57.1%
自然災害時の避難等に関すること	25.8%	26.1%	27.8%	17.0%	23.2%	39.1%	28.6%
頼れる人がいなくなること	24.1%	21.3%	18.2%	31.1%	33.9%	28.1%	28.6%
住まいに関すること	10.8%	11.7%	9.1%	11.9%	14.3%	9.4%	0.0%
その他	2.6%	2.1%	2.9%	3.0%	3.6%	1.6%	0.0%
不安に思うことはない	1.5%	1.6%	1.0%	2.2%	0.0%	3.1%	0.0%

問13. 安曇野市では「男女共同参画推進条例」を改正し、「多様性を尊重し合う共生社会づくり条例」が今年4月から施行されました。全ての人が多様性を認め合い、人権が尊重され、尊厳を持って生きることが出来るようになるために、市ではどのような取り組みを進めるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

- 全ての人が多様性を認め合い、人権が尊重され、尊厳を持って生きることが出来るようになるために、市が取り組みを進めるべきことは「学校での啓発活動の充実」が 48.0%と最も高く、次いで「行政職員や学校職員への研修の実施」(41.4%)、「企業での啓発活動の充実」(41.1%)となっている。

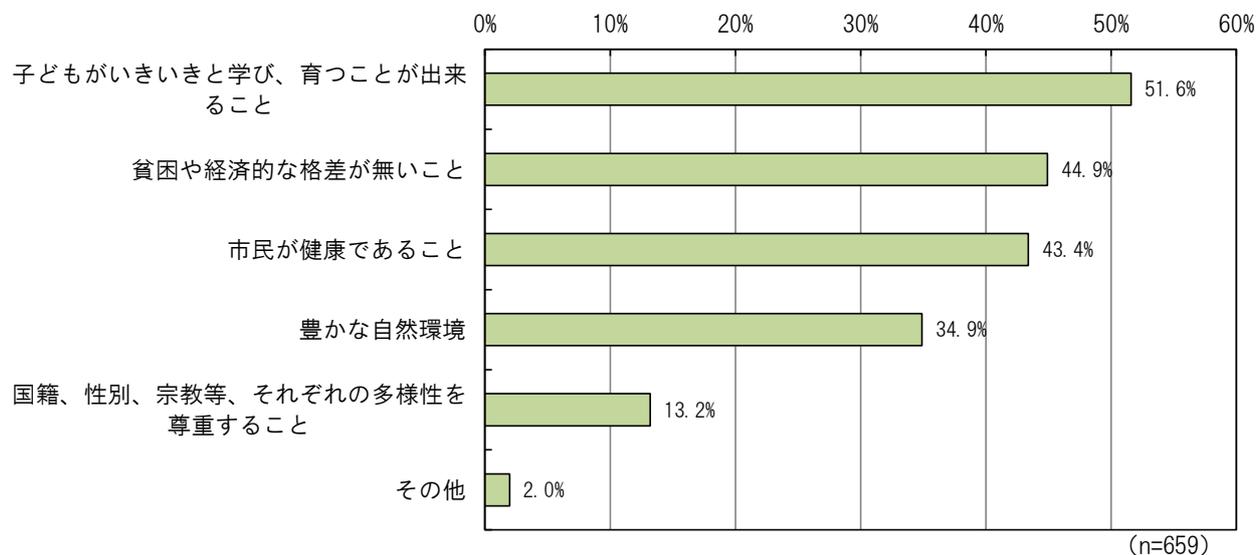
図表 84 多様性を尊重し合う共生社会づくりのために必要な取り組み



問14. 市民が平和で、安心・安全な暮らしを送るために重要だと思うことは何ですか。(特に当てはまるもの2つまで○)

- 市民が平和で、安心・安全な暮らしを送るために重要だと思うことは、「子どもが生き生きと学び、育つことができる」が51.6%と最も高く、次いで「貧困や経済的な格差がないこと」(44.9%)、「市民が健康であること」(43.4%)となっている。

図表 85 平和で安心・安全な暮らしを送るために重要なこと

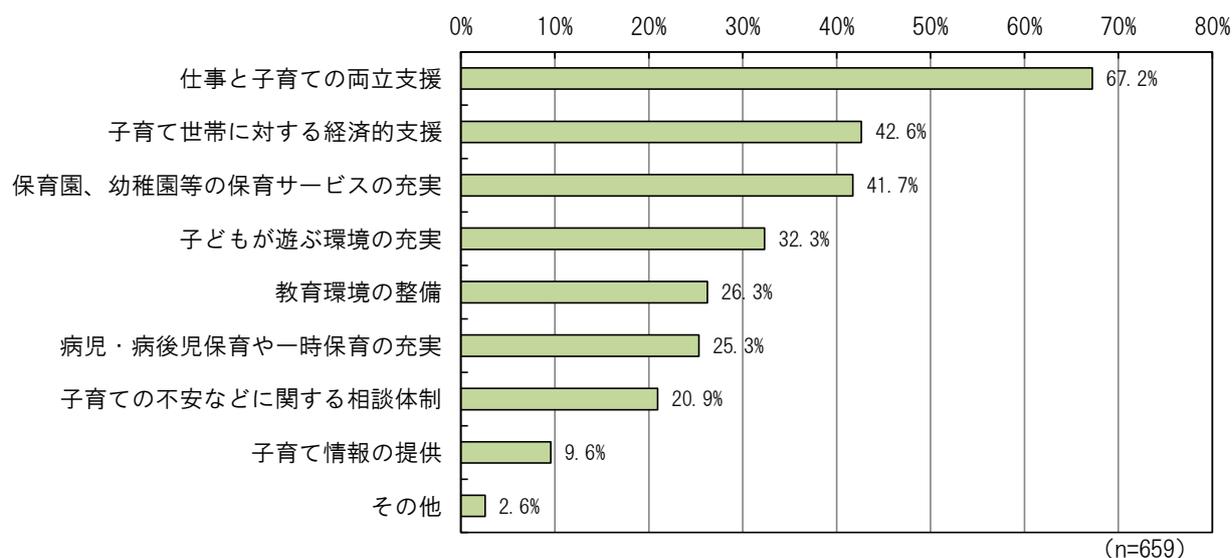


(3) 子育て支援について

問15. 安曇野市を子育てしやすいまちにするために必要だと思うものがありますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- 安曇野市を子育てしやすいまちにするために必要だと思うものは、「仕事と子育ての両立支援」が過半数の67.2%と突出して最も高くなっている。次いで「子育て世帯に対する経済的支援」(42.6%)、保育園、幼稚園等の保育サービスの充実(41.7%)と続いている。
- 年代別で比較すると、「子育て世帯に対する経済的支援」とする回答割合は18～20代(62.7%)、30代(67.7%)で、全体の回答割合(42.6%)をそれぞれ20.1ポイント、25.1ポイント上回っている。

図表 86 子育てしやすいまちにするために必要だと思うもの



図表 87 【年代別】子育てしやすいまちにするために必要だと思うもの

	合計 (n=659)	18～20代 (n=51)	30代 (n=65)	40代 (n=127)	50代 (n=129)	60代 (n=165)	70代以上 (n=117)	無回答 (n=5)
仕事と子育ての両立支援	67.2%	64.7%	72.3%	55.9%	69.0%	74.5%	66.7%	40.0%
子育て世帯に対する経済的支援	42.6%	62.7%	67.7%	44.1%	34.9%	35.2%	37.6%	40.0%
保育園、幼稚園等の保育サービスの充実	41.7%	54.9%	47.7%	37.0%	44.2%	45.5%	29.9%	40.0%
子どもが遊ぶ環境の充実	32.3%	31.4%	36.9%	43.3%	30.2%	26.7%	28.2%	40.0%
教育環境の整備	26.3%	15.7%	27.7%	35.4%	31.0%	19.4%	25.6%	0.0%
病児・病後児保育や一時保育の充実	25.3%	21.6%	21.5%	18.1%	28.7%	30.9%	23.9%	60.0%
子育ての不安などに関する相談体制	20.9%	17.6%	9.2%	16.5%	17.1%	27.3%	29.1%	20.0%
子育て情報の提供	9.6%	11.8%	10.8%	6.3%	9.3%	9.7%	12.0%	0.0%
その他	2.6%	2.0%	1.5%	3.9%	3.1%	2.4%	1.7%	0.0%

- 地域別で比較すると、三郷、堀金では「仕事と子育ての両立支援」に次いで、「保育園、幼稚園等の保育サービスの充実」の回答割合が高く、それぞれ 49.6%、41.1%となっている。
- 堀金では「病児・病後児保育や一時保育の充実」とする回答割合が 35.7%と、全体の回答割合 (25.3%)を 10.4 ポイント上回っている。

図表 88【地域別】子育てしやすいまちにするために必要だと思うもの

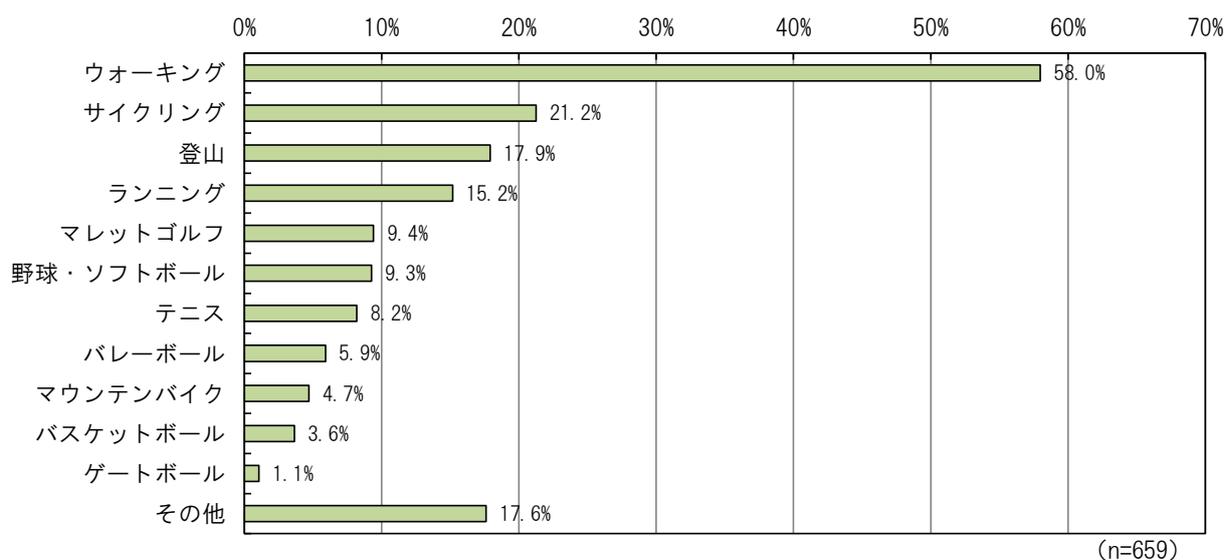
	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
仕事と子育ての両立支援	67.2%	66.0%	70.3%	61.5%	71.4%	70.3%	57.1%
子育て世帯に対する経済的支援	42.6%	40.4%	45.0%	45.2%	39.3%	40.6%	28.6%
保育園、幼稚園等の保育サービスの充実	41.7%	37.2%	41.6%	49.6%	41.1%	37.5%	57.1%
子どもが遊ぶ環境の充実	32.3%	33.0%	30.6%	38.5%	32.1%	23.4%	28.6%
教育環境の整備	26.3%	30.3%	23.9%	28.9%	25.0%	18.8%	14.3%
病児・病後児保育や一時保育の充実	25.3%	23.9%	24.9%	20.7%	35.7%	28.1%	57.1%
子育ての不安などに関する相談体制	20.9%	20.2%	18.7%	23.0%	21.4%	26.6%	14.3%
子育て情報の提供	9.6%	10.6%	8.1%	12.6%	3.6%	10.9%	0.0%
その他	2.6%	2.1%	3.3%	1.5%	5.4%	1.6%	0.0%

(4) スポーツについて

問16. 健康づくりやレクリエーション活動の一環として取り組んでいる、または興味のあるスポーツはありますか。(〇はいくつでも)

- 健康づくりやレクリエーション活動の一環として取り組んでいる、または興味のあるスポーツについては、「ウォーキング」が 58.0%と突出して最も高くなっている。次いで「サイクリング」(21.2%)、「登山」(17.9%)、「ランニング」(15.2%)と続いている。
- 「ウォーキング」や「サイクリング」など、屋外で行うスポーツの回答割合が高い。

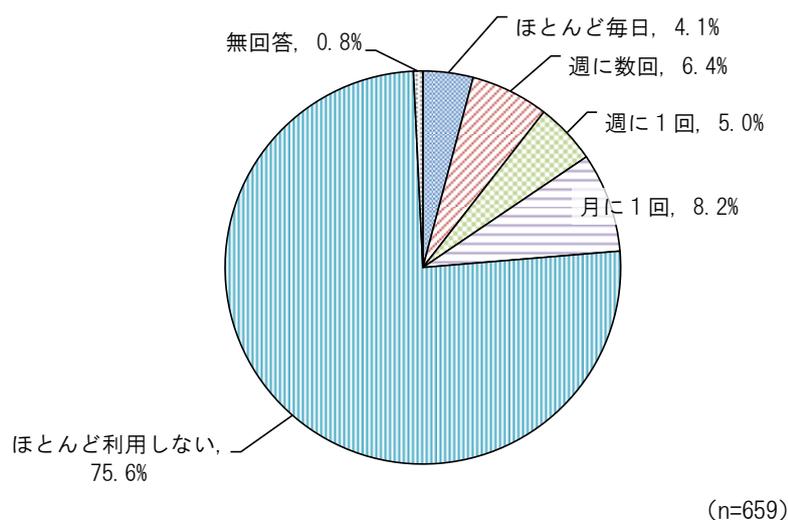
図表 89 健康づくりやレクリエーション活動の一環として取り組んでいる・興味のあるスポーツ



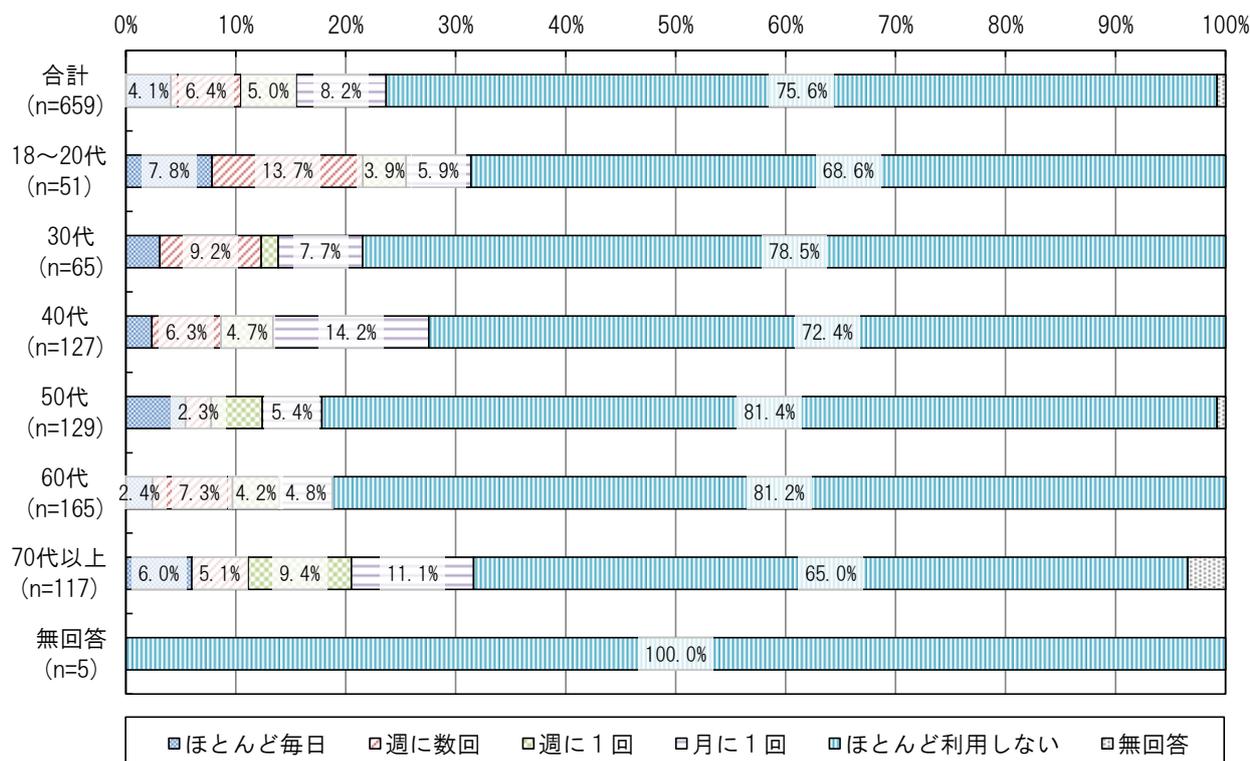
問17. 安曇野市では自転車を活用したまちづくりを進めています。あなたの自転車にのる頻度を教えてください。(1つに○)

- 自転車の乗る頻度については、「ほとんど利用しない」が75.6%と最も高くなっている。
- 年代別で比較すると、「ほとんど利用しない」とする回答割合は30代(78.5%)、50代(81.4%)、60代(81.2%)で全体の回答割合(75.6%)を上回っている。
- 「ほとんど毎日」、「週に数回」、「週に1回」、「月に1回」を合算した回答割合は70代以上が31.6%と最も高く、全体の合算した回答割合(23.7%)を7.9ポイント上回っている。

図表 90 自転車に乗る頻度

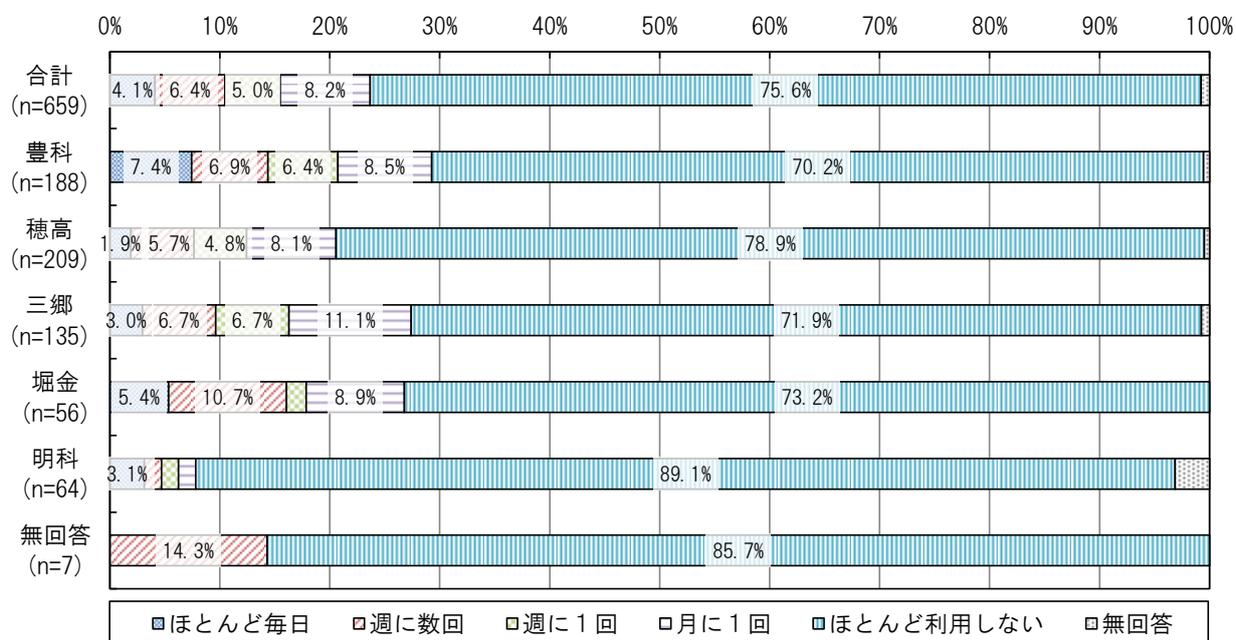


図表 91 【年代別】自転車に乗る頻度



- 地域別で比較すると、「ほとんど利用しない」とする回答割合は穂高(78.9%)、明科(89.1%)で全体の回答割合(75.6%)を上回っている。
- 「ほとんど毎日」、「週に数回」、「週に1回」、「月に1回」を合算した回答割合は豊科が 29.2%と最も高く、全体の合算した回答割合(23.7%)を 5.5 ポイント上回っている。

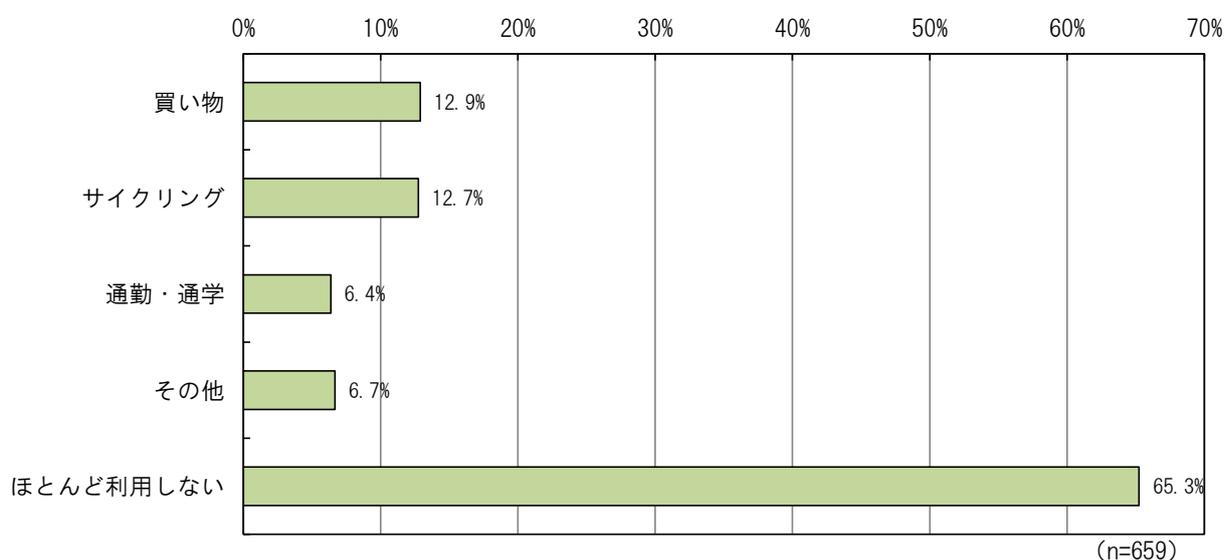
図表 92 【地域別】自転車に乗る頻度



問18. あなたの自転車にのる目的を教えてください。(〇はいくつでも)

- 自転車に乗る目的について、「ほとんど利用しない」が 65.3%と最も高く、次いで「買い物」(12.9%)、「サイクリング」(12.7%)と続いている。
- 年代別で比較すると、年代が高くなるにつれて「通学・通勤」とする回答割合が低くなる傾向にある。
- 40代では「サイクリング」とする回答割合が 24.4%と他の年代より高く、全体の回答割合(12.7%)を 11.7ポイント上回っている。
- 地域別で比較すると、三郷と堀金では「ほとんど利用しない」に次いで、「サイクリング」とする回答割合が高くなっているが、それ以外の地域では「買い物」とする回答割合が高い。
- 明科では、「ほとんど利用しない」とする回答割合が 76.6%と、全体の回答割合(65.3%)を 11.3ポイント上回っている。

図表 93 自転車に乗る目的



図表 94 【年代別】自転車に乗る目的

	合計 (n=659)	18~20代 (n=51)	30代 (n=65)	40代 (n=127)	50代 (n=129)	60代 (n=165)	70代以上 (n=117)	無回答 (n=5)
買い物	12.9%	9.8%	10.8%	15.7%	14.0%	10.3%	15.4%	0.0%
サイクリング	12.7%	7.8%	13.8%	24.4%	10.1%	9.7%	9.4%	0.0%
通勤・通学	6.4%	21.6%	9.2%	6.3%	7.0%	3.6%	1.7%	0.0%
その他	6.7%	2.0%	3.1%	3.9%	3.9%	9.7%	12.8%	0.0%
ほとんど利用しない	65.3%	64.7%	75.4%	59.1%	70.5%	65.5%	59.0%	100.0%

図表 95 【地域別】自転車に乗る目的

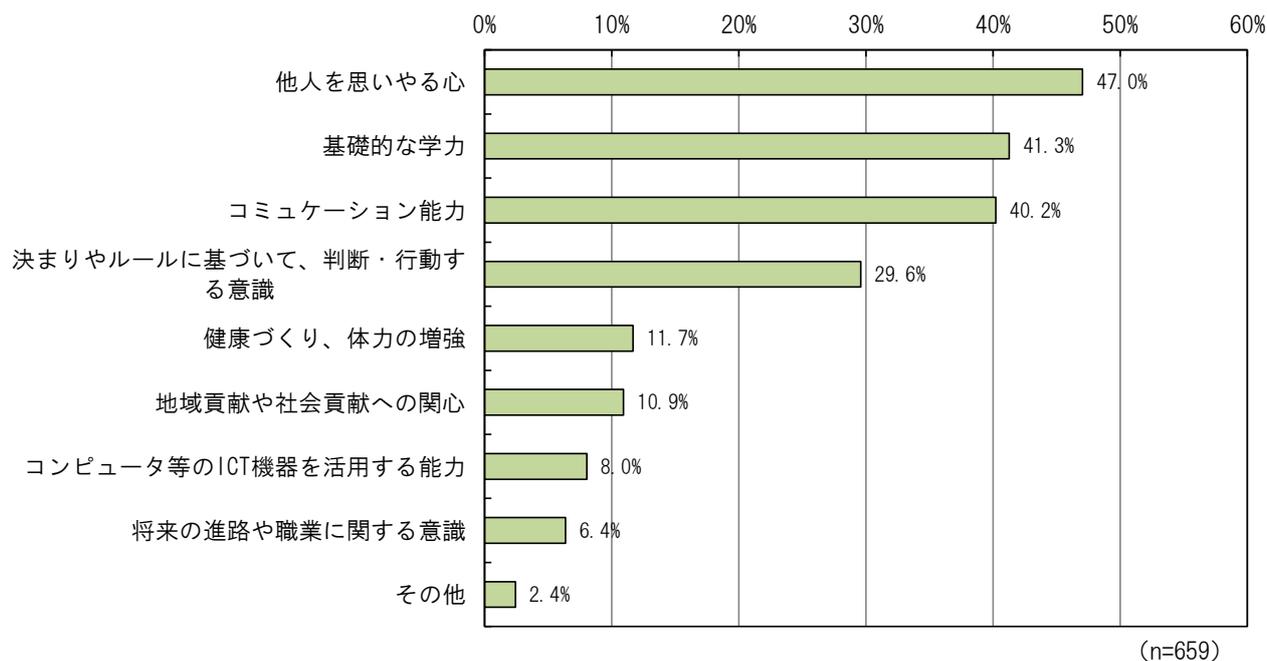
	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
買い物	12.9%	16.5%	14.4%	13.3%	3.6%	6.3%	0.0%
サイクリング	12.7%	13.3%	13.4%	14.1%	19.6%	1.6%	0.0%
通勤・通学	6.4%	8.5%	3.3%	8.9%	8.9%	1.6%	14.3%
その他	6.7%	6.4%	6.7%	10.4%	3.6%	3.1%	0.0%
ほとんど利用しない	65.3%	60.6%	68.4%	60.7%	64.3%	76.6%	85.7%

(5) 教育学習について

問19. 小中学校での子どもの教育の内容について、特に重視すべきだと思うものは何ですか。(特に当てはまるもの2つまで○)

- 小中学校での子どもの教育の内容について、特に重視すべきだと思うことについては、「他人を思いやる心」が 47.0%と最も高く、次いで「基礎的な学力」(41.3%)、「コミュニケーション能力」(40.2%)となっている。

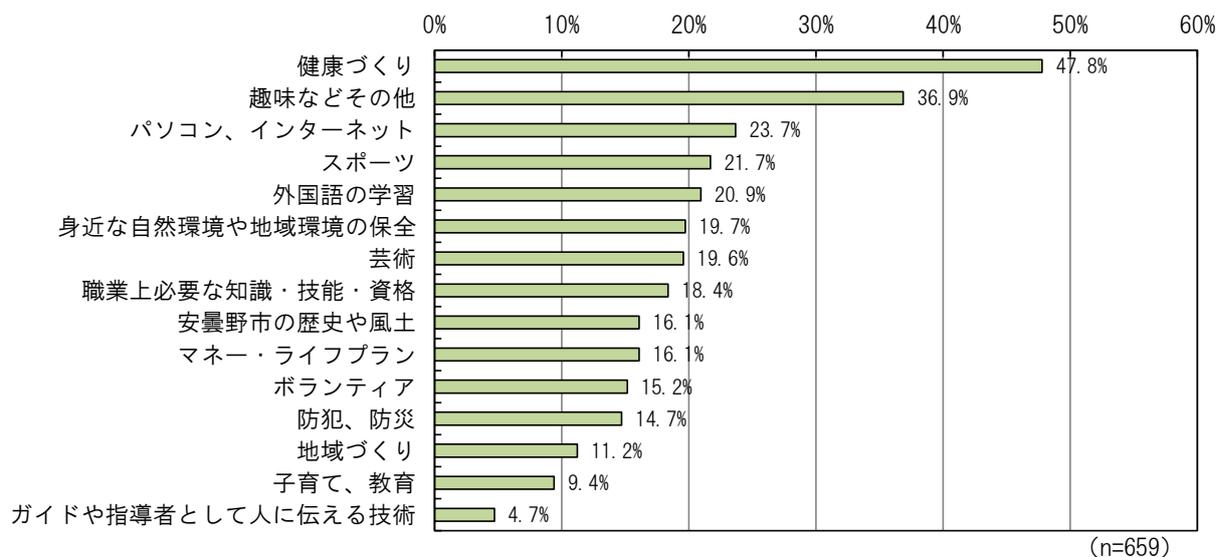
図表 96 小中学校での教育内容で特に重視すべきだと思うもの



問20. 生涯学習として、今後新たに学びたい分野・関心のある内容はありますか。(〇はいくつでも)

- 生涯学習として、今後新たに学びたい分野・関心のある内容について、「健康づくり」が47.8%と最も高く、次いで「趣味などその他」(36.9%)、「パソコン、インターネット」(23.7%)、「スポーツ」(21.7%)と続いている。
- 年代別で比較すると、年代が高くなるにつれて「健康づくり」とする回答割合が高くなる傾向にある。
- また、若い年代ほど「マネー・ライフプラン」の回答割合が高くなる傾向にある。

図表 97 生涯学習として新たに学びたい内容



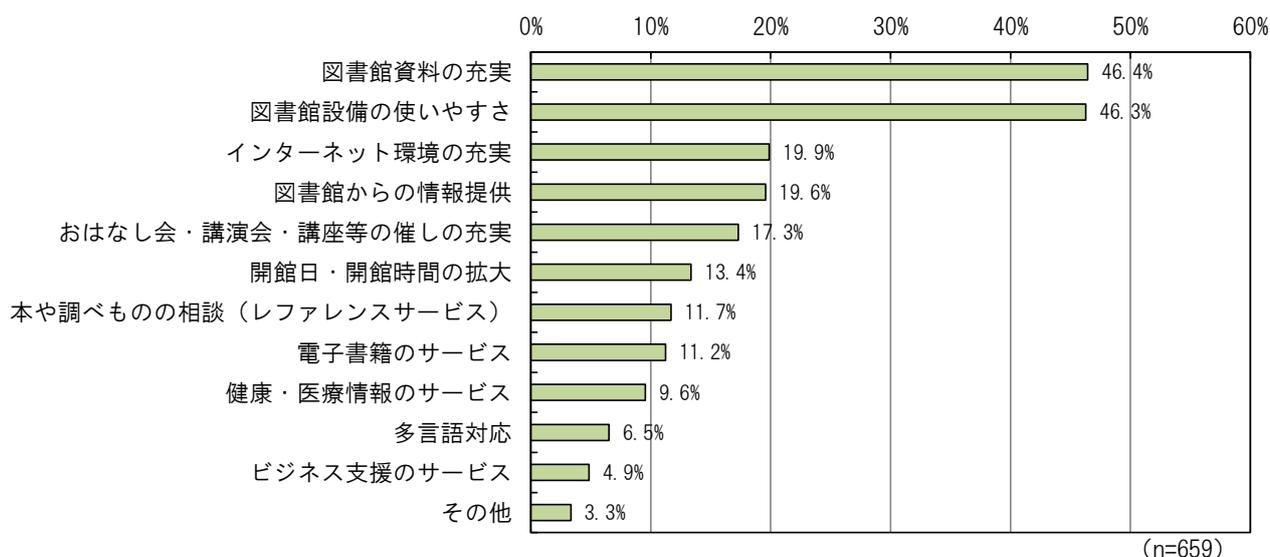
図表 98 【年代別】生涯学習として新たに学びたい内容

	合計 (n=659)	18~20代 (n=51)	30代 (n=65)	40代 (n=127)	50代 (n=129)	60代 (n=165)	70代以上 (n=117)	無回答 (n=5)
健康づくり	47.8%	23.5%	35.4%	43.3%	41.9%	60.0%	59.0%	60.0%
趣味などその他	36.9%	35.3%	26.2%	32.3%	38.0%	43.0%	37.6%	60.0%
パソコン、インターネット	23.7%	25.5%	29.2%	22.8%	22.5%	21.8%	24.8%	20.0%
スポーツ	21.7%	33.3%	24.6%	29.9%	25.6%	16.4%	10.3%	0.0%
外国語の学習	20.9%	25.5%	36.9%	25.2%	24.0%	15.8%	9.4%	20.0%
身近な自然環境や地域環境の保全	19.7%	13.7%	21.5%	9.4%	21.7%	20.0%	30.8%	0.0%
芸術	19.6%	21.6%	26.2%	14.2%	19.4%	21.2%	19.7%	0.0%
職業上必要な知識・技能・資格	18.4%	33.3%	32.3%	22.0%	24.0%	7.9%	8.5%	20.0%
安曇野市の歴史や風土	16.1%	15.7%	15.4%	11.0%	14.0%	18.2%	21.4%	20.0%
マネー・ライフプラン	16.1%	35.3%	26.2%	20.5%	17.1%	9.1%	6.8%	0.0%
ボランティア	15.2%	9.8%	15.4%	11.8%	16.3%	17.6%	14.5%	60.0%
防犯、防災	14.7%	17.6%	20.0%	15.7%	16.3%	10.9%	13.7%	0.0%
地域づくり	11.2%	7.8%	18.5%	15.7%	7.0%	8.5%	12.8%	0.0%
子育て、教育	9.4%	17.6%	33.8%	14.2%	2.3%	1.8%	5.1%	20.0%
ガイドや指導者として人に伝える技術	4.7%	7.8%	7.7%	3.9%	4.7%	3.6%	4.3%	0.0%

問21. あなたが、公共図書館で特に充実すべきだと思うサービスについて教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- 公共図書館で特に充実すべきだと思うサービスについて、「図書館資料の充実」が 46.4%と最も高く、次いで「図書館設備の使いやすさ」の 46.3%と続いている。
- 地域別で比較すると、三郷と堀金では、「図書館設備の使いやすさ」の回答割合がそれぞれ 50.4%、51.8%と過半数を超えて最も高くなっている。
- 明科では「図書館からの情報提供」とする回答割合が 28.1%と他の地域より高く、全体の回答割合(19.6%)を 8.5 ポイント上回っている。

図表 99 公共図書館で充実すべきサービス



図表 100 【地域別】公共図書館で充実すべきサービス

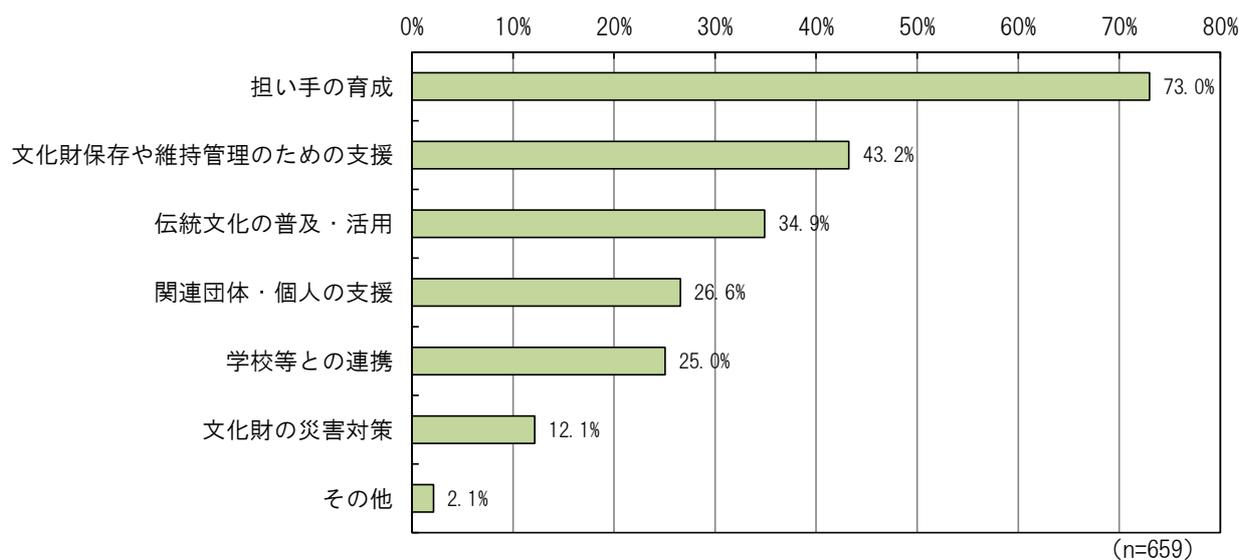
	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
図書館資料の充実	46.4%	46.3%	49.8%	45.9%	42.9%	39.1%	57.1%
図書館設備の使いやすさ	46.3%	46.3%	45.5%	50.4%	51.8%	37.5%	28.6%
インターネット環境の充実	19.9%	17.0%	23.4%	23.0%	17.9%	14.1%	0.0%
図書館からの情報提供	19.6%	22.3%	14.4%	20.0%	19.6%	28.1%	14.3%
おはなし会・講演会・講座等の催しの充実	17.3%	18.6%	16.3%	15.6%	17.9%	17.2%	42.9%
開館日・開館時間の拡大	13.4%	16.0%	12.9%	11.9%	10.7%	14.1%	0.0%
本や調べものの相談（レファレンスサービス）	11.7%	11.7%	13.9%	8.1%	17.9%	7.8%	0.0%
電子書籍のサービス	11.2%	10.6%	12.4%	7.4%	16.1%	14.1%	0.0%
健康・医療情報のサービス	9.6%	7.4%	10.5%	8.9%	10.7%	12.5%	14.3%
多言語対応	6.5%	6.4%	6.2%	7.4%	5.4%	7.8%	0.0%
ビジネス支援のサービス	4.9%	5.9%	4.3%	5.2%	3.6%	4.7%	0.0%
その他	3.3%	1.6%	2.9%	5.9%	3.6%	4.7%	0.0%

(6) 地域の伝統について

問22. 地域の伝統や文化を守っていくために、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- 地域の伝統や文化を守っていくために、力を入れていくべき取組について、「担い手の育成」が過半数の73.0%と突出して最も高く、次いで「文化財保存や維持管理のための支援」(43.2%)、「伝統文化の普及・活用」(34.9%)と続いている。

図表 101 地域の伝統や文化を守っていくために力を入れるべき取組

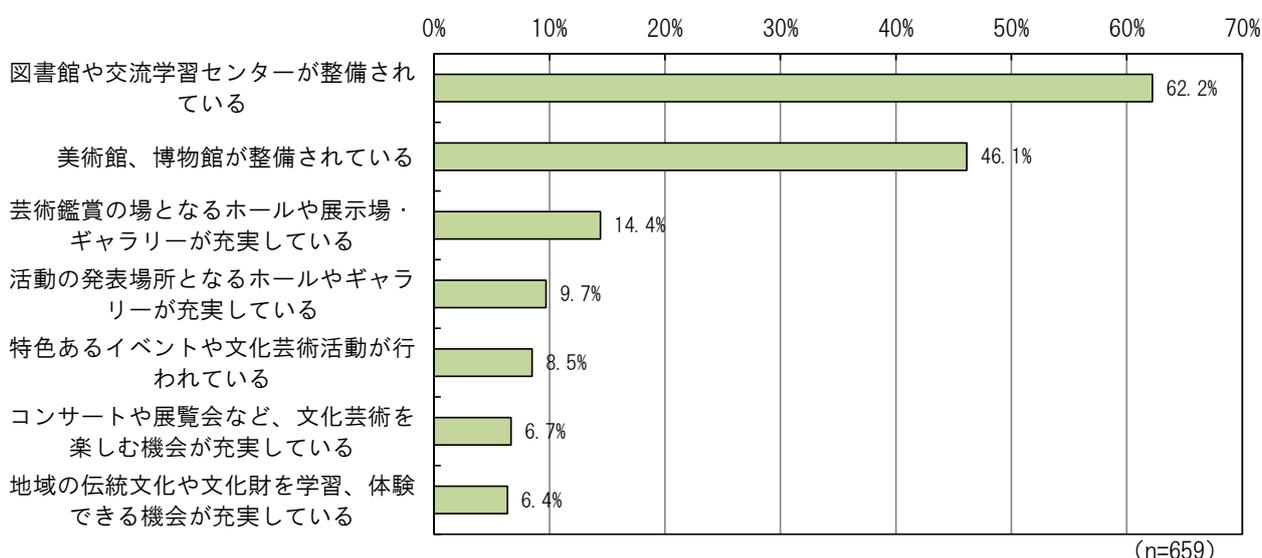


(7) 文化・芸術について

問23. 安曇野市の文化芸術環境の特長についてどのようにお考えですか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- 安曇野市の文化芸術環境の特徴についてどのように考えているかについては、「図書館や交流学習センターが整備されている」が62.2%と最も高く、次いで「美術館、博物館が整備されている」が46.1%となっている。
- 一方で、「コンサートや展覧会など、文化芸術を楽しむ機会が充実している」、「地域の伝統文化や文化財を学習、体験できる機会が充実している」といった、文化芸術に触れる機会の充実についての回答割合がそれぞれ6.7%、6.4%と比較的低くなっている
- 地域別で比較すると、すべての地域で「図書館や交流学習センターが整備されている」とする回答割合が最も高く、次いで「美術館、博物館が整備されている」となっている。

図表 102 文化芸術環境の特長



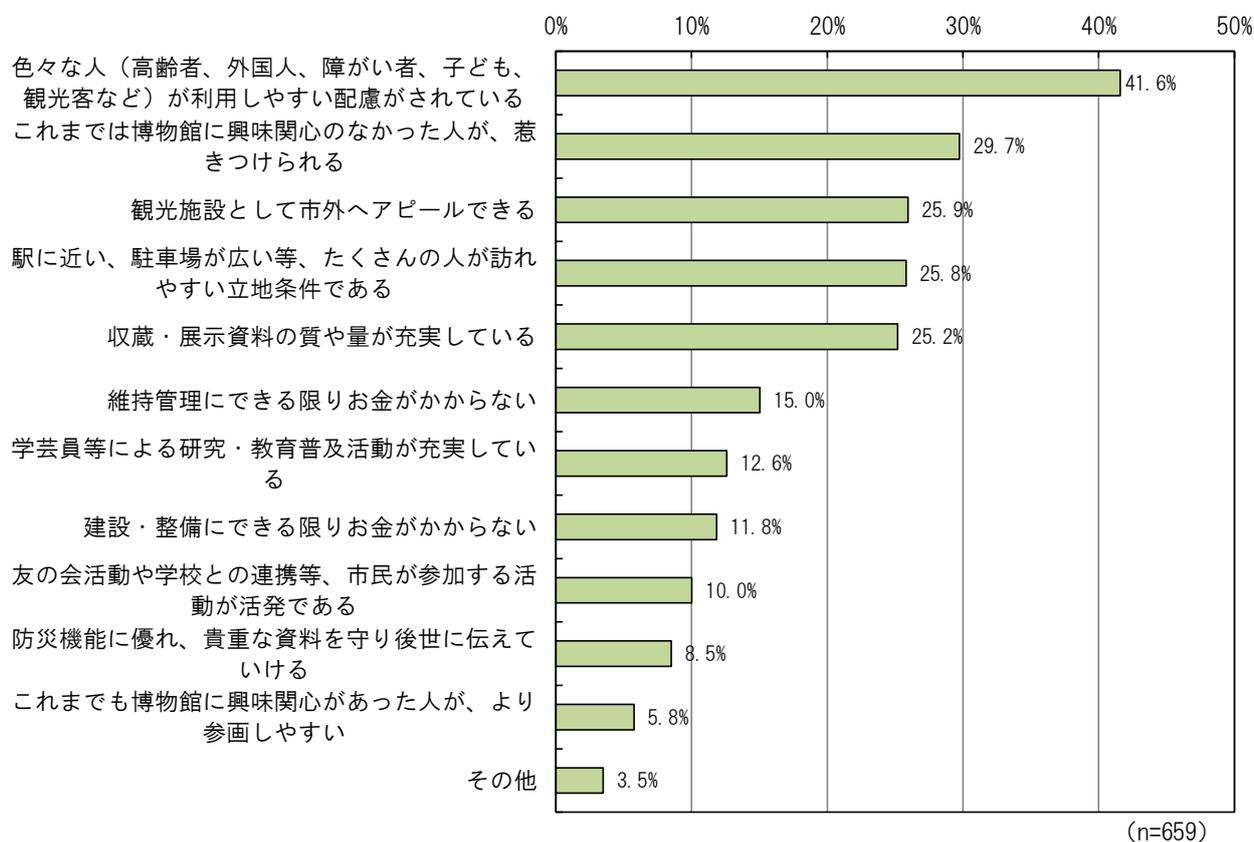
図表 103 【地域別】文化芸術環境の特長

	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
図書館や交流学習センターが整備されている	62.2%	62.8%	62.7%	60.7%	64.3%	57.8%	85.7%
美術館、博物館が整備されている	46.1%	52.7%	45.5%	38.5%	55.4%	37.5%	42.9%
芸術鑑賞の場となるホールや展示場・ギャラリーが充実している	14.4%	13.3%	13.9%	11.1%	23.2%	17.2%	28.6%
活動の発表場所となるホールやギャラリーが充実している	9.7%	9.0%	11.0%	10.4%	8.9%	7.8%	0.0%
特色あるイベントや文化芸術活動が行われている	8.5%	9.0%	8.6%	7.4%	8.9%	9.4%	0.0%
コンサートや展覧会など、文化芸術を楽しむ機会が充実している	6.7%	4.8%	7.7%	7.4%	5.4%	7.8%	14.3%
地域の伝統文化や文化財を学習、体験できる機会が充実している	6.4%	9.0%	4.3%	7.4%	3.6%	4.7%	14.3%

問24. あなたが今後の市立博物館に求めることについて教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- 今後の市立博物館に求めることについては、「色々な人(高齢者、外国人、障がい者、子ども、観光客など)が利用しやすい配慮がされている」が 41.6%と最も高く、次いで「これまでは、博物館に興味関心のなかった人が、惹きつけられる」が 29.7%となっている。

図表 104 今後の市立博物館に求めること

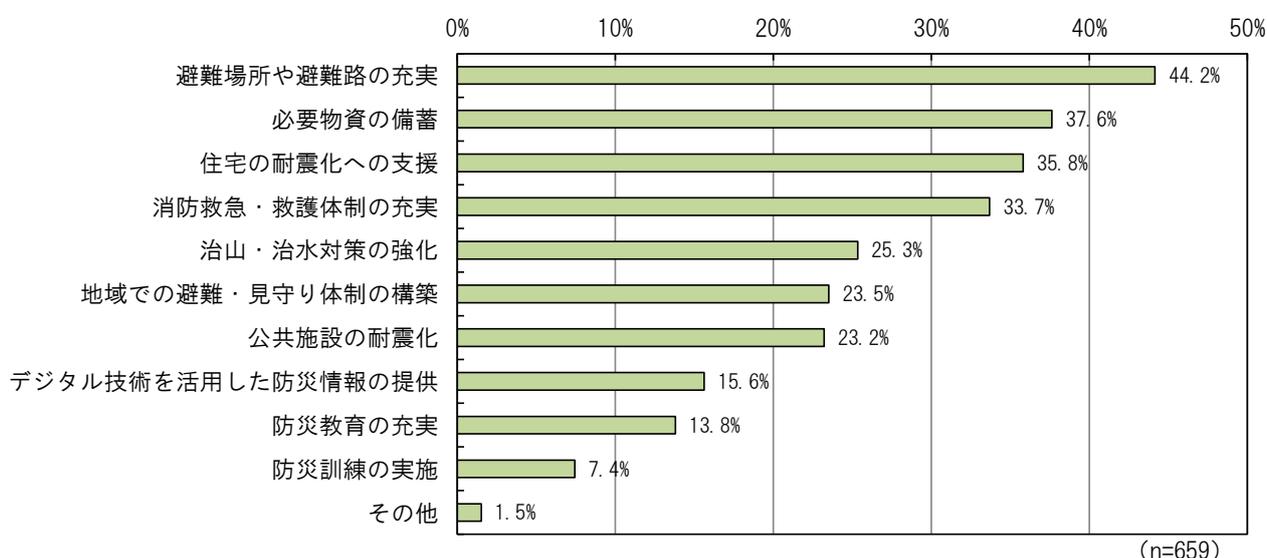


(8) 防災・防犯について

問25. 防災・減災のまちづくりをしていくために、市が今後重点的に取り組んでいくべきだと思うことは何だと思いますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- ・ 防災・減災のまちづくりをしていくために、市が今後重点的に取り組んでいくべきだと思うことについて、「避難場所や避難路の充実」が44.2%と最も高く、次いで「必要物資の備蓄」(37.6%)、「住宅の耐震化への支援」(35.8%)、「消防救急・救護体制の充実」(33.7%)と続いている。
- ・ 地域別で比較すると、堀金では「公共施設の耐震化」とする回答割合が35.7%と、全体の回答割合(23.2%)を12.5ポイント上回っている。
- ・ 明科では、「治山・治水対策の強化」とする回答割合が46.9%となっており、全体の回答割合(25.3%)を21.6ポイント上回っている。

図表 105 防災・減災のまちづくりのために重点的に取り組むべきこと



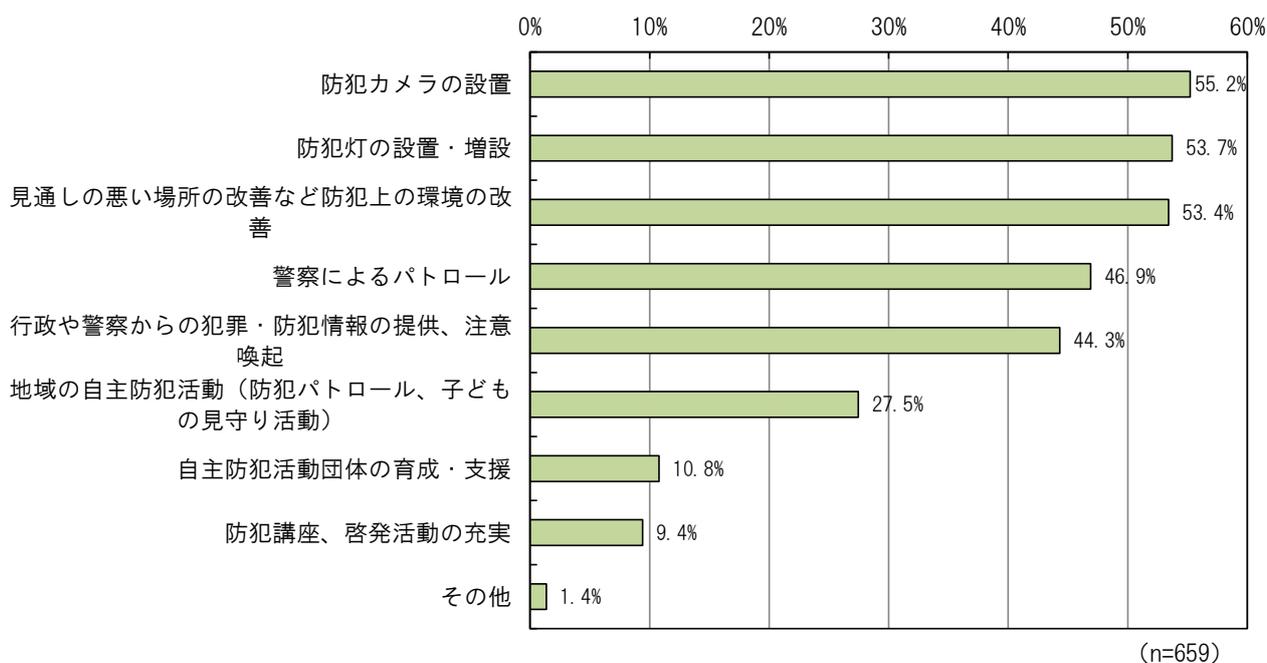
図表 106 【地域別】防災・減災のまちづくりのために重点的に取り組むべきこと

	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
避難場所や避難路の充実	44.2%	43.1%	47.4%	45.2%	28.6%	50.0%	28.6%
必要物資の備蓄	37.6%	39.9%	37.8%	40.7%	35.7%	25.0%	42.9%
住宅の耐震化への支援	35.8%	37.8%	34.4%	35.6%	42.9%	28.1%	42.9%
消防救急・救護体制の充実	33.7%	33.5%	35.4%	31.9%	41.1%	28.1%	14.3%
治山・治水対策の強化	25.3%	22.3%	26.8%	20.0%	17.9%	46.9%	28.6%
地域での避難・見守り体制の構築	23.5%	24.5%	20.6%	26.7%	23.2%	21.9%	42.9%
公共施設の耐震化	23.2%	26.6%	18.7%	20.0%	35.7%	26.6%	0.0%
デジタル技術を活用した防災情報の提供	15.6%	18.6%	14.8%	11.9%	7.1%	25.0%	14.3%
防災教育の充実	13.8%	11.7%	14.8%	17.8%	17.9%	4.7%	14.3%
防災訓練の実施	7.4%	10.1%	4.3%	8.1%	16.1%	1.6%	0.0%
その他	1.5%	0.5%	1.0%	3.7%	1.8%	1.6%	0.0%

問26. 犯罪のない安全・安心なまちづくりのために一層力を入れて取り組むべきものは何だと思えますか。
(〇はいくつでも)

- 犯罪のない安全・安心なまちづくりのために一層力を入れて取り組むべきものについて、「防犯カメラの設置」が 55.2%と最も高く、次いで「防犯灯の設置」(53.7%)、「見通しの悪い場所の改善など防犯上の環境の改善」(53.4%)と続いている。

図表 107 犯罪のない安心・安全なまちづくりのために力を入れるべき取組

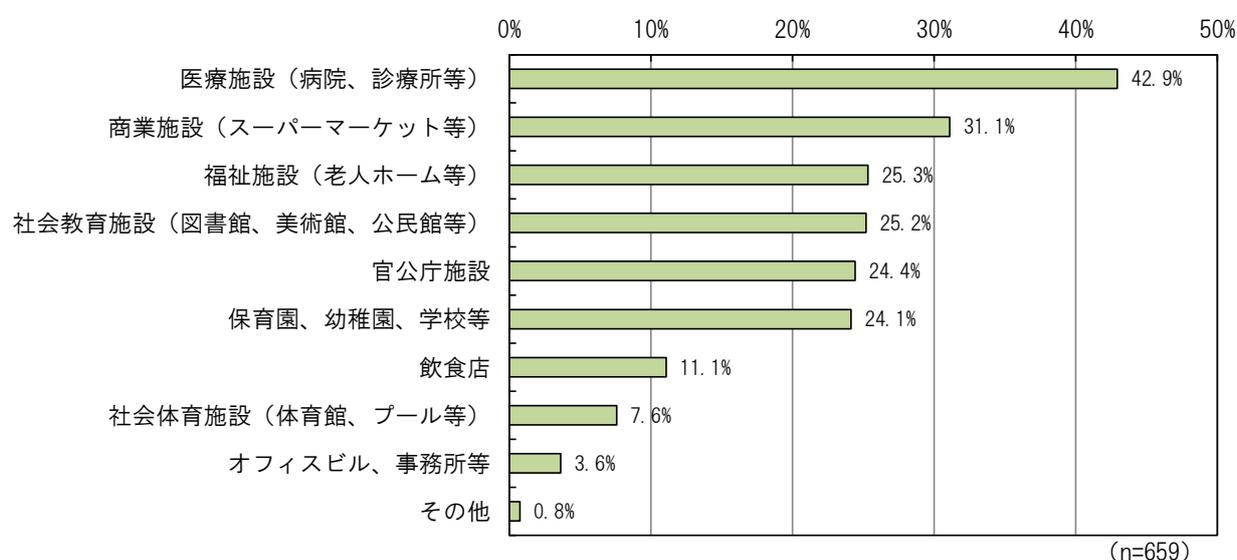


(9) 都市基盤について

問27. 市内の施設について、今後重点的にバリアフリー・ユニバーサルデザインとしていくことが必要だと思うものは何ですか。(特に当てはまるもの2つまで○)

- 市内の施設について、今後重点的にバリアフリー・ユニバーサルデザインとしていくことが必要だと思うものについて、「医療施設(病院、診療所等)」が42.9%と最も高く、次いで「商業施設(スーパーマーケット等)」が31.1%と高くなっている。
- 年代別で比較すると、30代では「保育園、幼稚園、学校等」が47.7%と最も高く、全体の回答割合(24.1%)を23.6ポイント上回っている。
- また、年代が高くなるにつれて「医療施設(病院、診療所等)」とする回答割合が高くなる傾向にある。

図表 108 バリアフリー・ユニバーサルデザインが必要だと思う施設



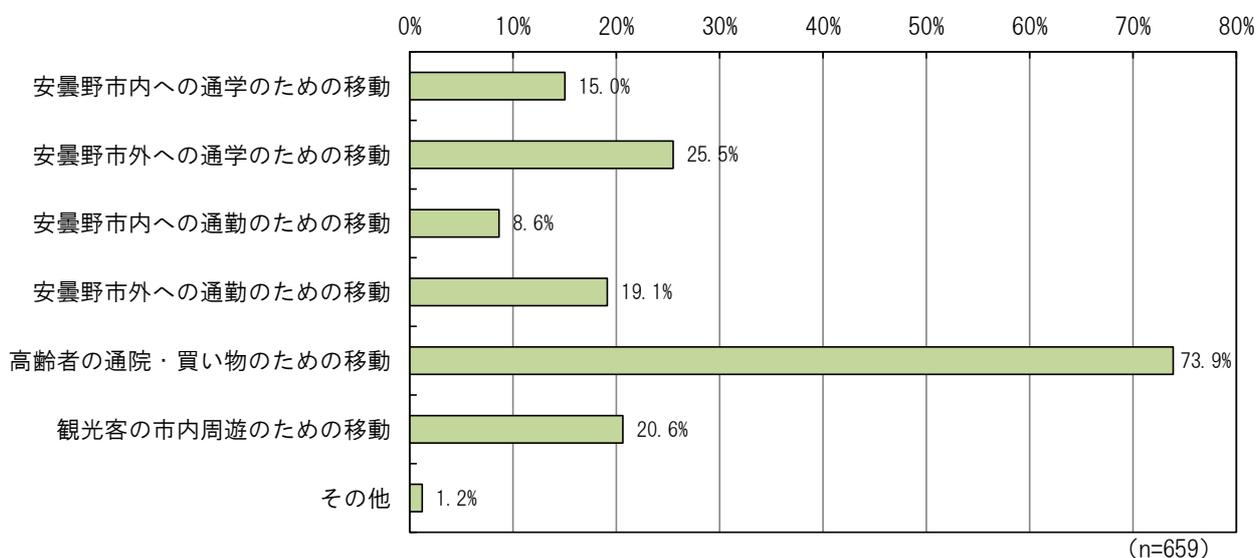
図表 109 【年代別】バリアフリー・ユニバーサルデザインが必要だと思う施設

	合計 (n=659)	18~20代 (n=51)	30代 (n=65)	40代 (n=127)	50代 (n=129)	60代 (n=165)	70代以上 (n=117)	無回答 (n=5)
医療施設 (病院、診療所等)	42.9%	35.3%	38.5%	37.0%	45.7%	46.7%	47.0%	40.0%
商業施設 (スーパーマーケット等)	31.1%	33.3%	36.9%	33.1%	39.5%	25.5%	24.8%	0.0%
福祉施設 (老人ホーム等)	25.3%	27.5%	23.1%	20.5%	27.1%	28.5%	25.6%	0.0%
社会教育施設 (図書館、美術館、公民館等)	25.2%	21.6%	24.6%	26.0%	20.9%	26.1%	29.9%	20.0%
官公庁施設	24.4%	31.4%	15.4%	22.0%	20.9%	29.1%	25.6%	40.0%
保育園、幼稚園、学校等	24.1%	29.4%	47.7%	33.1%	24.0%	13.9%	12.0%	60.0%
飲食店	11.1%	9.8%	10.8%	11.0%	14.0%	10.3%	9.4%	20.0%
社会体育施設 (体育館、プール等)	7.6%	7.8%	9.2%	9.4%	7.8%	4.8%	7.7%	20.0%
オフィスビル、事務所等	3.6%	7.8%	1.5%	3.9%	4.7%	1.8%	4.3%	0.0%
その他	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	1.8%	0.0%	0.0%

問28. 公共交通のあり方について、今後充実を図るべきだと思うものは何ですか。(特に当てはまるもの2つまで○)

- 公共交通のあり方について、今後充実を図るべきだと思うものについて、「高齢者の通院・買い物のための移動」が過半数の 73.9%と突出して最も高く、次いで「安曇野市外への通学のための移動」が 25.5%と高くなっている。
- 通学、通勤のどちらにおいても、安曇野市内への移動よりも安曇野市外への移動についての回答割合が高くなっている。
- 年代別で比較すると、すべての年代で「高齢者の通院・買い物のための移動」が最も高くなっている。
- 地域別で比較すると、明科では「高齢者の通院・買い物のための移動」(73.4%)に次いで、「安曇野市内への通学のための移動」(23.4%)の回答割合が高くなっている。

図表 110 公共交通のあり方について、今後充実を図るべきもの



図表 111 【年代別】公共交通のあり方について、今後充実を図るべきもの

	合計 (n=659)	18~20代 (n=51)	30代 (n=65)	40代 (n=127)	50代 (n=129)	60代 (n=165)	70代以上 (n=117)	無回答 (n=5)
安曇野市内への通学のための移動	15.0%	23.5%	23.1%	17.3%	13.2%	13.9%	8.5%	0.0%
安曇野市外への通学のための移動	25.5%	33.3%	24.6%	36.2%	29.5%	18.2%	17.9%	0.0%
安曇野市内への通勤のための移動	8.6%	21.6%	9.2%	10.2%	10.9%	6.7%	1.7%	0.0%
安曇野市外への通勤のための移動	19.1%	33.3%	27.7%	19.7%	21.7%	16.4%	8.5%	20.0%
高齢者の通院・買い物のための移動	73.9%	45.1%	69.2%	68.0%	70.5%	87.3%	84.6%	100.0%
観光客の市内周遊のための移動	20.6%	25.5%	21.5%	23.6%	20.9%	18.2%	18.8%	0.0%
その他	1.2%	0.0%	0.0%	2.4%	1.6%	1.8%	0.0%	0.0%

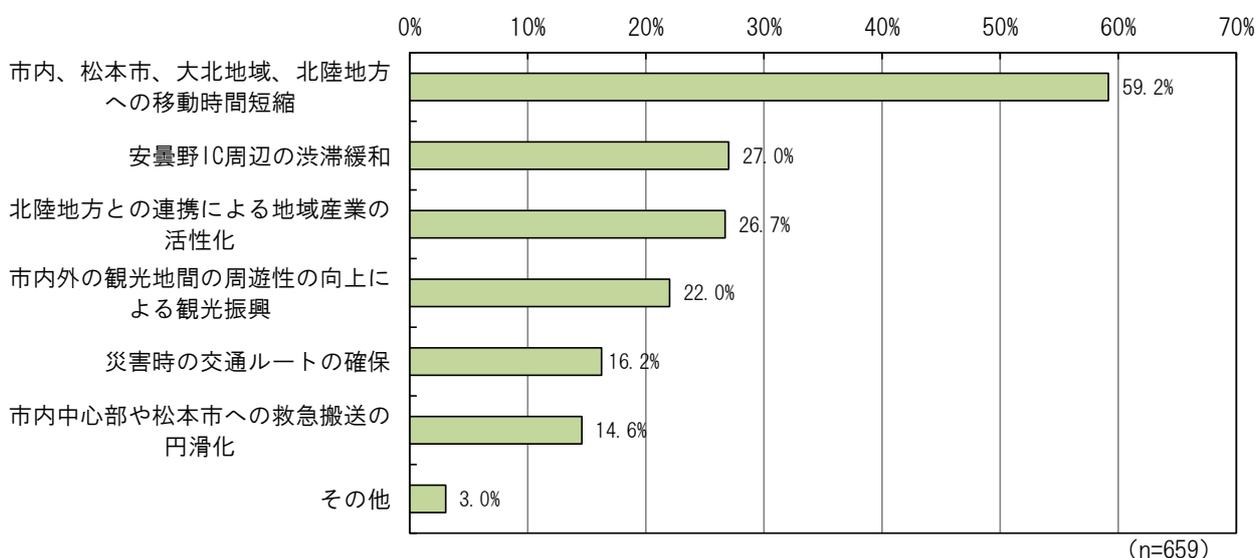
図表 112 【地域別】公共交通機関のあり方について、今後充実を図るべきもの

	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
安曇野市内への通学のための移動	15.0%	15.4%	12.9%	13.3%	16.1%	23.4%	14.3%
安曇野市外への通学のための移動	25.5%	27.7%	26.3%	23.7%	32.1%	17.2%	0.0%
安曇野市内への通勤のための移動	8.6%	9.6%	7.7%	11.9%	7.1%	4.7%	0.0%
安曇野市外への通勤のための移動	19.1%	21.3%	15.8%	23.0%	14.3%	20.3%	14.3%
高齢者の通院・買い物のための移動	73.9%	71.8%	75.1%	71.9%	78.6%	73.4%	100.0%
観光客の市内周遊のための移動	20.6%	18.6%	23.9%	23.0%	14.3%	18.8%	0.0%
その他	1.2%	0.5%	1.0%	1.5%	5.4%	0.0%	0.0%

問29. 現在、松本市から新潟県糸魚川市に至る延長約100km の地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」の整備についての計画が進められています。この「松本糸魚川連絡道路」の活用について、あなたが期待する効果を教えてください。(特に当てはまるもの2つまで○)

- ・ 「松本糸魚川連絡道路」の活用について期待する効果は、「市内、松本市、大北地域、北陸地方への移動時間短縮」が59.2%と最も高く、次いで「安曇野 IC 周辺の渋滞緩和」(27.0%)、「北陸地方との連携による地域産業の活性化」(26.7%)と続いている。
- ・ 地域別で比較すると、すべての地域で「市内、松本市、大北地域、北陸地方への移動時間短縮」が過半数を超えて最も高くなっている。
- ・ 堀金では「市内、松本市、大北地域、北陸地方への移動時間短縮」(60.7%)に次いで、「市内外の観光地間の周遊性の向上による観光振興」が28.6%となっており、全体の回答割合(22.0%)を6.6ポイント上回っている。

図表 113 「松本糸魚川連絡道路」の活用について、期待する効果



図表 114 【地域別】「松本糸魚川連絡道路」活用について、期待する効果

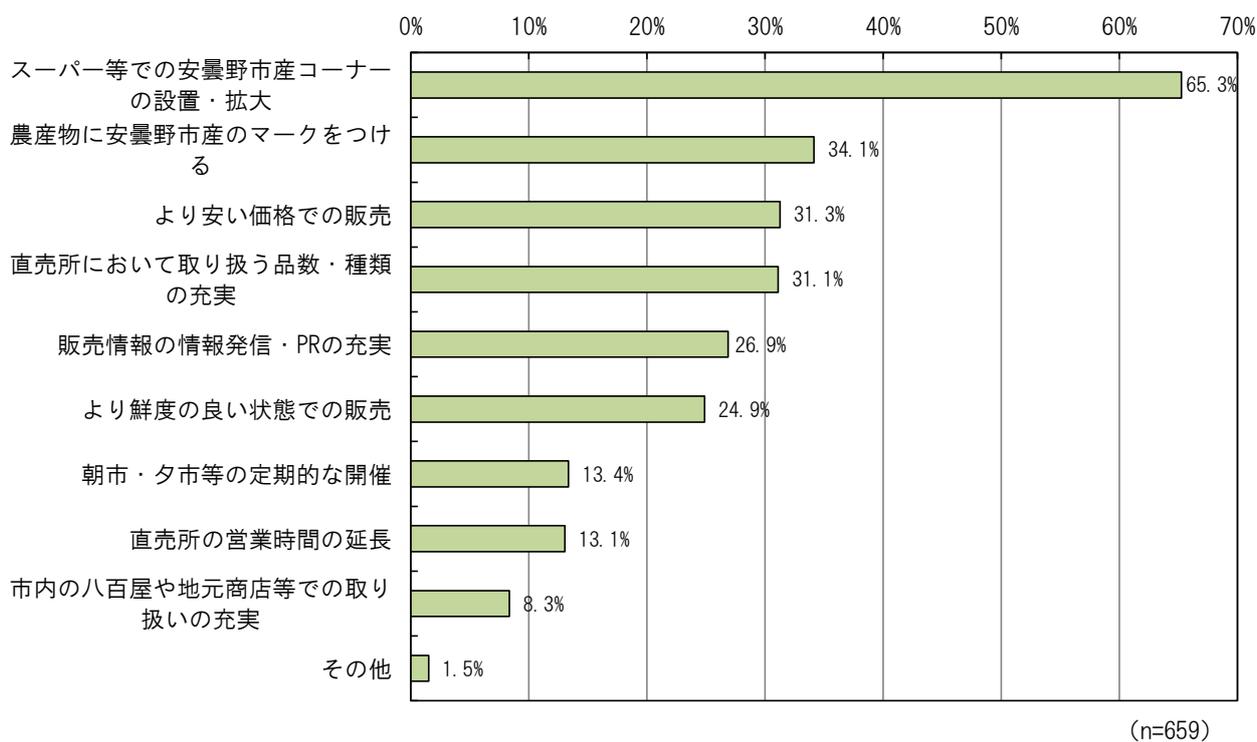
	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
市内、松本市、大北地域、北陸地方への移動時間短縮	59.2%	60.1%	62.2%	54.8%	60.7%	54.7%	57.1%
安曇野 IC 周辺の渋滞緩和	27.0%	28.7%	31.6%	19.3%	23.2%	26.6%	28.6%
北陸地方との連携による地域産業の活性化	26.7%	23.9%	27.8%	28.9%	25.0%	26.6%	42.9%
市内外の観光地間の周遊性の向上による観光振興	22.0%	23.4%	21.5%	22.2%	28.6%	12.5%	28.6%
災害時の交通ルートの確保	16.2%	16.5%	12.0%	23.0%	16.1%	15.6%	14.3%
市内中心部や松本市への救急搬送の円滑化	14.6%	18.6%	10.5%	15.6%	19.6%	7.8%	28.6%
その他	3.0%	3.2%	2.9%	3.0%	0.0%	6.3%	0.0%

(10) 農林水産業について

問30. 「安曇野市産」の農産物を手に入れやすくするためには、何が必要だと思いますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- ・ 「安曇野市産」の農産物を手に入れやすくするために必要だと思うものについて、「スーパー等での安曇野市産コーナーの設置・拡大」が過半数の 65.3%と突出して最も高く、次いで「農産物に安曇野市産のマークをつける」(34.1%)、「より安い価格での販売」(31.3%)、「直売所において取り扱う品数・種類の充実」(31.1%)が続いている。

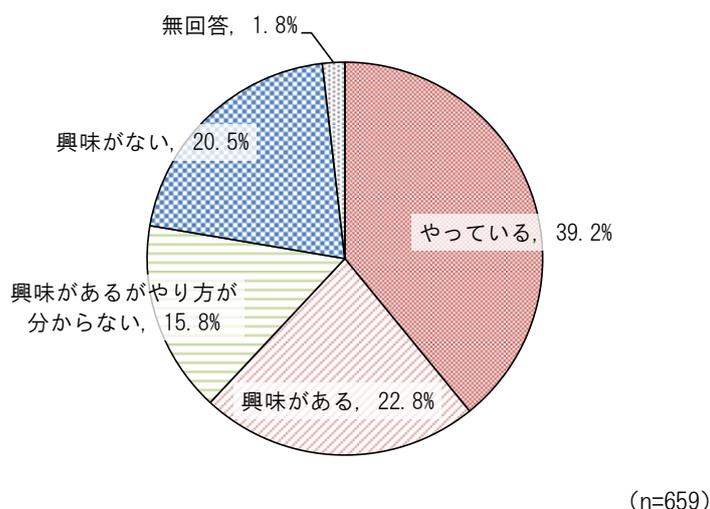
図表 115 「安曇野市産」の農産物を手に入れやすくするために必要な取り組み



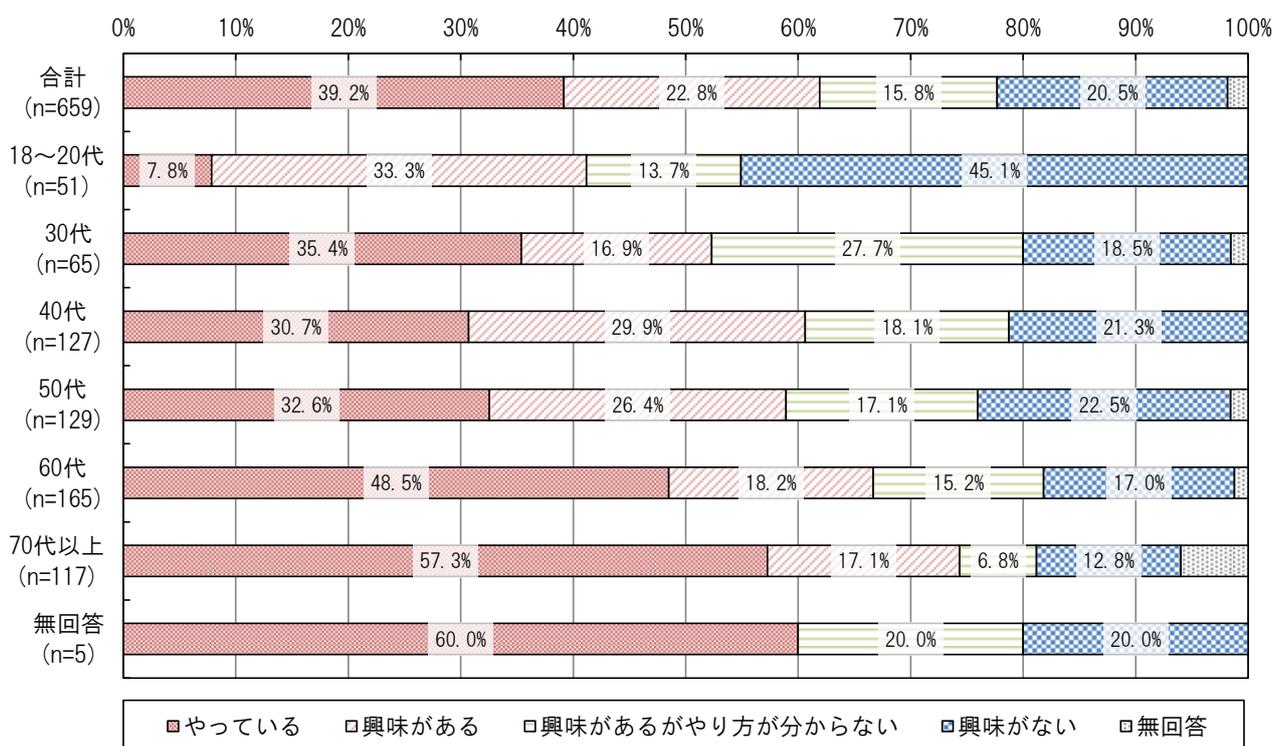
問31. あなたは、自分でも農業(家庭菜園・市民農園利用)をやってみたいと思いますか。(1つに○)

- すでに農業(家庭菜園・市民農園利用)を「やっている」が39.2%と最も高くなっている。
- 「興味がある」と「興味があるがやり方が分からない」を合算した回答割合は38.6%で「興味がない」の20.5%を18.1ポイント上回っている。
- 年代別で比較すると、年代が高いほど「やっている」とする回答割合が高い傾向にある。
- 18～20代では「興味がない」が45.1%と最も高く、全体の回答割合(20.5%)を24.6ポイント上回っている。

図表 116 農業(家庭菜園・市民農園利用)への取り組み意向



図表 117 【年代別】農業(家庭菜園・市民農園利用)への取り組み意向

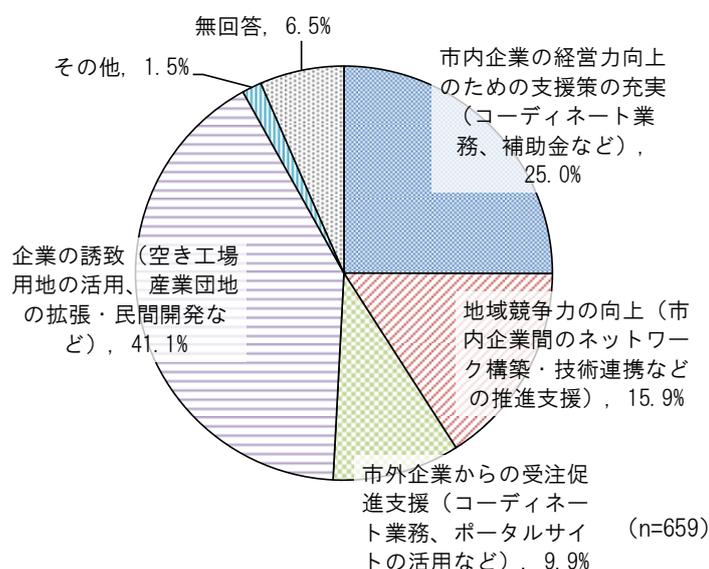


(11) 経済活動について

問32. 製造業は市税収入と雇用確保の観点から市の重要な産業のひとつとなっています。市内製造業への産業振興策について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つに○)

- ・ 市内製造業への産業振興策について、「企業の誘致(空き工場用地の活用、産業団地の拡張・民間開発など)」が 41.1%と最も高く、次いで「市内企業の経営力向上のための支援策の充実(コーディネート業務、補助金など)」が 25.0%となっている。
- ・ 地域別で比較すると、全ての地域において「企業の誘致(空き工業用地の活用、産業団地の拡張・民間開発など)」とする回答割合が最も高くなっている。

図表 118 市内製造業の産業振興策についての考え



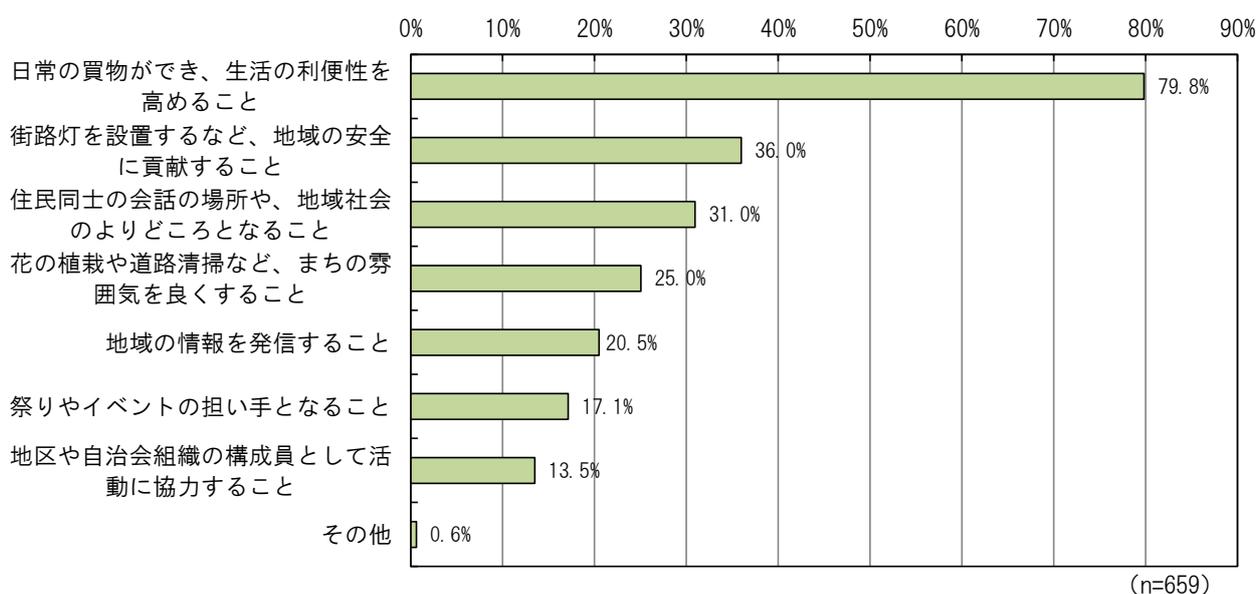
図表 119 【地域別】市内製造業の産業振興策についての考え

	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
市内企業の経営力向上のための支援策の充実 (コーディネート業務、補助金など)	25.0%	31.4%	21.1%	24.4%	21.4%	21.9%	42.9%
地域競争力の向上 (市内企業間のネットワーク構築・技術連携などの推進支援)	15.9%	18.6%	14.4%	12.6%	26.8%	12.5%	0.0%
市外企業からの受注促進支援 (コーディネート業務、ポータルサイトの活用など)	9.9%	9.6%	12.0%	9.6%	7.1%	7.8%	0.0%
企業の誘致 (空き工場用地の活用、産業団地の拡張・民間開発など)	41.1%	33.5%	44.0%	43.7%	33.9%	53.1%	57.1%
その他	1.5%	2.1%	1.9%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	6.5%	4.8%	6.7%	8.1%	10.7%	4.7%	0.0%

問33. 個店や商店街に、地域の中でどのような役割を期待しますか。(〇はいくつでも)

- ・ 個店や商店街に、地域の中で期待する役割について、「日常の買物ができ、生活の利便性を高めること」が過半数の 79.8%と突出して最も高く、次いで「街路灯を設置するなど、地域の安全に貢献すること」(36.0%)、「住民同士の会話の場所や、地域社会のよりどころとなること」(31.0%)と続いている。
- ・ 地域別で比較すると、すべての地域で「日常の買物ができ、生活の利便性を高めること」が過半数を超えて最も高くなっている。
- ・ 堀金と明科では、「住民同士の会話の場所や、地域社会のよりどころとなること」とする回答割合がそれぞれ 39.3%、40.6%と、全体の回答割合を 8.3 ポイント、9.6 ポイント上回っている。

図表 120 個店や商店街に地域の中で期待する役割



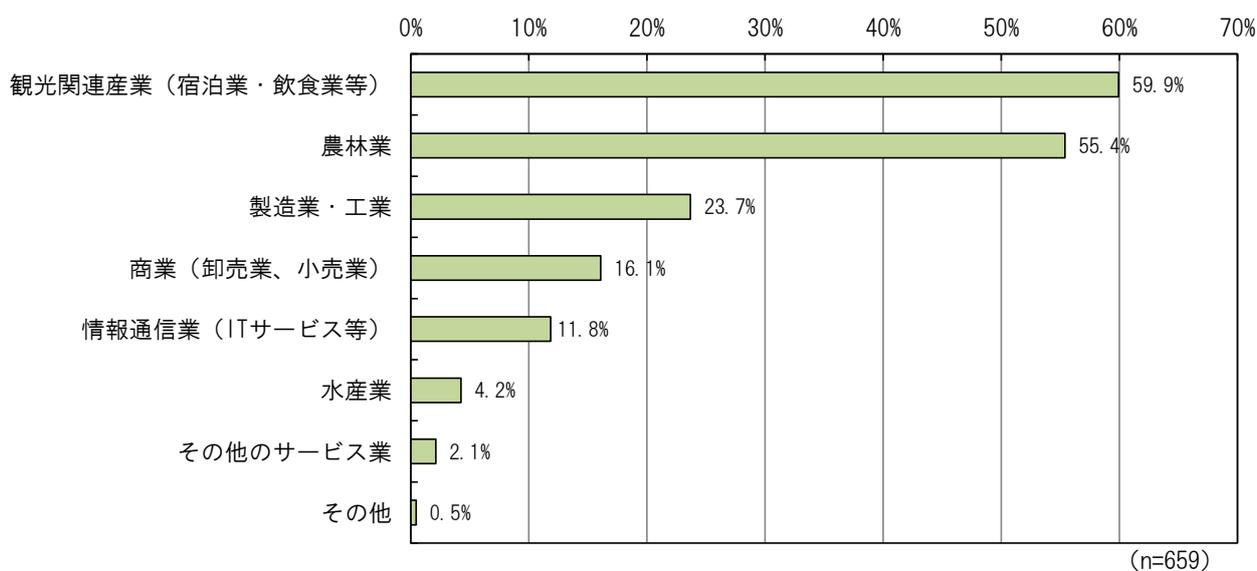
図表 121 【地域別】個店や商店街に地域の中で期待する役割

	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
日常の買物ができ、生活の利便性を高めること	79.8%	79.3%	82.3%	79.3%	73.2%	78.1%	100.0%
街路灯を設置するなど、地域の安全に貢献すること	36.0%	32.4%	40.7%	35.6%	28.6%	37.5%	42.9%
住民同士の会話の場所や、地域社会のよりどころとなること	31.0%	27.1%	27.8%	32.6%	39.3%	40.6%	42.9%
花の植栽や道路清掃など、まちの雰囲気良くすること	25.0%	28.2%	24.9%	23.7%	19.6%	25.0%	14.3%
地域の情報を発信すること	20.5%	18.6%	20.1%	19.3%	28.6%	23.4%	14.3%
祭りやイベントの担い手となること	17.1%	19.7%	19.6%	11.9%	17.9%	14.1%	0.0%
地区や自治会組織の構成員として活動に協力すること	13.5%	11.7%	14.8%	13.3%	17.9%	10.9%	14.3%
その他	0.6%	1.1%	0.5%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%

問34. 安曇野市の地域特性を生かした産業活性化について、重点的に取り組むべき産業は何だと思いますか。(特に当てはまるもの2つまで○)

- 安曇野市の地域特性を生かした産業活性化について、重点的に取り組むべきだと思う産業について、「観光関連産業(宿泊業・飲食業等)」および「農林業」がそれぞれ過半数の 59.9%、55.4%と突出して高くなっている。

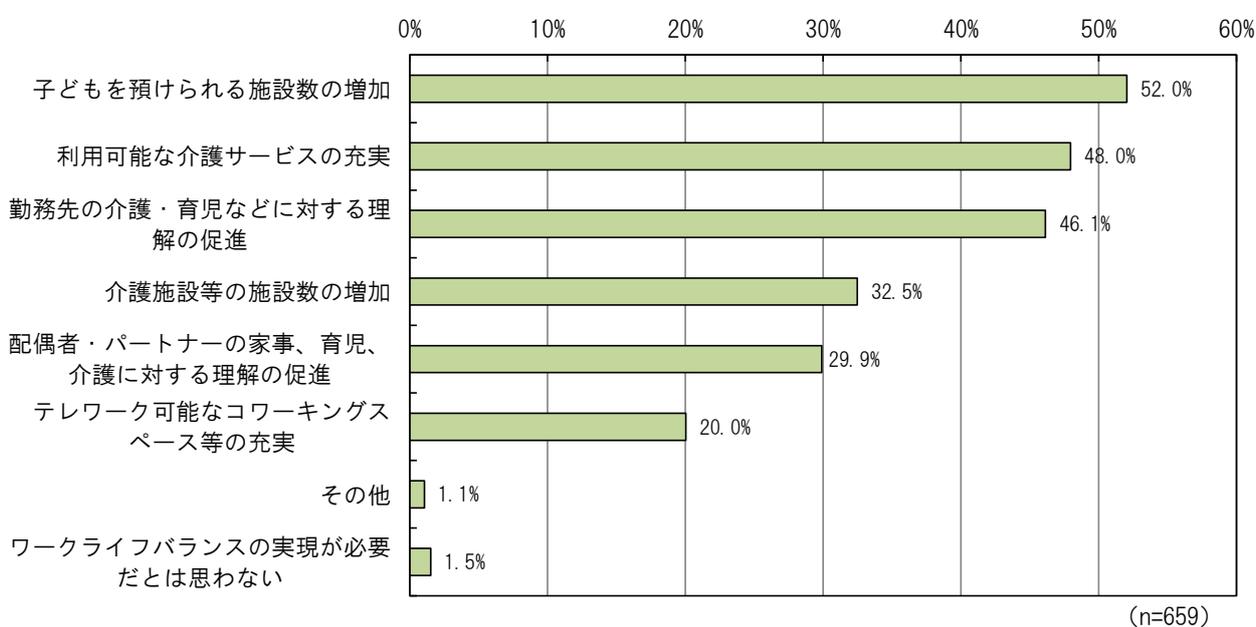
図表 122 地域の特性を生かした産業活性化について、重点的に取り組むべき産業



問35. 安曇野市でお住まいの方や働く方が、仕事と生活のバランスがとれた働き方(ワークライフバランス)を実現するために、市が取り組むべきものは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

- ・ 安曇野市でお住まいの方や働く方が、仕事と生活のバランスがとれた働き方を実現するために、市が取り組むべきことについては、「子どもを預けられる施設数の増加」が 52.0%と最も高く、次いで「利用可能な介護サービスの充実」(48.0%)、「勤務先の介護・育児などに対する理解の促進」(46.1%)と続いている。
- ・ 「ワークライフバランスの実現が必要だとは思わない」とする回答割合は 1.5%となっている。
- ・ 年代別で比較すると、18～20 代、30 代、40 代では「子どもを預けられる施設数の増加」が最も高くなっており、次いで「勤務先の介護・育児などに対する理解の促進」となっている。
- ・ 一方で、50代、60代、70代以上では「利用可能な介護サービスの充実」が最も高くなっており、それぞれ 48.1%、55.8%、59.0%となっている。

図表 123 ワークライフバランスを実現するために市が取り組むべきもの



図表 124 【年代別】ワークライフバランスを実現するために市が取り組むべきもの

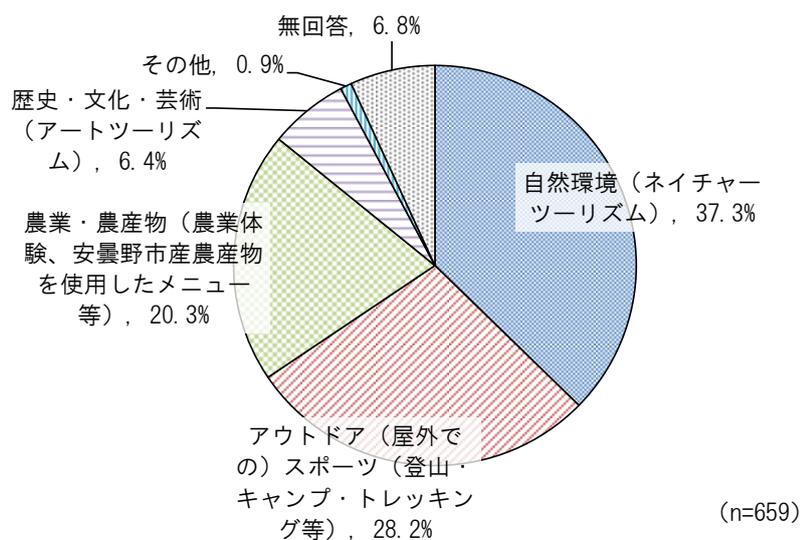
	合計 (n=659)	18～20代 (n=51)	30代 (n=65)	40代 (n=127)	50代 (n=129)	60代 (n=165)	70代以上 (n=117)	無回答 (n=5)
子どもを預けられる施設数の増加	52.0%	52.9%	72.3%	52.0%	45.0%	52.1%	49.6%	20.0%
利用可能な介護サービスの充実	48.0%	25.5%	44.6%	37.8%	48.1%	55.8%	59.0%	60.0%
勤務先の介護・育児などに対する理解の促進	46.1%	49.0%	61.5%	43.3%	42.6%	46.7%	41.9%	60.0%
介護施設等の施設数の増加	32.5%	9.8%	27.7%	27.6%	31.8%	41.8%	39.3%	0.0%
配偶者・パートナーの家事、育児、介護に対する理解の促進	29.9%	23.5%	46.2%	37.8%	26.4%	24.2%	25.6%	60.0%
テレワーク可能なコワーキングスペース等の充実	20.0%	37.3%	27.7%	15.7%	21.7%	18.2%	13.7%	20.0%
その他	1.1%	2.0%	1.5%	1.6%	0.8%	1.2%	0.0%	0.0%
ワークライフバランスの実現が必要だとは思わない	1.5%	2.0%	1.5%	0.8%	3.1%	1.8%	0.0%	0.0%

(12) 観光について

問36. 観光振興を図る上で、より力を入れて環境整備やPR等に取り組むべき安曇野市の観光資源・テーマは何だと思えますか。(1つに○)

- 観光振興を図るうえで、より力を入れて観光整備やPR等に取り組むべきものについて、「自然環境(ネイチャーツーリズム)」が37.3%と最も高く、次いで「アウトドア(屋外での)スポーツ(登山・キャンプ・トレッキング等)」が28.2%となっている。

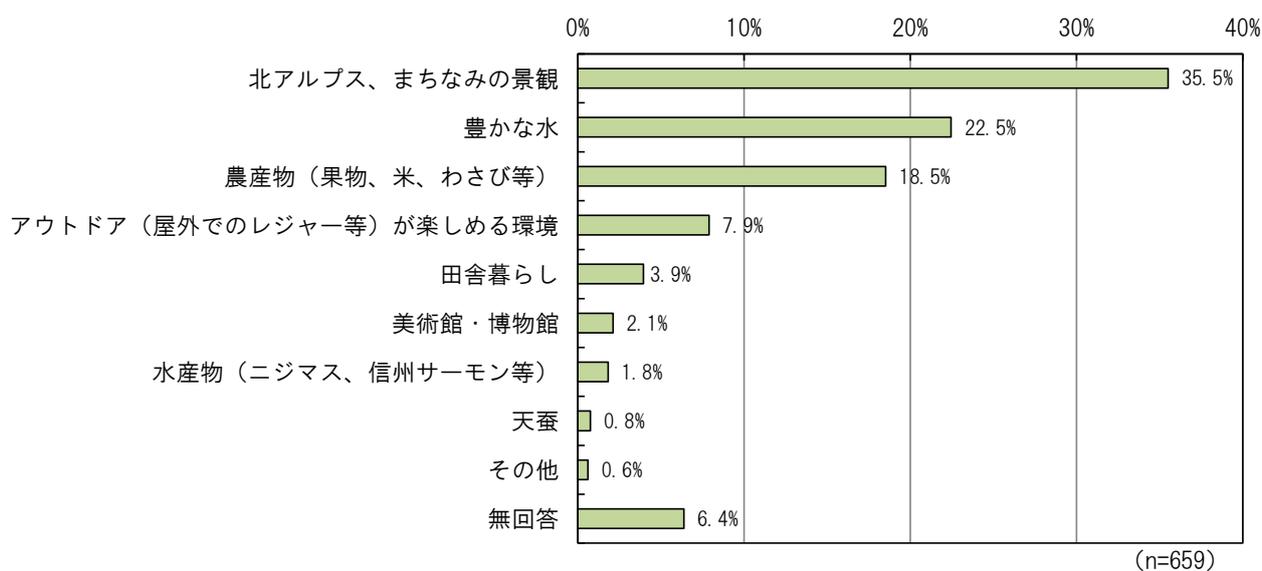
図表 125 観光振興を図るうえで市が取り組むべきもの



問37. 安曇野市のブランドイメージの向上や観光振興にあたり活かすべき「安曇野市の魅力」は何だと思えますか。(1つに○)

- 安曇野市のブランドイメージの向上や観光振興にあたり活かすべき「安曇野市の魅力」について、「北アルプス、まちなみの景観」が 35.5%と最も高く、次いで「豊かな水」(22.5%)、「農作物(果物、米、わさび等)」(18.5%)と続いている。

図表 126 安曇野ブランドイメージの向上や観光振興にあたり活かすべき「安曇野市の魅力」

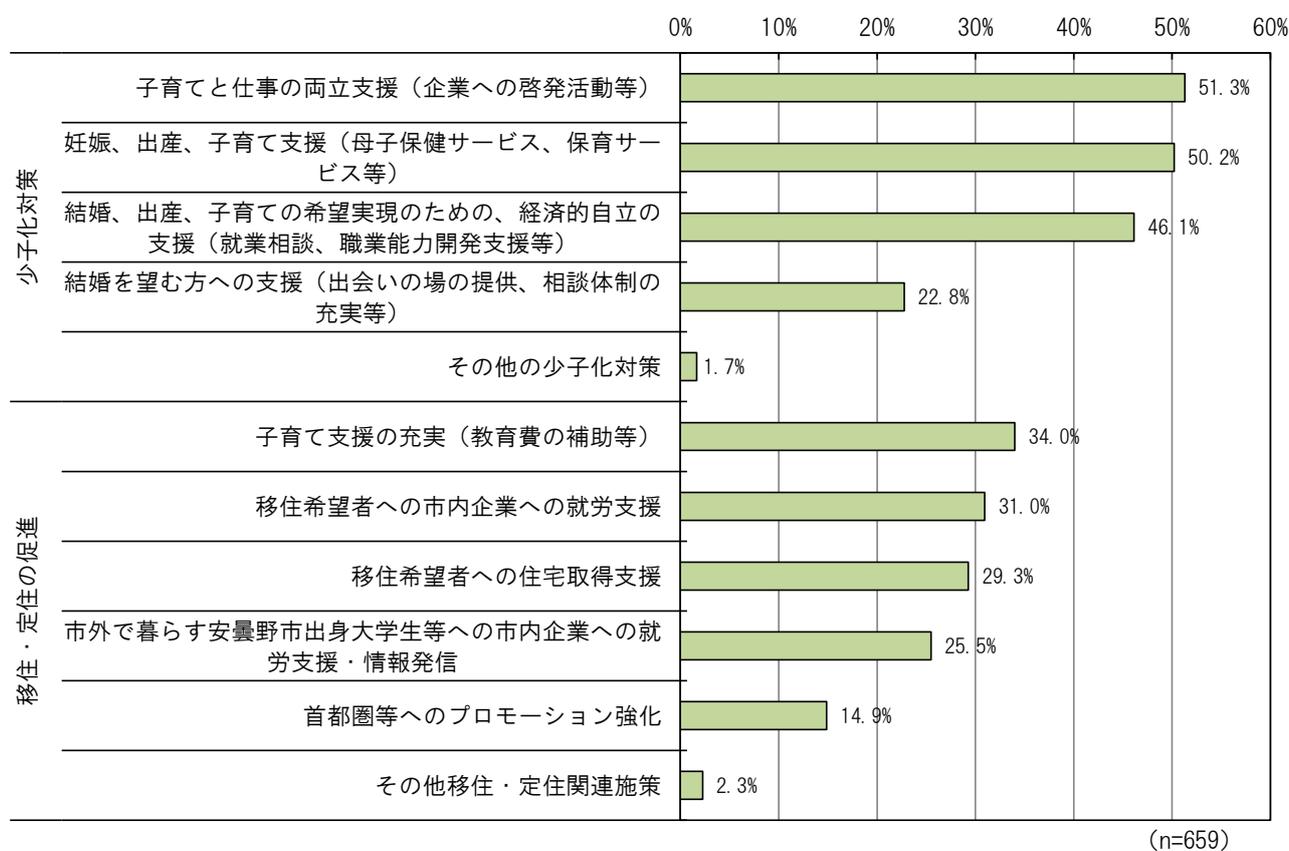


(14) 移住・定住について

問38. 安曇野市の人口減少を抑制するために、市で取り組むべきだと思う取り組みは何だと思えますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- ・ 安曇野市の人口減少を抑制するために、市で取り組むべき取り組みについては、「子育てと仕事の両立支援(企業への啓発活動等)」が51.3%と最も高かった。
- ・ これに次いで「妊娠、出産、子育て支援(母子保健サービス、保育サービス等)」(50.2%)、「結婚、出産、子育ての希望実現のための、経済的自立の支援(就業相談、職業能力開発支援等)」(46.1%)、「子育て支援の充実(教育費の補助等)」(34.0%)と続いており、子育て支援の回答が上位を占めた。

図表 127 安曇野市の人口減少抑制のために必要な取り組み



- 年代別で比較すると、「妊娠、出産、子育て支援(母子保健サービス、保育サービス等)」とする回答割合が30代(66.2%)、40代(50.4%)、60代(52.7%)で最も高くなっている。
- 18～20代では「結婚、出産子育ての希望実現のための、経済的自立支援(就業相談、職業能力開発支援等)」が56.9%と最も高く、全体の回答割合(46.1%)を10.8ポイント上回っている。

図表 128 【年代別】安曇野市の人口減少抑制のために必要な取り組み

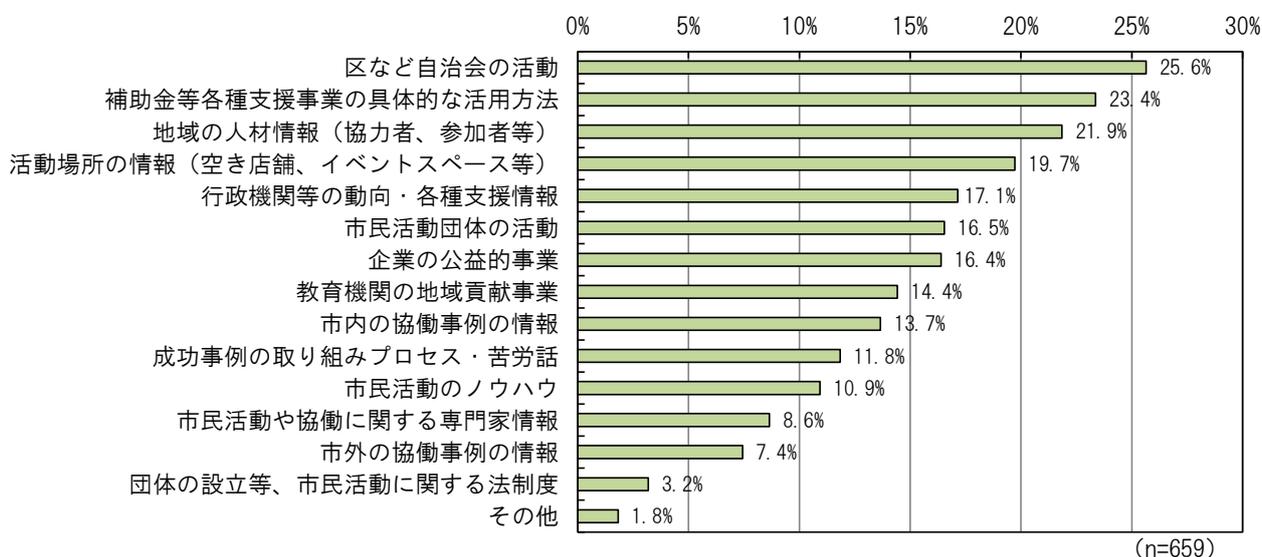
		合計 (n=659)	18～20代 (n=51)	30代 (n=65)	40代 (n=127)	50代 (n=129)	60代 (n=165)	70代以上 (n=117)	無回答 (n=5)
少 子 化 対 策	子育てと仕事の両立支援(企業への啓発活動等)	51.3%	29.4%	47.7%	47.2%	52.7%	50.9%	65.8%	60.0%
	妊娠、出産、子育て支援(母子保健サービス、保育サービス等)	50.2%	45.1%	66.2%	50.4%	49.6%	52.7%	40.2%	60.0%
	結婚、出産、子育ての希望実現のための、経済的自立の支援(就業相談、職業能力開発支援等)	46.1%	56.9%	50.8%	44.1%	42.6%	46.1%	46.2%	20.0%
	結婚を望む方への支援(出会いの場の提供、相談体制の充実等)	22.8%	23.5%	23.1%	21.3%	15.5%	25.5%	29.1%	0.0%
	その他の少子化対策	1.7%	0.0%	1.5%	3.1%	3.1%	1.2%	0.0%	0.0%
移 住 ・ 定 住 の 促 進	子育て支援の充実(教育費の補助等)	34.0%	29.4%	44.6%	38.6%	27.1%	37.6%	29.1%	0.0%
	移住希望者への市内企業への就労支援	31.0%	25.5%	23.1%	23.6%	30.2%	34.5%	40.2%	60.0%
	移住希望者への住宅取得支援	29.3%	19.6%	15.4%	24.4%	31.8%	30.9%	41.0%	40.0%
	市外で暮らす安曇野市出身大学生等への市内企業への就労支援・情報発信	25.5%	29.4%	21.5%	19.7%	30.2%	20.6%	32.5%	60.0%
	首都圏等へのプロモーション強化	14.9%	15.7%	6.2%	12.6%	17.8%	13.3%	20.5%	20.0%
	その他移住・定住関連施策	2.3%	0.0%	4.6%	1.6%	6.2%	0.6%	0.9%	0.0%

(15) 協働・コミュニティ活動について

問39. 地方を取り巻く課題は、多様化・複雑化しており、市民だけ、行政だけでは解決できない複雑な課題が山積しています。そのような課題を解決するためには、市民、自治会、市民活動団体などと行政が、お互いを補い合いながら協力して課題解決を進めて行く「協働」によるまちづくりの推進が必要です。この「協働」や「市民活動」に関して、どのような情報に興味・関心がありますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- ・ 「協働」や「市民活動」に関して、興味・関心のある情報について、「区など自治会の活動」が 25.6%と最も高く、次いで「補助金等各種支援事業の具体的な活用方法」(23.4%)、「地域の人材情報(協力者、参加者等)」(21.9%)と続いている。
- ・ 地域別で比較すると、堀金では「補助金等各種支援事業の具体的な活用方法」が 30.4%と最も高く、全体の回答割合(23.4)を 7.0 ポイント上回っている。

図表 129 協働のまちづくりについて興味・関心がある情報

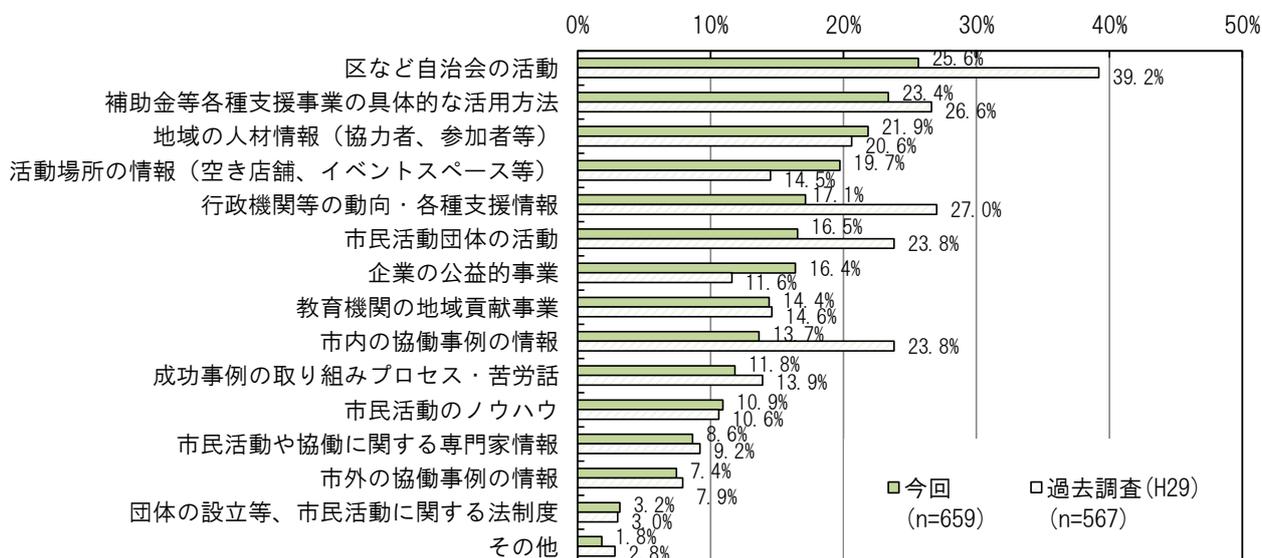


図表 130 【地域別】協働のまちづくりについて興味・関心がある情報

	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
区など自治会の活動	25.6%	23.4%	25.8%	27.4%	26.8%	28.1%	14.3%
補助金等各種支援事業の具体的な活用方法	23.4%	22.9%	23.4%	22.2%	30.4%	20.3%	28.6%
地域の人材情報(協力者、参加者等)	21.9%	21.3%	20.6%	24.4%	16.1%	25.0%	42.9%
活動場所の情報(空き店舗、イベントスペース等)	19.7%	18.6%	22.0%	15.6%	14.3%	28.1%	28.6%
行政機関等の動向・各種支援情報	17.1%	23.4%	19.1%	8.1%	14.3%	14.1%	14.3%
市民活動団体の活動	16.5%	15.4%	15.3%	19.3%	19.6%	17.2%	0.0%
企業の公益的事業	16.4%	18.6%	16.3%	14.8%	14.3%	17.2%	0.0%
教育機関の地域貢献事業	14.4%	13.8%	13.9%	17.0%	23.2%	6.3%	0.0%
市内の協働事例の情報	13.7%	10.1%	15.3%	14.8%	16.1%	14.1%	14.3%
成功事例の取り組みプロセス・苦労話	11.8%	14.4%	10.0%	12.6%	8.9%	10.9%	14.3%
市民活動のノウハウ	10.9%	12.2%	12.4%	10.4%	7.1%	7.8%	0.0%
市民活動や協働に関する専門家情報	8.6%	11.2%	5.3%	9.6%	8.9%	9.4%	14.3%
市外の協働事例の情報	7.4%	4.8%	8.6%	8.1%	8.9%	9.4%	0.0%
団体の設立等、市民活動に関する法制度	3.2%	3.7%	2.4%	5.2%	0.0%	1.6%	14.3%
その他	1.8%	1.6%	1.9%	3.0%	1.8%	0.0%	0.0%

- 平成 29 年に実施したアンケート調査の結果と比較すると「地域の人材情報(協力者、参加者等)」、「活動場所の情報(空き店舗、イベントスペース等)」、「企業の公益的事業」、「市民活動のノウハウ」、「団体の設立等、市民活動に関する法制度」の5つの回答割合が上昇している。
- このうち「活動場所の情報(空き店舗、イベントスペース等)」とする回答割合(19.7%)が平成 29 年に実施したアンケート調査の結果(14.5%)から 5.2 ポイントと最も上昇している。

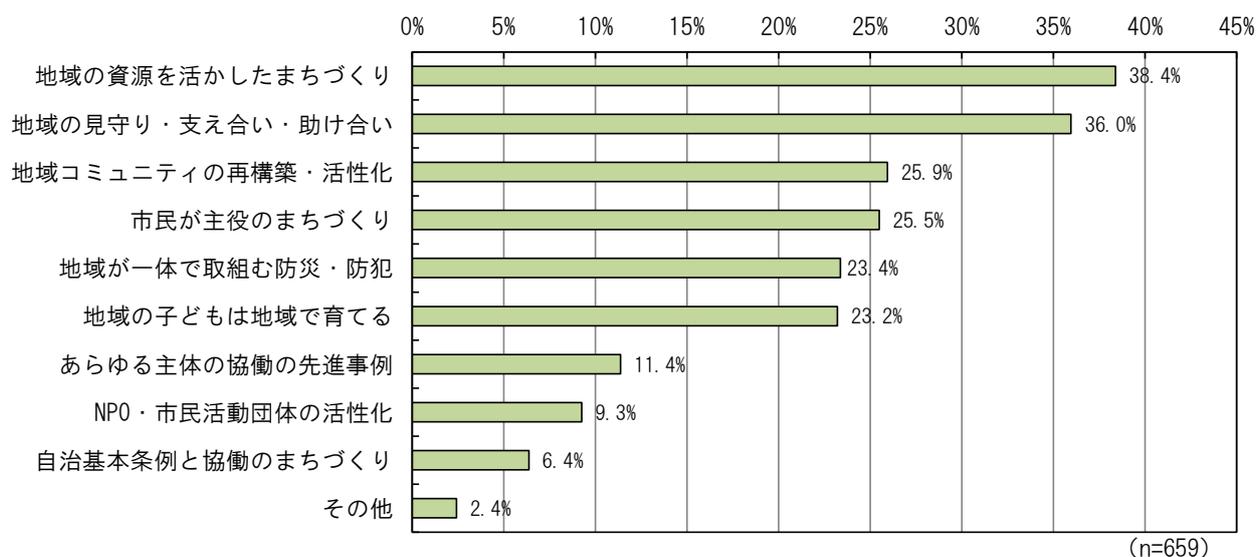
図表 131 【過去比較】協働のまちづくりについて興味・関心がある情報



問40. 協働のまちづくりを進めるためのイベント(講演会など)を開催する場合、興味・関心が持てるテーマはありますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- ・ 協働のまちづくりを進めるためのイベントを開催する場合、興味・関心が持てるテーマについて、「地域の資源を活かしたまちづくり」が 38.4%と最も高く、次いで「地域の見守り・支え合い・助け合い」が 36.0%となっている。
- ・ 地域別で比較すると、豊科と穂高では「地域の見守り・支え合い・助け合い」がそれぞれ 41.0%、37.8%と最も高くなっている一方で、三郷、堀金、明科では「地域の資源を活かしたまちづくり」がそれぞれ 37.8%、48.2%、40.6%と最も高くなっている。

図表 132 協働のまちづくりを進めるためのイベントで興味・関心が持てるテーマ

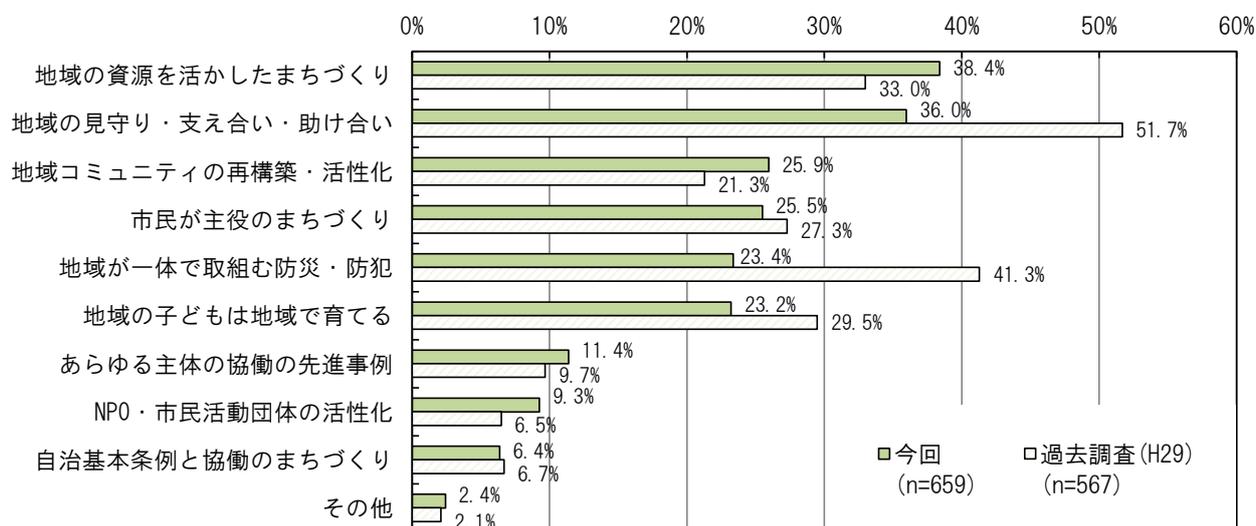


図表 133 【地域別】協働のまちづくりを進めるためのイベントで興味・関心が持てるテーマ

	合計 (n=659)	豊科 (n=188)	穂高 (n=209)	三郷 (n=135)	堀金 (n=56)	明科 (n=64)	無回答 (n=7)
地域の資源を活かしたまちづくり	38.4%	37.8%	36.4%	37.8%	48.2%	40.6%	28.6%
地域の見守り・支え合い・助け合い	36.0%	41.0%	37.8%	30.4%	32.1%	28.1%	57.1%
地域コミュニティの再構築・活性化	25.9%	28.7%	20.6%	29.6%	21.4%	31.3%	28.6%
市民が主役のまちづくり	25.5%	33.0%	21.1%	23.7%	33.9%	14.1%	28.6%
地域が一体で取組む防災・防犯	23.4%	18.6%	25.4%	25.2%	25.0%	26.6%	14.3%
地域の子どもは地域で育てる	23.2%	21.8%	22.0%	24.4%	32.1%	23.4%	0.0%
あらゆる主体の協働の先進事例	11.4%	7.4%	13.9%	12.6%	14.3%	9.4%	14.3%
NPO・市民活動団体の活性化	9.3%	8.0%	8.6%	13.3%	5.4%	9.4%	14.3%
自治基本条例と協働のまちづくり	6.4%	5.9%	5.3%	7.4%	5.4%	10.9%	0.0%
その他	2.4%	3.2%	2.4%	1.5%	3.6%	1.6%	0.0%

- 平成 29 年に実施したアンケート調査の結果と比較すると「地域の資源を活かしたまちづくり」、「地域コミュニティの再構築・活性化」、「あらゆる主体の協働の先進事例」、「NPO・市民活動団体の活性化」の 4 つの回答割合が上昇している。
- このうち「地域の資源を活かしたまちづくり」とする回答割合(38.4%)が平成 29 年に実施したアンケート調査の結果(33.0%)から 5.4 ポイントと最も上昇している。

図表 134 【過去比較】協働のまちづくりを進めるためのイベントで興味・関心が持てるテーマ

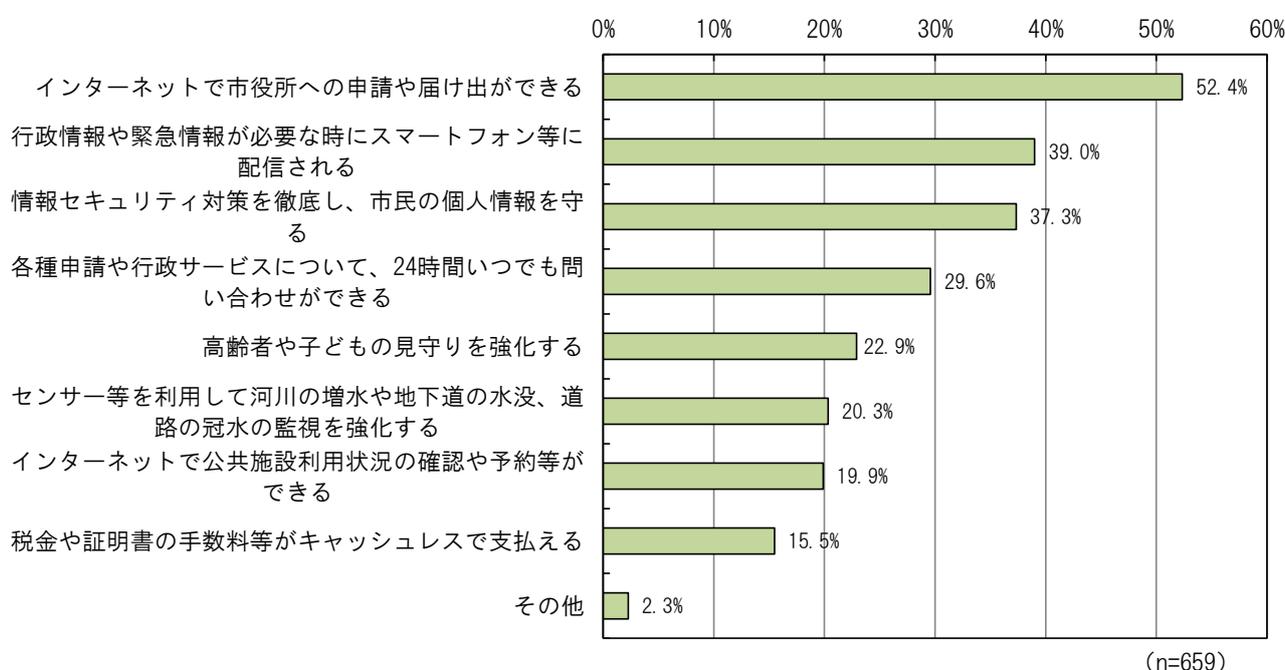


(16) デジタル社会・行政サービスについて

問41. 安曇野市において、市民の皆さんの利便性の向上のために取り組むべきデジタル化の内容として、必要と思うものは何ですか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- ・ 利便性の向上のために取り組むべきデジタル化の内容として、必要だと思うものについては、「インターネットで市役所への申請や届け出ができる」が52.4%と最も高く、次いで「行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される」(39.0%)、「情報セキュリティ対策を徹底し、市民の個人情報を守る」(37.3%)と続いている。
- ・ 年代別で比較すると、若い年代ほど「インターネットで市役所への申請や届け出ができる」や「税金や証明書の手数料等がキャッシュレスで支払える」とする回答割合が高くなる傾向にある。
- ・ また、年代が高くなるにつれて「情報セキュリティ対策を徹底し、市民の個人情報を守る」とする回答割合が高くなる傾向にある。

図表 135 利便性向上のために取り組むべきデジタル化の内容



図表 136 【年代別】利便性向上のために取り組むべきデジタル化の内容

	合計 (n=659)	18~20代 (n=51)	30代 (n=65)	40代 (n=127)	50代 (n=129)	60代 (n=165)	70代以上 (n=117)	無回答 (n=5)
インターネットで市役所への申請や届け出ができる	52.4%	72.5%	73.8%	60.6%	58.9%	44.2%	27.4%	40.0%
行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される	39.0%	35.3%	36.9%	38.6%	39.5%	43.0%	33.3%	100.0%
情報セキュリティ対策を徹底し、市民の個人情報を守る	37.3%	23.5%	26.2%	30.7%	38.8%	40.6%	50.4%	40.0%
各種申請や行政サービスについて、24時間いつでも問い合わせができる	29.6%	23.5%	27.7%	29.9%	38.8%	27.9%	26.5%	0.0%
高齢者や子どもの見守りを強化する	22.9%	17.6%	24.6%	13.4%	17.1%	24.2%	39.3%	20.0%
センサー等を利用して河川の増水や地下道の水没、道路の冠水の監視を強化	20.3%	17.6%	29.2%	12.6%	21.7%	20.6%	23.9%	0.0%
インターネットで公共施設利用状況の確認や予約等ができる	19.9%	21.6%	18.5%	23.6%	24.0%	20.0%	11.1%	20.0%
税金や証明書の手数料等がキャッシュレスで支払える	15.5%	33.3%	21.5%	18.1%	15.5%	12.7%	6.0%	0.0%
その他	2.3%	2.0%	4.6%	2.4%	2.3%	1.2%	2.6%	0.0%

参考資料

アンケート票

第2次安曇野市総合計画 後期基本計画策定に係る 市民アンケート調査のお願い

市民の皆様には、日頃から市政運営につきましてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本市では平成30年度から「第2次安曇野市総合計画」をスタートさせ、福祉や教育、まちづくり、産業振興など、さまざまな分野の推進充実に取り組んで参りました。この計画の「前期基本計画」が令和4年度で満了することに伴い、新たに令和5年度から令和9年度までの「後期基本計画」を策定します。策定にあたっては、市民の皆様のお考え・ご意見等が重要となりますので、アンケート調査をお願いすることといたしました。

アンケートは、市内にお住まいの18歳以上（令和4年3月1日時点）の2,000人の皆様を無作為に抽出させていただき、ご協力をお願いいたしました。お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和4年4月 安曇野市長 太田 寛

<ご記入にあたってのお願い>

- 本調査は無記名でお答えください。調査結果は統計的に処理し、個人が特定されたり、個人に関する情報が公表されたりすることはありませんので、率直なお気持ちをご回答ください。
- **必ず「宛名のご本人」様がお答えください。**このため、ご病気等によりご回答いただけない場合は、廃棄等していただいてもかまいません。
- ご記入が終わりましたら、同封いたしました返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和4年5月6日(金)まで**にお近くのポストへ投函をしていただきますようお願い申し上げます。
- **インターネットによる回答も可能です。**詳しくは裏面をご覧ください。

<この調査のお問い合わせ先>

安曇野市 政策部 政策経営課 企画担当
 電話：0263-71-2401（直通）※平日の8:30~17:15
 FAX:0263-71-5155
 Eメール：seisakukeiei@city.azumino.nagano.jp

【インターネットによる回答のご案内】

<手順>

- ① アンケート回答ページにアクセスしてください。

(https://s-kantan.jp/city-azumino-nagano-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=20876)

[アクセス方法1]

右のQRコードを読み取ってください。



[アクセス方法2]

「ながの電子申請サービス」で検索してください。

ページ左上の「申請団体選択」から「安曇野市」を選択のうえ、

「第2次安曇野市総合計画後期基本計画策定に係る市民アンケート調査」を選択してください。

- ② 案内に沿ってご回答ください。

<ご注意点>

- ・ インターネットで回答した方は、紙での回答は必要ありません。
- ・ インターネットによる回答は、一度限りとしてください。

1. あなたやご家族のことについて

問1. あなたご自身についてお答えください。

(1) あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 回答しない |
|-------|-------|----------|

(2) あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|------------|-------------|-------------|------------|
| 1. 18～24 歳 | 2. 25～29 歳 | 3. 30～34 歳 | 4. 35～39 歳 |
| 5. 40～44 歳 | 6. 45～49 歳 | 7. 50～54 歳 | 8. 55～59 歳 |
| 9. 60～64 歳 | 10. 65～69 歳 | 11. 70～74 歳 | 12. 75 歳以上 |

(3) 主に従事している職業等をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-----------------------|------------|------------|
| 1. 農林水産業（専業） | 2. 自営業・事業主 | 3. 勤め人（常勤） |
| 4. 勤め人（パート・アルバイト、派遣等） | 5. 専業主婦・主夫 | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. その他（ ） | |

(4) 通勤先、通学先の市町村についてお答えください。(1つに○)

- | | | |
|---------|-----------|---------------|
| 1. 安曇野市 | 2. 松本市 | 3. 塩尻市 |
| 4. 大町市 | 5. その他（ ） | 6. 通勤・通学していない |

(5) お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. 豊科 | 2. 穂高 | 3. 三郷 |
| 4. 堀金 | 5. 明科 | |

(6) あなたの「出身地[※]」についてお答えください。(1つに○)

※ 15歳までの期間に最も長く居住した場所を「出身地」としてお答えください。

- | | | | |
|-----------------|--------|---------|----------------|
| 1. 安曇野市 | 2. 松本市 | 3. 大町市 | 4. 塩尻市 |
| 5. その他の県内市町村（ ） | 6. 東京都 | 7. 神奈川県 | |
| 8. 埼玉県 | 9. 愛知県 | 10. 大阪府 | 11. その他の道府県（ ） |

(7) 安曇野市での居住を始める前（直前）に居住していた都道府県・市町村についてお答えください。(1つに○)

- | | | |
|--------------------|-----------------|--------|
| 1. 安曇野市以外での居住経験はない | 2. 松本市 | 3. 大町市 |
| 4. 塩尻市 | 5. その他の県内市町村（ ） | 6. 東京都 |
| 7. 神奈川県 | 8. 埼玉県 | 9. 愛知県 |
| 11. その他の道府県（ ） | 10. 大阪府 | |

問2. 世帯状況についてお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-----------------|-------------|---------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦で二人暮らし | 3. 二世帯同居（親-子） |
| 4. 三世帯同居（親-子-孫） | 5. その他（ ） | |

2. 安曇野市での暮らしについて

問3. あなたは安曇野市での生活にどの程度満足していますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば不満である |
| 5. 不満である | 6. その他 () |

問4. あなたは、これからも安曇野市に住み続けたいですか。(1つに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. ずっと住みたい |
| 2. 一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい |
| 3. 他の市町村へ移りたい |
| 4. わからない・その他 () |

問4 で「1. ずっと住みたい」または「2. 一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」と回答した方のみご回答ください。

(1) 安曇野市に住みたいと思う理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 両親や祖父母の近くで生活したいから |
| 2. (親などから) 地元で生活するように言われているから |
| 3. 友人が沢山いるから |
| 4. 生まれ育った場所で、生活に慣れているから |
| 5. 安曇野市の風土や食べ物が好きだから |
| 6. 職場が近いから |
| 7. 持ち家があるから |
| 8. その他 () |

問4 で「3. 他の市町村へ移りたい」と回答した方のみご回答ください。

(2) その理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 都会に興味があるから | 2. 買い物などが不便だから |
| 3. 働きたい会社がないから | 4. 街に活気がないから |
| 5. 親と別々に住みたいから | 6. 魅力あるイベント、遊ぶ場が少ないから |
| 7. 公共交通が不十分で通勤・通学が不便だから | 8. 若い世代が少ないから |
| 9. 安曇野市の風土が好きではないから | 10. 冬の生活が大変だから |
| 11. 近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから | 12. 子育てしにくい環境だから |
| 13. 職場が近いから | 14. その他 () |

問5. 安曇野市に愛着を感じていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. とても感じている | 2. どちらかというと感じている |
| 3. どちらかというと感じていない | 4. 感じていない |

問5で「1. とても感じている」または「2. どちらかというと感じている」と回答した方のみご回答ください。

(1) 安曇野市に愛着を感じる理由を教えてください。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然環境と調和した快適な住環境が整備されている 2. 医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことが出来る 3. 安心して子どもを産み、育てられる環境が整っている 4. スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っている 5. 学校教育や生涯学習が充実している 6. 歴史や文化・伝統が受け継がれている 7. 博物館や美術館が多く、芸術に触れる機会が充実している 8. 自然災害に備える体制が整っており、安全・安心に暮らすことが出来る 9. 幹線道路や公共交通の利便性が高く、生活しやすい都市基盤がある 10. 農林水産業が盛んである 11. 経済活動が活発であり、雇用・所得環境が良好である 12. 観光資源が豊富であり、市外・県外居住者との交流が盛んである 13. まちの知名度・ブランド力が高い 14. 移住・定住者が多い 15. 行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発である 16. 先端技術・デジタル技術が活用されており、行政サービスの利便性が高い 17. ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的である 18. その他 () |
|---|

問5 で「3. どちらかというと感じていない」または「4. 感じていない」と回答した方のみご回答ください。

(2) 安曇野市に愛着を感じない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 自然環境と調和した快適な住環境が整備されていない
2. 医療・福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことが出来ない
3. 安心して子どもを産み、育てられる環境が整っていない
4. スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っていない
5. 学校教育や生涯学習が充実していない
6. 歴史や文化・伝統が受け継がれていない
7. 博物館や美術館が少なく、芸術に触れる機会が充実していない
8. 自然災害に備える体制が整っておらず、安全・安心に暮らすことが出来ない
9. 幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない
10. 農林水産業が盛んでない
11. 経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない
12. 観光資源が活かされておらず、市外・県外居住者との交流が盛んでない
13. まちの知名度・ブランド力が低い
14. 移住・定住者が少ない
15. 行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発でない
16. 先端技術・デジタル技術が活用されておらず、行政サービスの利便性が低い
17. ゼロカーボンの推進など、SDG s の達成に積極的でない
18. その他 ()

3. 安曇野市の行政に関すること

■ 市の全般的な施策等について

問6. 今後のまちづくりにあたって最も基本となる計画である「総合計画」では、平成30年～令和9年までの10年間で目指すべき「**将来都市像**」として、「**北アルプスに育まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野**」を掲げ、各種施策に取り組んでいます。これについて、あなたの実感・感想として当てはまるものを教えてください。(1つに○)

1. 「将来都市像」の実現に向けた取り組みが進んでいると感じる
2. 「将来都市像」の実現に向けた取り組みが進んでいるかどうかわからない
3. 「将来都市像」の実現に向けた取り組みが進んでいないと感じる
4. 「将来都市像」が意味する具体的な内容・イメージがわからない
5. その他 ()

問7. 以下に示す分野ごとの市の施策について、「① 現状の満足度」と「② 今後の重要度」等をお聞きします。

【① 現状の満足度】

各施策の内容について、現在どの程度満足していますか。(1つに○)

【② 今後の重要度】

各施策の内容について、将来的にどの程度重要だと考えますか。(1つに○)

(1) 自然環境について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 河川、山林などの自然環境が保全されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 きれいな水、澄んだ空気など、良好な生活環境が保たれている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 太陽光発電などの自然エネルギーが普及している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 ごみのリサイクルや分別などにより、減量が進んでいる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問 8. 地下水・湧水は安曇野市にとって、生活、産業、観光と密接に関わり、欠かすことのできない貴重な地域資源となっていますが、あなたのご家庭での節水への取り組みについて教えてください。(1つに○)

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 常に節水を心がけている | 2. どちらかといえば節水に心がけている |
| 3. 節水は必要だと思うが、日頃は心がけていない | 4. 全く気にせず水を使っている |

問 9. 循環型社会（天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会）の実現のため、あなたが現在取り組んでいる、またはこれから取り組もうと思っていることは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------|
| 1. 食べ物の食べ残し（食品ロス）を減らす | 2. マイバッグ、マイボトル等を利用する |
| 3. 家庭ごみの分別を徹底する | 4. 出来るだけ中古品を購入する |
| 5. ごみの減量化につながる商品（詰め替え等）を購入する | 6. リース・レンタルを活用し、モノを所有しない |
| 7. コンポスト等を活用し、生ごみをたい肥化する | 8. 不要になったものはリサイクルショップやバザーへ出品する |
| 9. その他（ ） | |
| 10. 取り組んでいるもの（取り組もうと思っているもの）は無い | |

問 10. 日本では、生ごみのうち、本来食べられたはずなのに捨てられてしまう食品、いわゆる「食品ロス」が、年間約 600 万～700 万トン発生していると推計されます。ご家庭で「食品ロス」が発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。(○はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 食品を買いすぎ、使い切れずあまってしまったため |
| 2. 食品を買ったが、食べるのを忘れてしまい古くなってしまったため |
| 3. 家に在庫があるのに、不必要なものを買ってしまったため |
| 4. 料理を多く作りすぎ、食べ残してしまったため |
| 5. 期限切れに近い見切り品を買ったが、食べきれなかったため |
| 6. お土産などで食品をいただいたが、食べられなかったため |
| 7. 食品ロスは出ない |
| 8. その他（ ） |

問 11. 外食や宴会等で「食品ロス」が発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 少量のメニューが提供されていなかったため |
| 2. 注文時に思っていた量よりも、多くでてきてしまったため |
| 3. コース料理などでまとめて注文したが、量が多く食べきれなかったため |
| 4. 接待や宴会の席で、積極的に食べにくかったため |
| 5. 味が好みでなかったため |
| 6. お酌に回る時間が主となり、料理に手をつけられなかったため |
| 7. 食品ロスは出ない |
| 8. その他（ ） |

(4) スポーツについて

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 スポーツを楽しめる環境が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問16. 健康づくりやレクリエーション活動の一環として取り組んでいる、または興味のあるスポーツはありますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|--------------|------------|-------------|
| 1. ランニング | 2. サイクリング | 3. マウンテンバイク |
| 4. 野球・ソフトボール | 5. バレーボール | 6. バスケットボール |
| 7. マレットゴルフ | 8. ゲートボール | 9. テニス |
| 10. 登山 | 11. ウォーキング | 12. その他 () |

問17. 安曇野市では自転車を活用したまちづくりを進めています。あなたの自転車にのる頻度を教えてください。(1つに○)

- | | | |
|-----------|--------------|---------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に数回 | 3. 週に1回 |
| 4. 月に1回 | 5. ほとんど利用しない | |

問18. あなたの自転車にのる目的を教えてください。(○はいくつでも)

- | | | |
|------------|--------------|--------|
| 1. サイクリング | 2. 通勤・通学 | 3. 買い物 |
| 4. その他 () | 5. ほとんど利用しない | |

(5) 教育・学習について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 小中学校での教育が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 小中学校と地域・家庭の連携が図れている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 年代に関わらず、学びの機会が提供されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問19. 小中学校での子どもの教育の内容について、特に重視すべきだと思うものは何ですか。(特に当てはまるもの2つまで○)

1. 基礎的な学力	2. コミュニケーション能力
3. 決まりやルールに基づいて、判断・行動する意識	4. 他人を思いやる心
5. 地域貢献や社会貢献への関心	6. 将来の進路や職業に関する意識
7. 健康づくり、体力の増強	8. コンピュータ等の ICT 機器を活用する能力
9. その他 ()	

問20. 生涯学習として、今後新たに学びたい分野・関心のある内容はありますか。(○はいくつでも)

生涯学習	人々が生涯で行うあらゆる活動を指します。 例えば、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア、趣味など
------	---

1. 健康づくり	2. スポーツ
3. 芸術	4. 職業上必要な知識・技能・資格
5. パソコン、インターネット	6. 安曇野市の歴史や風土
7. 外国語の学習	8. 子育て、教育
9. ボランティア	10. マネー・ライフプラン
11. 防犯、防災	12. 身近な自然環境や地域環境の保全
13. 地域づくり	14. ガイドや指導者として人に伝える技術
15. 趣味などその他	

問2 1. あなたが、公共図書館で特に充実すべきだと思うサービスについて教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 図書館資料の充実 | 2. 図書館設備の使いやすさ |
| 3. おはなし会・講演会・講座等の催しの充実 | 4. 本や調べものの相談（レファレンスサービス） |
| 5. 図書館からの情報提供 | 6. 多言語対応 |
| 7. ビジネス支援のサービス | 8. 健康・医療情報のサービス |
| 9. 電子書籍のサービス | 10. 開館日・開館時間の拡大 |
| 11. インターネット環境の充実 | 12. その他（ ） |

(6) 地域の伝統について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 地域の伝統や文化の保存・活用が行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問2 2. 地域の伝統や文化を守っていくために、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 担い手の育成 | 2. 関連団体・個人の支援 |
| 3. 文化財保存や維持管理のための支援 | 4. 文化財の災害対策 |
| 5. 伝統文化の普及・活用 | 6. 学校等との連携 |
| 7. その他（ ） | |

(7) 文化・芸術について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 文化・芸術を気軽に楽しめる環境が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 国際交流イベントが盛んに行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問23. 安曇野市の文化芸術環境の特長についてどのようにお考えですか。(特に当てはまるもの3つまで○)

1. 図書館や交流学習センターが整備されている
2. 美術館、博物館が整備されている
3. 芸術鑑賞の場となるホールや展示場・ギャラリーが充実している
4. 活動の発表場所となるホールやギャラリーが充実している
5. 特色あるイベントや文化芸術活動が行われている
6. 地域の伝統文化や文化財を学習、体験できる機会が充実している
7. コンサートや展覧会など、文化芸術を楽しむ機会が充実している

問24. あなたが今後の市立博物館に求めることについて教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

1. 収蔵・展示資料の質や量が充実している
2. 学芸員等による研究・教育普及活動が充実している
3. 色々な人(高齢者、外国人、障がい者、子ども、観光客など)が利用しやすい配慮がされている
4. 防災機能に優れ、貴重な資料を守り後世に伝えていける
5. 駅に近い、駐車場が広い等、たくさんの人が訪れやすい立地条件である
6. 友の会活動や学校との連携等、市民が参加する活動が活発である
7. 建設・整備にできる限りお金がかからない
8. 維持管理にできる限りお金がかからない
9. 観光施設として市外へアピールできる
10. これまでも博物館に興味関心があった人が、より参画しやすい
11. これまでは博物館に興味関心のなかった人が、惹きつけられる
12. その他 ()

(8) 防災・防犯について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 地域において、地震や台風などへの備えができています	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 交通安全の取り組みが行われています	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 防犯対策が行われています	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 特殊詐欺など、消費者被害の防止に向けた取り組みが行われています	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問25. 防災・減災のまちづくりをしていくために、市が今後重点的に取り組んでいくべきだと思うことは何だと思いますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | | | |
|-----------------|--------------------|-----------------------|
| 1. 公共施設の耐震化 | 2. 住宅の耐震化への支援 | 3. 避難場所や避難路の充実 |
| 4. 消防救急・救護体制の充実 | 5. 必要物資の備蓄 | 6. 防災訓練の実施 |
| 7. 防災教育の充実 | 8. 地域での避難・見守り体制の構築 | 9. デジタル技術を活用した防災情報の提供 |
| 10. 治山・治水対策の強化 | 11. その他 () | |

問26. 犯罪のない安全・安心なまちづくりのために一層力を入れて取り組むべきものは何だと思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 行政や警察からの犯罪・防犯情報の提供、注意喚起 |
| 2. 警察によるパトロール |
| 3. 地域の自主防犯活動(防犯パトロール、子どもの見守り活動) |
| 4. 自主防犯活動団体の育成・支援 |
| 5. 防犯講座、啓発活動の充実 |
| 6. 防犯灯の設置・増設 |
| 7. 防犯カメラの設置 |
| 8. 見通しの悪い場所の改善など防犯上の環境の改善 |
| 9. その他 () |

(9) 都市基盤について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 市街地は道路等が整備されており、快適である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 周囲の自然や農地とのバランスの取れた開発が進められている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 安曇野らしい景観が保全されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 緑化の保全、普及が進められている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 公園、緑地の整備・維持管理がされている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 国道、県道などの幹線道路が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 生活道路である市道が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 公共交通網が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問27. 市内の施設について、今後重点的にバリアフリー・ユニバーサルデザインとしていくことが必要だと思うものは何ですか。(特に当てはまるもの2つまで○)

バリアフリー	障がい者や高齢者、妊婦等が生活するうえで障壁となるものを除去するという考え方
ユニバーサルデザイン	年齢や性別、障がいの有無等に関わらず、人々が利用しやすいように製品や施設、生活環境等をデザインするという考え方

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 官公庁施設 | 2. 福祉施設 (老人ホーム等) |
| 3. 保育園、幼稚園、学校等 | 4. 社会教育施設 (図書館、美術館、公民館等) |
| 5. 社会体育施設 (体育館、プール等) | 6. 医療施設 (病院、診療所等) |
| 7. オフィスビル、事務所等 | 8. 商業施設 (スーパーマーケット等) |
| 9. 飲食店 | 10. その他 () |

問28. 公共交通のあり方について、今後充実を図るべきだと思うものは何ですか。(特に当てはまるもの2つまで○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 安曇野市内への通学のための移動 | 2. 安曇野市外への通学のための移動 |
| 3. 安曇野市内への通勤のための移動 | 4. 安曇野市外への通勤のための移動 |
| 5. 高齢者の通院・買い物のための移動 | 6. 観光客の市内周遊のための移動 |
| 7. その他 () | |

問29. 現在、松本市から新潟県糸魚川市に至る延長約100kmの地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」の整備についての計画が進められています。この「松本糸魚川連絡道路」の活用について、あなたが期待する効果を教えてください。(特に当てはまるもの2つまで○)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 市内、松本市、大北地域、北陸地方への移動時間短縮 | 2. 安曇野 IC 周辺の渋滞緩和 |
| 3. 北陸地方との連携による地域産業の活性化 | 4. 市内外の観光地間の周遊性の向上による観光振興 |
| 5. 市内中心部や松本市への救急搬送の円滑化 | 6. 災害時の交通ルートの確保 |
| 7. その他 () | |

(10) 農林水産業について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 地域内で、安全で質の高い農産物が生産されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問30. 「安曇野市産」の農産物を手に入れやすくするためには、何が必要だと思いますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1. スーパー等での安曇野市産コーナーの設置・拡大 | 2. 農産物に安曇野市産のマークをつける |
| 3. 市内の八百屋や地元商店等での取り扱いの充実 | 4. 直売所において取り扱う品数・種類の充実 |
| 5. 直売所の営業時間の延長 | 6. 朝市・夕市等の定期的な開催 |
| 7. 販売情報の情報発信・PRの充実 | 8. より安い価格での販売 |
| 9. より鮮度の良い状態での販売 | 10. その他 () |

問31. あなたは、自分でも農業(家庭菜園・市民農園利用)をやってみたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|----------|
| 1. やっている | 2. 興味がある |
| 3. 興味があるがやり方が分からない | 4. 興味がない |

(11) 経済活動について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 市内に個性的で魅力的なお店が増えている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 工業・製造業が盛んな地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 働きやすい地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問3 2. 製造業は市税収入と雇用確保の観点から市の重要な産業のひとつとなっています。市内製造業への産業振興策について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つに○)

1. 市内企業の経営力向上のための支援策の充実（コーディネート業務、補助金など）
2. 地域競争力の向上（市内企業間のネットワーク構築・技術連携などの推進支援）
3. 市外企業からの受注促進支援（コーディネート業務、ポータルサイトの活用など）
4. 企業の誘致（空き工場用地の活用、産業団地の拡張・民間開発など）
5. その他（ ）

問33. 個店や商店街に、地域の中でどのような役割を期待しますか。(〇はいくつでも)

1. 日常の買物ができ、生活の利便性を高めること
2. 地域の情報を発信すること
3. 住民同士の会話の場所や、地域社会のよりどころとなること
4. 街路灯を設置するなど、地域の安全に貢献すること
5. 祭りやイベントの担い手となること
6. 花の植栽や道路清掃など、まちの雰囲気をよくすること
7. 地区や自治会組織の構成員として活動に協力すること
8. その他 ()

問34. 安曇野市の地域特性を生かした産業活性化について、重点的に取り組むべき産業は何だと思えますか。(特に当てはまるもの2つまで〇)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 農林業 | 2. 水産業 |
| 3. 商業(卸売業、小売業) | 4. 製造業・工業 |
| 5. 観光関連産業(宿泊業・飲食業等) | 6. 情報通信業(ITサービス等) |
| 7. その他のサービス業 | 8. その他 () |

問35. 安曇野市でお住まいの方や働く方が、仕事と生活のバランスがとれた働き方(ワークライフバランス)を実現するために、市が取り組むべきものは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|--------------------------------|
| 1. テレワーク可能なコワーキングスペース等の充実 | 2. 子どもを預けられる施設数の増加 |
| 3. 介護施設等の施設数の増加 | 4. 利用可能な介護サービスの充実 |
| 5. 勤務先の介護・育児などに対する理解の促進 | 6. 配偶者・パートナーの家事、育児、介護に対する理解の促進 |
| 7. その他 () | 8. ワークライフバランスの実現が必要だとは思わない |

(12) 観光について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を〇で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 安曇野市は魅力的な観光地である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 安曇野らしい産品が生み出されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問36. 観光振興を図る上で、より力を入れて環境整備やPR等に取り組むべき安曇野市の観光資源・テーマは何だと思いますか。(1つに○)

- | |
|---|
| 1. 自然環境 (ネイチャーツーリズム) |
| 2. アウトドア (屋外での) スポーツ (登山・キャンプ・トレッキング・キャンプ等) |
| 3. 歴史・文化・芸術 (アートツーリズム) |
| 4. 農業・農産物 (農業体験、安曇野市産農産物を使用したメニュー等) |
| 5. その他 () |

問37. 安曇野市のブランドイメージの向上や観光振興にあたり活かすべき「安曇野市の魅力」は何だと思いますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 1. 豊かな水 | 2. 農産物 (果物、米、わさび等) |
| 3. 水産物 (ニジマス、信州サーモン等) | 4. 北アルプス、まちなみの景観 |
| 5. 美術館・博物館 | 6. アウトドア (屋外でのレジャー等) が楽しめる環境 |
| 7. 天蚕 | 8. 田舎暮らし |
| 9. その他 () | |

(13) 地域ブランドについて

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 全国的に「安曇野市」の地名が知られている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 市外在住者に誇ることのできる地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(14) 移住・定住について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 移住者、定住者が多く活気のあるまちである	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問38. 安曇野市の人口減少を抑制するために、市で取り組むべきだと思う取り組みは何だと思えますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

少子化対策	1. 結婚、出産、子育ての希望実現のための、経済的自立の支援（就業相談、職業能力開発支援等） 2. 結婚を望む方への支援（出会いの場の提供、相談体制の充実等） 3. 妊娠、出産、子育て支援（母子保健サービス、保育サービス等） 4. 子育てと仕事の両立支援（企業への啓発活動等） 5. その他（ ）
移住・定住の促進	6. 首都圏等へのプロモーション強化 7. 移住希望者への住宅取得支援 8. 移住希望者への市内企業への就労支援 9. 子育て支援の充実（教育費の補助等） 10. 市外で暮らす安曇野市出身大学生等への市内企業への就労支援・情報発信 11. その他（ ）

(15) 協働・コミュニティ活動について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 地域住民によるコミュニティ活動が行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 NPO、ボランティア活動が行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 まちづくりへの市民参画が進んでいる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問39. 地方を取り巻く課題は、多様化・複雑化しており、市民だけ、行政だけでは解決できない複雑な課題が山積しています。そのような課題を解決するためには、市民、自治会、市民活動団体などと行政が、お互いを補い合いながら協力して課題解決を進めて行く「協働」によるまちづくりの推進が必要です。この「協働」や「市民活動」に関して、どのような情報に興味・関心がありますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1. 区など自治会の活動 | 2. 市民活動団体の活動 |
| 3. 企業の公益的事業 | 4. 教育機関の地域貢献事業 |
| 5. 市内の協働事例の情報 | 6. 市外の協働事例の情報 |
| 7. 地域の人材情報(協力者、参加者等) | 8. 活動場所の情報(空き店舗、イベントスペース等) |
| 9. 市民活動や協働に関する専門家情報 | 10. 行政機関等の動向・各種支援情報 |
| 11. 団体の設立等、市民活動に関する法制度 | 12. 市民活動のノウハウ |
| 13. 成功事例の取り組みプロセス・苦労話 | 14. 補助金等各種支援事業の具体的な活用方法 |
| 15. その他() | |

問40. 協働のまちづくりを進めるためのイベント(講演会など)を開催する場合、興味・関心が持てるテーマはありますか。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 市民が主役のまちづくり | 2. 自治基本条例と協働のまちづくり |
| 3. 地域コミュニティの再構築・活性化 | 4. 地域が一体で取組む防災・防犯 |
| 5. 地域の子どもは地域で育てる | 6. 地域の見守り・支え合い・助け合い |
| 7. NPO・市民活動団体の活性化 | 8. 地域の資源を活かしたまちづくり |
| 9. あらゆる主体の協働の先進事例 | 10. その他() |

(16) デジタル社会・行政サービスについて

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 情報化社会に対応した基盤が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 行政運営の効率化が図られている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 市政に関する情報が入手しやすい	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 広報紙「広報あづみの」が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 市公式ホームページ、SNS が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 市のラジオ番組（あづみ野エフエム）が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問4 1. 安曇野市において、市民の皆さんの利便性の向上のために取り組むべきデジタル化の内容として、必要と思うものは何ですか。(特に当てはまるもの3つまで○)

1. インターネットで市役所への申請や届け出ができる
2. 行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される
3. 情報セキュリティ対策を徹底し、市民の個人情報を守る
4. 各種申請や行政サービスについて、24時間いつでも問い合わせができる
5. 高齢者や子どもの見守りを強化する
6. 税金や証明書の手数料等がキャッシュレスで支払える
7. センサー等を利用して河川の増水や地下道の水没、道路の冠水の監視を強化する
8. インターネットで公共施設利用状況の確認や予約等ができる
9. その他 ()

(17) SDGs (持続可能な開発目標) について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 SDGs の達成に向けて取り組んでいる地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問4 2. その他、市へのご意見やご提案などあれば記載してください (自由記載)

アンケートは以上です。

同封いたしました返信用封筒 (切手不要) に入れ、**令和4年5月6日(金)まで**にお近くのポストへ投函をしていただきますようお願い申し上げます。
(インターネットで回答した方は、返信用封筒にてお送りいただかなくて結構です。)

第2次安曇野市総合計画後期基本計画
市民意識調査報告書

令和4年6月 安曇野市